

文字を翻訳する

翻訳について

「テプラ クリエイター」では、Google翻訳を利用して、テキストブロックの文字列を外国語に翻訳し、外国語ラベルを作成することができます。対応している言語は、以下のとおりです。

イタリア語、インドネシア語、スペイン語、ドイツ語、トルコ語、フランス語、ベトナム語、ポルトガル語、マレー語、ロシア語、英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、日本語

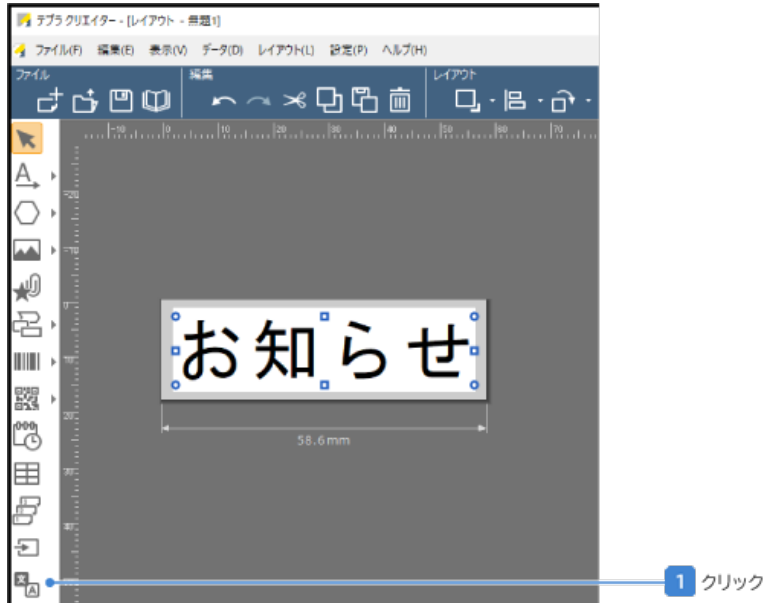
注意

- ・Google翻訳の利用により使用者が被った被害について当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
- ・翻訳機能の利用には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットに接続されたパソコンから利用してください。
- ・翻訳できるのは、通常のテキストのみです。次の形式のテキストは翻訳できません。
 - ・流し込みデータ
 - ・複数選択されたテキストブロック内のテキスト
 - ・グループ化されたテキストブロック内のテキスト
 - ・ロックされたテキストブロック内のテキスト
- ・一度に翻訳できるのは3言語(元言語を除く)までです。
- ・翻訳機能は正しく翻訳されない場合があります。

文字を入力して翻訳する

1

ツールボックスの  (翻訳) をクリックする



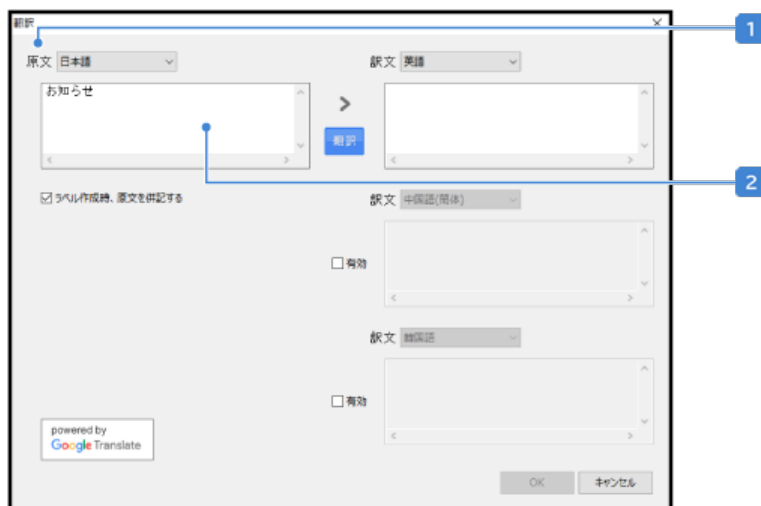
[翻訳]画面が表示されます。

MEMO

- ・ツールボックスの[翻訳]は、テキストブロックが選択されているとき、またはレイアウト編集画面のテキストブロックがあるときに選択できます。

2

原文の設定をおこなう



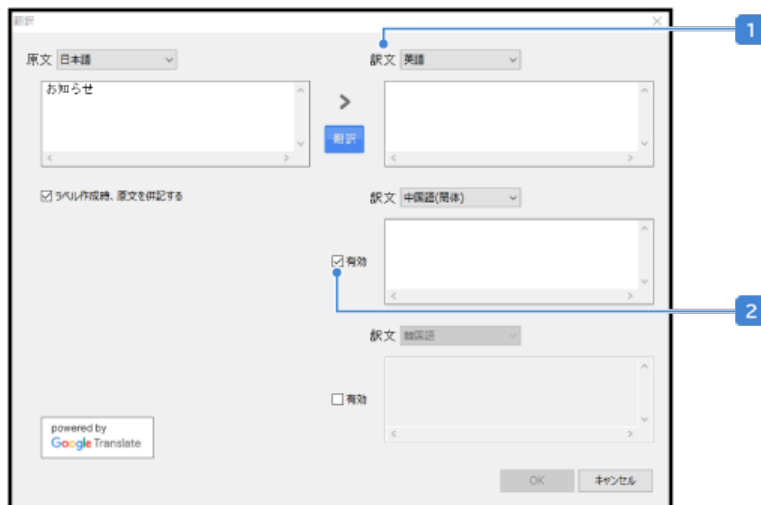
1 原文言語リスト	原文(翻訳したい文字列)の言語をリストから選択します。
2 原文テキストボックス	原文(翻訳したい文字列)を入力します。100文字まで入力できます。

MEMO

- ・手順 1 でテキストブロックを選択した状態で[翻訳]をクリックした場合は、その文字列が原文テキストボックスに表示されます。

3

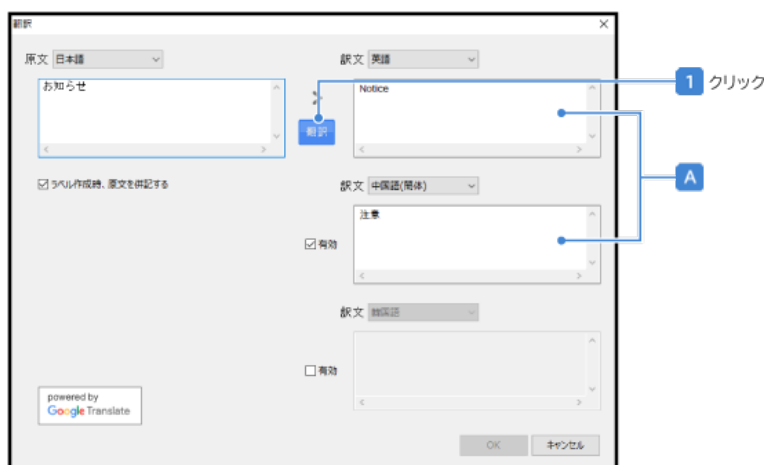
訳文の設定をおこなう



1 訳文言語リスト	訳文を表示させる言語をリストから選択します。
2 訳文有効チェックボックス	複数言語の訳文を表示させたいときにチェックを付けます。

4

[翻訳]をクリックする



訳文テキストボックス (A) に訳文が表示されます。

注意

- ・原文に改行が含まれる場合、訳文からは改行は削除されます。
- ・一度に翻訳できるのは3言語(元言語を除く)までです。

5

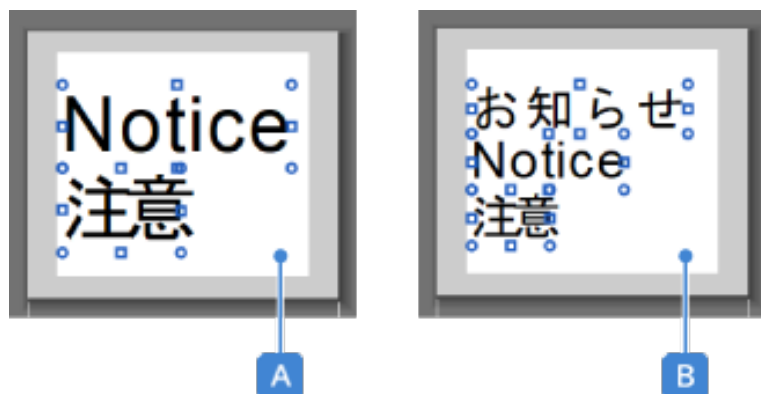
ラベルに印刷する言語を選択する

原文を残す場合は、「ラベル作成時、原文を併記する」にチェックを付けます。

訳文有効チェックボックスのチェックをはずすと、その言語の訳文はラベルに挿入されません。

6

[OK]をクリックする




訳文が挿入されます。

・原文を併記しない場合(A)

・原文を併記する場合(B)

MEMO

- ・原文のテキストボックス、文字フォント、装飾は、翻訳前と同じ設定で表示されます。
- ・訳文のテキストボックス、文字フォント、装飾は、次の設定で表示されます。翻訳後は、必要に応じて文字の編集をおこなってください。

参照  「文字の編集」

- ・テキストボックス：テキストボックス自動長
- ・文字フォント：日本語はMSゴシック、ドイツ語はArial、そのほかの言語はArial Unicode MS(パソコンに「Arial Unicode MS」のフォントが搭載されていない場合、翻訳後の文字列が正しく表示されないことがあります。)
- ・装飾：なし

注意

- ・言語によっては対応していないフォントがあります。フォントを変更する場合は、正しく表示されることを確認してから印刷してください。

翻訳のコツ

翻訳機能では機械的な翻訳をおこなっています。翻訳の精度を上げるために、以下の点にご注意ください。

- ・あいまいな表現を避け、なるべく短く簡潔な文章にする
- ・略語を使用しない
- ・できるだけ漢字を使用する
- ・口語体や俗語、丁寧すぎる文章を使用しない
- ・文中に余計な句読点を入れない

流し込み機能

流し込み操作の流れ

「テプラ クリエイター」では、あらかじめ作っておいたデータの項目をラベルにレイアウトして印刷する機能があります。住所録からあて名ラベルを作るときや、管理表から備品管理ラベルを作るときなどに便利です。


1

データ作成

流し込み用のデータは、データ設定画面で作成します。

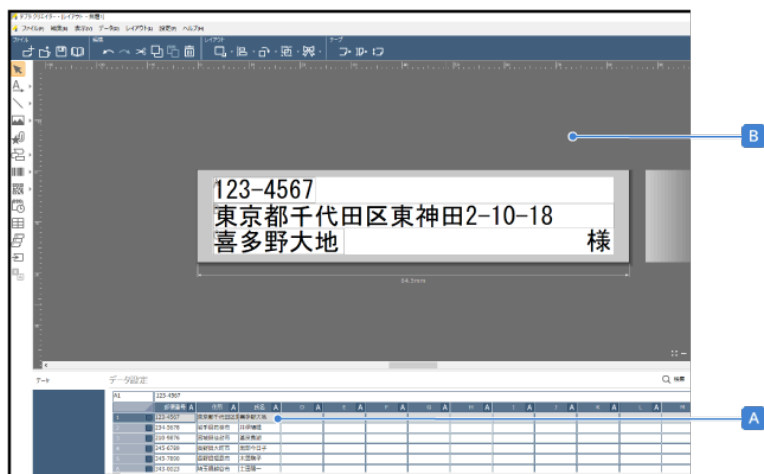
「テプラ クリエイター」でデータ設定画面を開き、住所など必要な項目を入力します。

データ設定画面にほかのアプリケーションで作った「XLS形式」、「XLSX形式」、「XLSM形式」、「TXT形式」、「CSV形式(カンマ区切りのテキスト)」のデータを読み込むこともできます。


参照  「データを新規作成する」

2

流し込み(レイアウト操作)



データ設定画面(**A**)のデータをレイアウト編集画面(**B**)のラベル上に列単位で流し込み、レイアウトします。


参照  「データを流し込む」

3

印刷

印刷します。

データが行ごとに流し込まれ、複数枚のラベルが連続して印刷されます。

参照  「データを流し込み印刷する」

データを新規作成する

データ設定画面を開き、流し込み用のデータを新規に作成します。

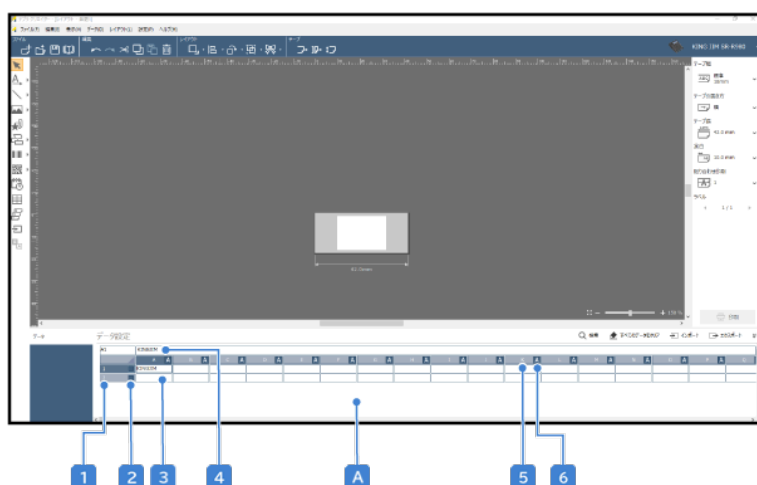
1

[新規/開く]画面で、[流し込み(横書き)]または[流し込み(縦書き)]をクリックする

参照  「新規作成」


2




[流し込みデータ新規作成]をクリックする



表示される[流し込み]画面で[流し込みデータ新規作成]をクリックします。

データ設定画面(**A**)が表示されると、データを入力できます。

参照  「データを入力する」

1 行番号	何行目かを示します。選択している行がハイライト表示されます。
2 印刷チェック	印刷時に、チェックマークをつけた行のみ印刷することができます。
3 セル	データを入力する枠です。選択しているセルには太い枠がつかます。
4 入力ボックス	選択したセルの入力ができます。
5 列タイトル	その列のタイトルをつけられます。 タイトルをつけない場合は、A、B…となります。
6 列属性	その列のデータの種類を示します。属性アイコンには、以下の種類があります。 A (テキストデータ)  (イメージデータ)  (バーコード) 参照  「テキスト以外のデータを入力する」


MEMO

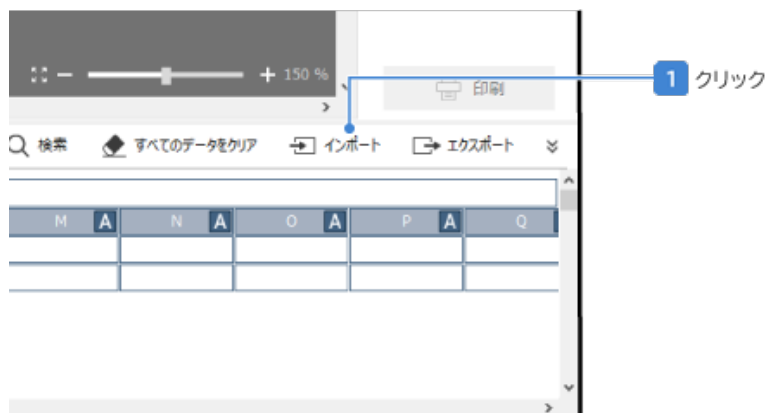
・新規作成時のウィンドウに、レイアウト編集画面とデータ設定画面を同時に表示させる場合は、[設定]－[環境設定]－[表示]から[作業領域]項目で変更することができます。

すでにあるデータを読み込む

すでに「テプラ クリエイター」や市販のアプリケーションで作ってあるデータを読み込んで利用することができます。

1

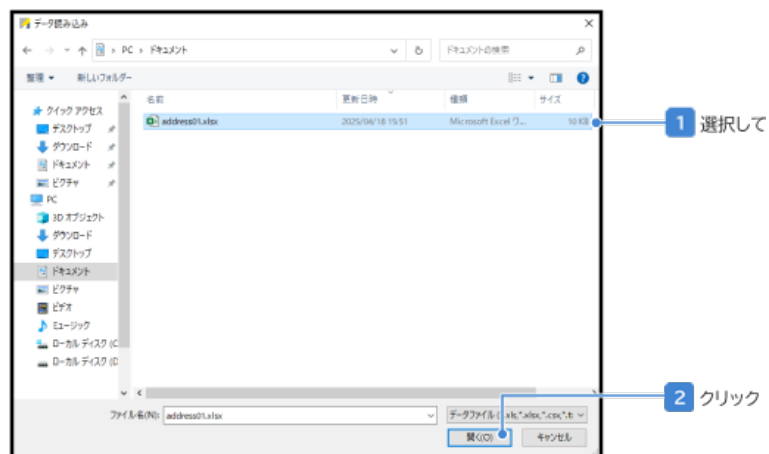
データ設定画面の （インポート）を選択する



[データ読み込み]画面が表示されます。

2

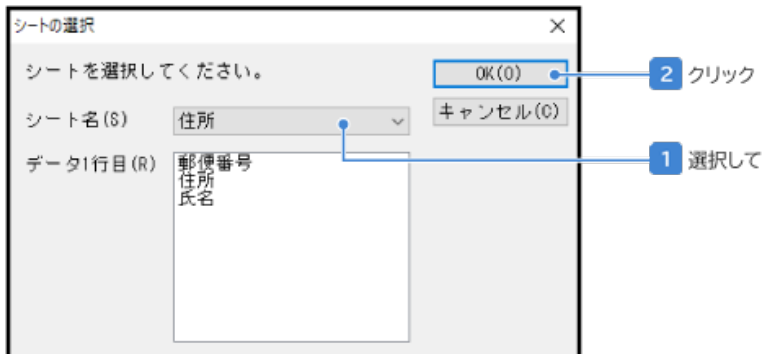
ファイルを指定して[開く]をクリックする



[データ読み込み]画面にファイルがない場合は、フォルダを切り替えて保存した場所を表示させます。


3

Excelファイルの場合は、シート名を選択し、[OK]をクリックする




「CSV形式」、「TXT形式」の場合はこの手順は不要です。

データ設定画面が表示され、データを流し込みます。

参照  「データを流し込む」

MEMO

- ・流し込みデータは[ファイル]－[データ]－[インポート]を選択しても読み込むことができます。
- ・読み込めるデータは、「XLS形式」、「XLSX形式」、「XLSM形式」、「TXT形式」、「CSV形式(カンマ区切りのテキスト)」のファイルです。
- ・すでにデータ設定画面にデータが入力されているときは[読み込み方法の選択]画面が表示されますので、読み込み方法を選択してください。
- ・データの1行目を列タイトルとして使用するかどうかが選択できます。
- ・Excelファイルを読み込む場合は、以下の点に注意してください。
 - ・読み込みできるデータは、Microsoft Excel 2002/2003/2007/2010/2013/2016/2019のファイルです。
 - ・列のタイトルに半角スペースのみが使われている場合は、列タイトルとして読み込まれません。
 - ・Excelの表示形式で指定した日付や通貨表示等は読み込まれません。
 - ・Excelファイルの計算式は反映されません。
 - ・数値データは、桁数が多いと指数表示や異なる値で読み込まれる場合があります。Excelでセルの表示形式を文字列として入力したデータをお使いください。
 - ・セルの表示形式が「数値」のものと「文字列」のものが複雑に混在しているデータを読み込む場合、一部のセルの値が読み飛ばされることがあります。このようなデータを読み込む際には、そのシートを「CSV形式」で保存してから使用してください。
 - ・保存時に既存のファイル名を指定した場合、ファイルそのものが上書きされます。

参照  「データを保存する」

- ・データ設定画面の入力内容をすべて削除したい場合、「すべてのデータをクリア」をクリックします。
※列属性、列タイトルは削除されません。

注意

- ・「XLS形式」、「XLSX形式」、「XLSM形式」のデータを読み込むには、各ファイル形式に対応したMicrosoft Excelがパソコンにインストールされている必要があります。

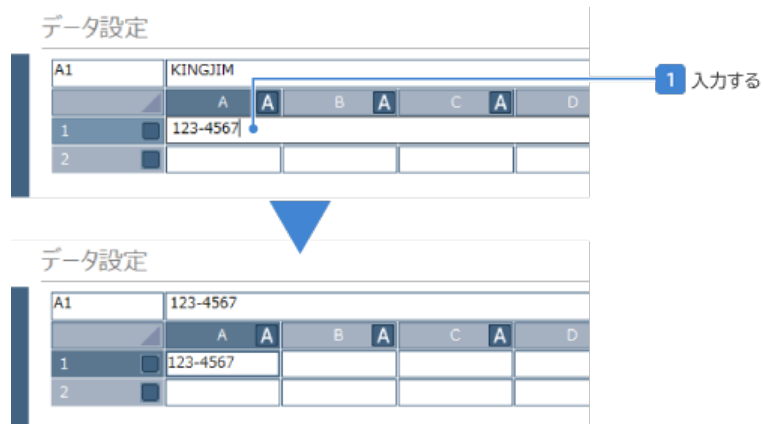
データを入力する

データ設定画面にデータを入力します。

ここでは、あて名ラベル用の住所データを作る方法を例に説明します。

1

1行目の最初のセルをダブルクリックしてデータを入力する



ダブルクリックすると、セル内にカーソルが表示されて入力できます。

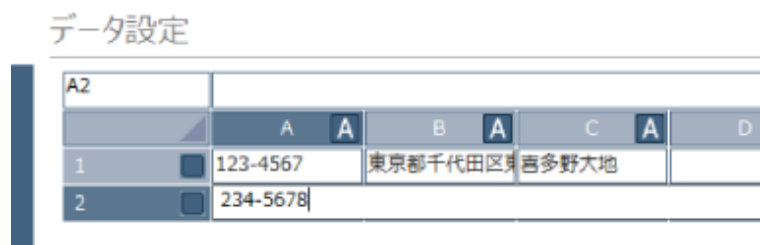
入力後<Enter>キーを押すか、入力したセル以外の場所をクリックすると、自動的に2行目が表示されます。

MEMO

- ・Unicodeを使用できますので、多国語のテキストデータにも対応します。


2

同様に、2列目以降を入力し、1行目を完成させる



MEMO

- ・文字(テキストデータ)以外を入力する場合は列属性を変更します。

参照  「テキスト以外のデータを入力する」

3

同様に、2行目以降を入力し、データを完成させる

データ設定

A5		345-7890						
		A	A	B	A	C	A	D
1	<input type="checkbox"/>	123-4567	東京都千代田区東		喜多野大地			
2	<input type="checkbox"/>	234-5678	岩手県花巻市		井伊鳩雄			
3	<input type="checkbox"/>	210-9876	宮城県仙台市		釜房良湖			
4	<input type="checkbox"/>	345-6789	長野県大町市		黒部今日子			
5	<input type="checkbox"/>	345-7890						
6	<input type="checkbox"/>							


作ったデータはラベルに流し込んで印刷できます。


MEMO

- ・1行目の入力内容はラベルの1枚目に流し込むことができます。2行目の入力内容はラベルの2枚目に流し込むことができます。

4

データ流し込み作業をおこない、ラベルを印刷する

参照  「データを流し込む」

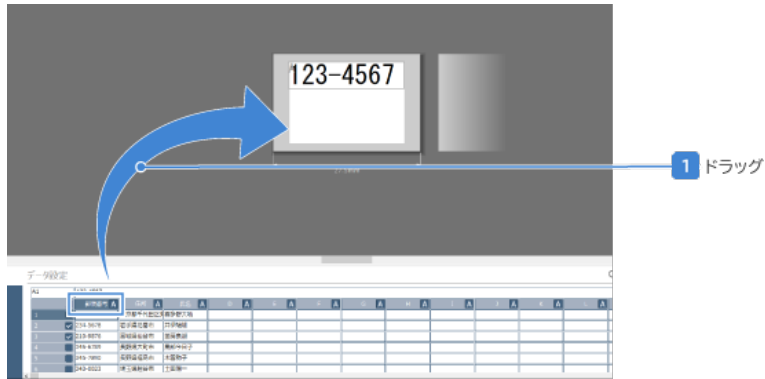
参照  「データを流し込み印刷する」

データを流し込む

作ったデータや読み込んだデータをラベル上にレイアウトすると、自動的にデータが流し込まれます。
ここでは、あて名ラベルをレイアウトする方法を例に説明します。

1

ラベルに流し込みたい列タイトルをドラッグし、ラベル上に移動する



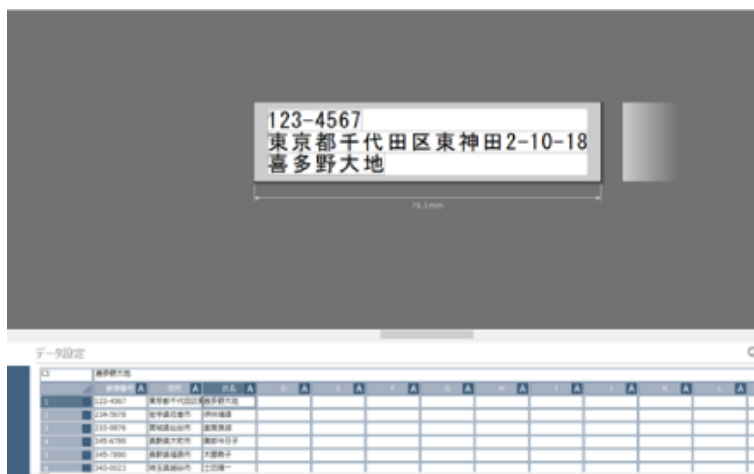
列タイトルにマウスカーソルを合わせると、カーソルが手の形に変わります。
ドラッグすると、ラベル上にデータが流し込まれ、流し込み枠が表示されます。

2

同様に、必要な列タイトルをドラッグする


3

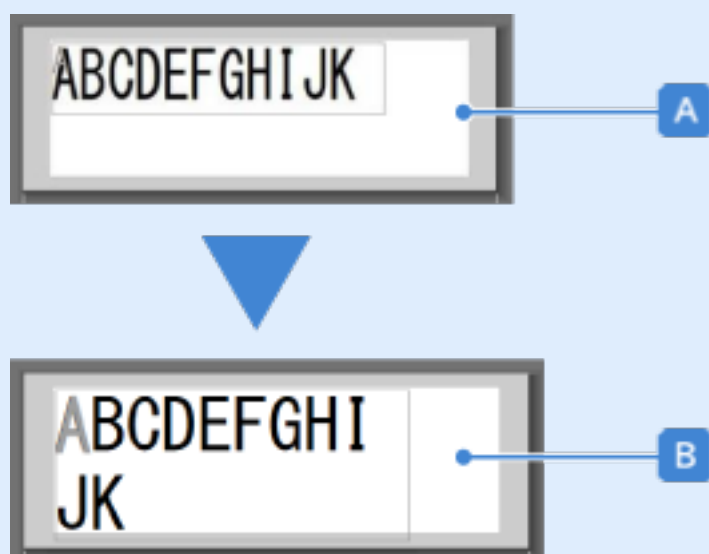
流し込み枠の位置とサイズを変更してレイアウトする



移動やサイズ変更は、テキストブロックや図形ブロックの操作と同じです。


MEMO

- データの流し込みは、データ設定画面の  (インポート)もしくは[ファイル]―[データ]―[インポート]からも流し込めます。
- 横向きかつ列属性がテキストの流し込み枠は、テキストの自動折り返しが設定できます。テキストの自動折り返しを設定すると、流し込み枠の縦幅は文字数によって変化しますが、流し込み枠の横幅と文字の大きさは固定されます。行数が多い場合、文字サイズは変えずに次の行へ自動的に折り返します。設定したい流し込み枠を選択し、右クリック―[プロパティ]をクリックするか、流し込み枠をダブルクリックして表示する[流し込み]画面で[テキストの折り返し]にチェックマークをつけてください。
- ・[テキストの折り返し]にチェックマークをつけていない場合(**A**)
- ・[テキストの折り返し]にチェックマークをつけた場合(**B**)



注意

- ・テキストの自動折り返し機能は、流し込み枠のテキストブロックでのみ設定可能です。また、縦書きの流し込み枠では設定できません。
- ・テキストの自動折り返しを設定していない流し込み枠の文字サイズは、流し込み枠を超える大きさに設定することはできません。大きくしたい場合は、流し込み枠のハンドルをドラッグして流し込み枠の大きさを変更してください。
- ・横向きかつテキストの自動折り返しが設定されていない、または縦向きの場合、流し込み枠の横幅(縦向きの場合は縦幅)は文字数によって変化しますが、流し込み枠の縦幅(縦向きの場合は横幅)は1行分のサイズで固定されます。行数が多い場合、文字サイズを小さくし、流し込み枠内にデータが入るように処理されます。
- ・縦書きで英数字を入力すると、文字は縦向きになります。
- ・流し込み枠内の文字書式はテキストブロック同様にテキスト設定画面で指定できます。

参照  「文字の編集」

- ・流し込み枠の枠設定や位置、参照先変更については、流し込み枠を選択し、右クリック―[プロパティ]をクリックするか、流し込み枠をダブルクリックして表示する[流し込み]画面で指定できます。
- ・テーブル長設定が「自動」の場合、流し込み枠は自動長になります。テーブル長設定が「定長」の場合、流し込み枠は固定長になります。
- ・テキスト自動折り返しの初期設定は、テーブル長設定により異なります。テーブル長設定が「自動」の場合、テキストの自動折り返しの初期設定はOFF、テーブル長設定が「定長」の場合、テキストの自動折り返し機能の初期設定はONになります。
- ・[テキストの折り返し]のチェックボックスをチェックした「テプラ クリエイター ファイル(lw1)形式」は「テプラ クリエイター」Ver4.00以下では開くことができません。

データを流し込み印刷する

1

印刷する行に印刷チェックマークをつける



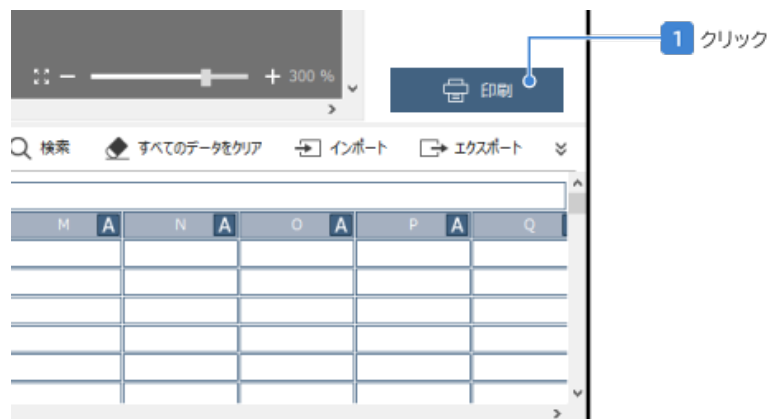
印刷する各行番号の右側のボックスをクリックしてチェックマークをつけます。すべての行を印刷するときはチェックマークは不要です。

MEMO

- ・チェックマークは、あらかじめ、目的の行のセルを範囲選択しておき、右クリックをして[印刷チェック]から[選択部分をチェック]を指定することで、一括でチェックを付けることができます。

2

[印刷]をクリックする



[印刷]画面が表示されます。

3

「データ流し込み」の印刷条件を指定して印刷する



「連続流し込みを行う」にチェックマークをつけます。印刷チェックマークをつけた行のみを印刷するときは、「データ設定画面でチェックしたデータを印刷する」を選択してから印刷します。

すべての行を印刷するときは、「すべてのデータを使って印刷する」を選択してから印刷します。

参照 「印刷する」

MEMO

- ・手順 3 の印刷画面にならないときは[詳細設定]をクリックしてください。
- ・同じラベルを複数印刷するときは、「印刷部数」を変更します。その際、「部数単位で印刷」を選択すると、1行目、2行目…とデータ順に流し込み印刷をします。「ページ単位で印刷」を選択すると、同じ行を指定枚数分続けて流し込み印刷をしてから次の行を印刷します。
- ・貼り合わせラベルで複数印刷をするときは、「貼り合わせ印刷」の順序印刷と「流し込み」の順序印刷をそれぞれ選択できます。

参照 「貼り合わせラベルを印刷する(貼り合わせ印刷)」


データを保存する

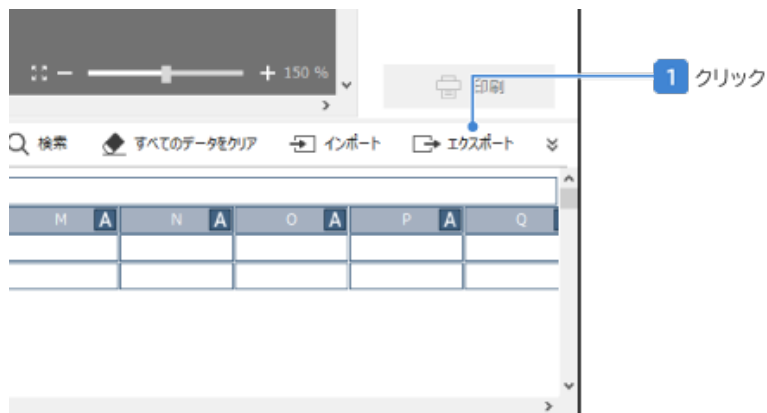
作ったデータは、データのみを保存する方法(「XLS形式」、「XLSX形式」、「TXT形式」、「CSV形式」と、レイアウトしたラベルごと保存する方法(ラベルデータの保存)があります。

■データのみ保存する

データ設定画面に入力したデータのみ保存します。

1

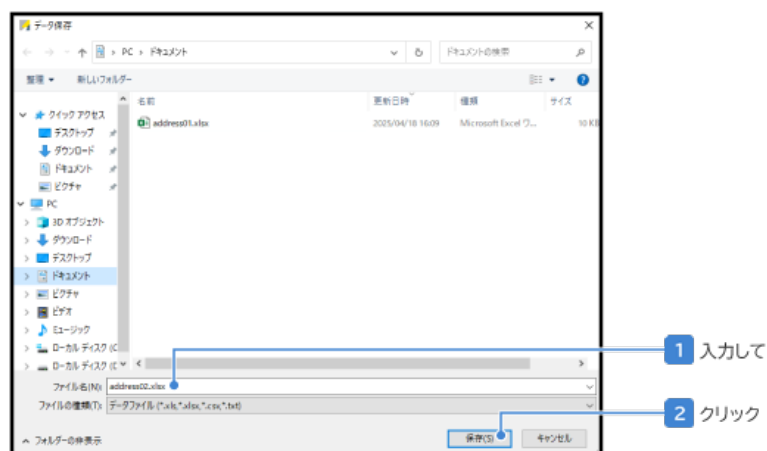
データ設定画面の  (エクスポート)を選択する



[データ保存]画面が表示されます。

2



ファイル名を入力して[保存]をクリックする



データ入力画面部分が保存されます。

フォルダを切り替えて保存場所を変更することもできます。

MEMO

- ・データの保存は、[ファイル]―[データ]―[エクスポート]を選択しても保存できます。
- ・保存できるファイルの形式は、「XLS形式」、「XLSX形式」、「TXT形式」、「CSV形式(カンマ区切りのテキスト)」のファイルです。データのみを保存し、列属性の指定は保存されません。
- ・「XLS形式」、「XLSX形式」で保存すると、列タイトルが1行目のデータとして保存されます。「CSV形式」、「TXT形式」の場合、列タイトルを1行目のデータとするかどうか選択できます。
- ・Microsoft Excelドライバの仕様により、特定のコードを列タイトルに含むデータの保存もしくは読み込みにおいて、エラーになる場合があります。
- ・保存したデータを読み込むときは、 (インポート)でファイルを指定します。
- ・ (エクスポート)では、レイアウトしたラベルは保存されません。

すべて(データとレイアウトしたラベル)を保存する

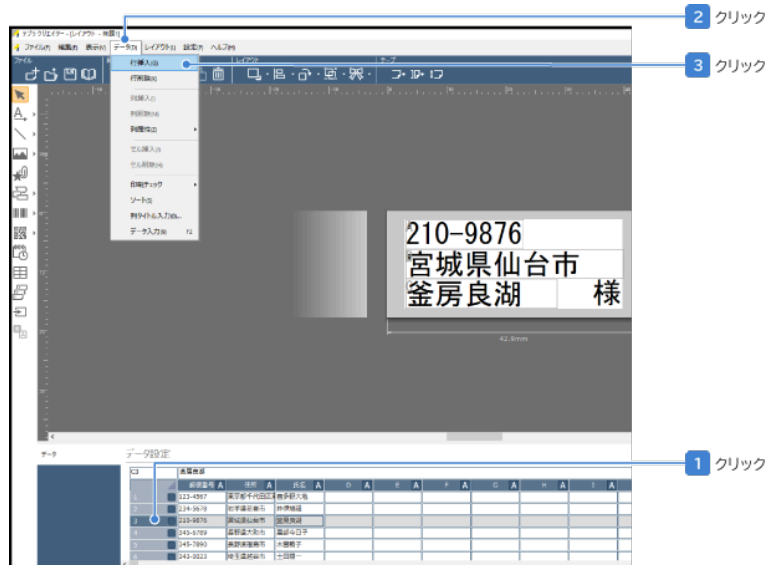
ラベルを保存する操作と同様、[ファイル]―[上書き保存]または[名前を付けて保存]で保存すると、ラベルレイアウトにデータを含めた状態で保存されます。

参照  「文書を保存する」

行や列を挿入する

1

挿入位置の直後の行または列をクリックして選択し、[データ]の[行挿入]または[列挿入]を選択する

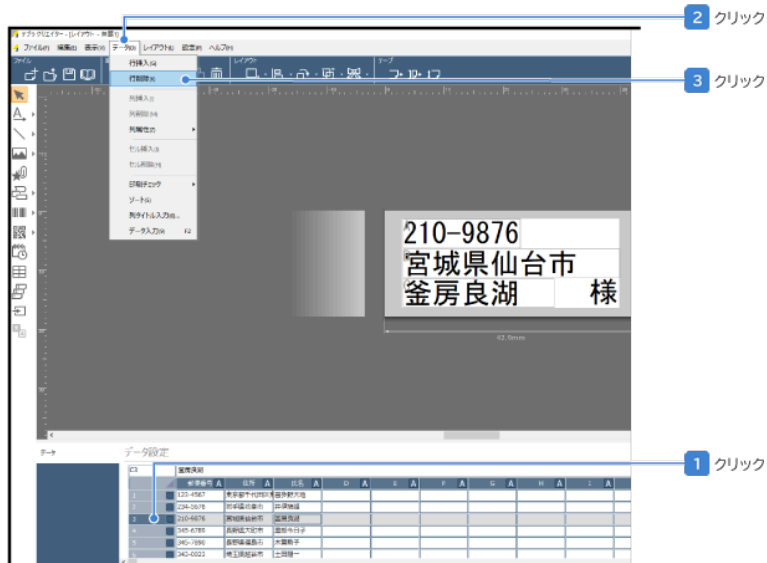


行または列が挿入されます。

行や列を削除する

1

削除する行または列をクリックして選択し、[データ]の[行削除]または[列削除]を選択する



選択した行または列が削除されます。

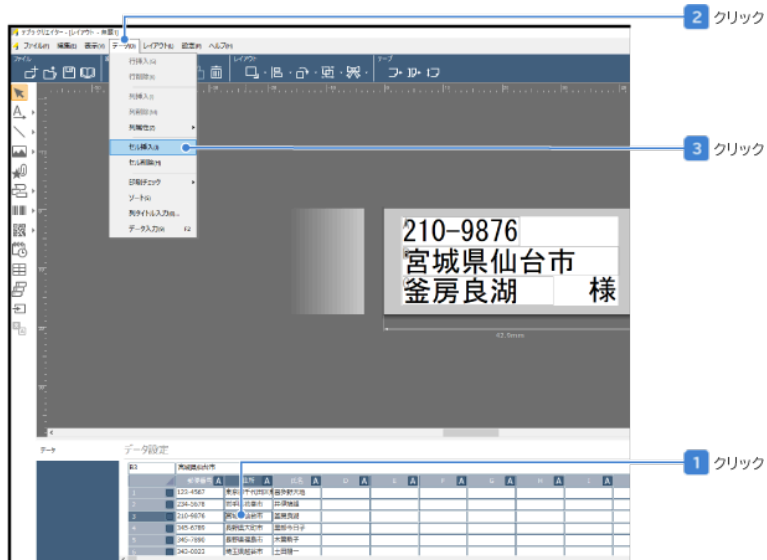
MEMO

- ・[貼り付け]コマンドでデータを貼り付けると、そのセルの元のデータは削除され、貼りつけたデータになります。
- ・行全体を選択して[削除]すると、その行そのものが削除されます(行削除と同様の結果になります)。列全体を選択して[削除]すると、セル内のデータのみ削除し、列は空白のまま残ります。
- ・[行挿入][行削除][列挿入][列削除]は、行や列を選択した状態で右クリックをしても表示されます。

セルを挿入する

1

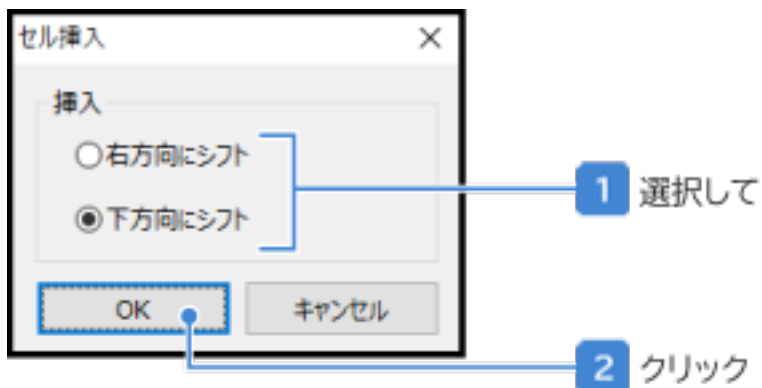
挿入位置の直後から始まるセルまたはセル範囲を選択し、[データ]の[セル挿入]を選択する



[セル挿入]画面が表示されます。

2

セルまたはセル範囲を挿入する方向を選択する

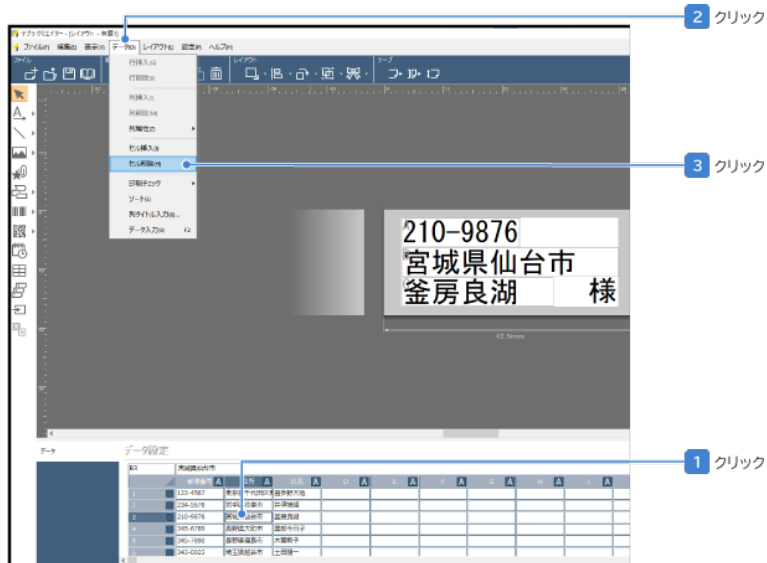


選択されたセルまたはセル範囲が右方向もしくは下方向に移動します。

セルを削除する

1

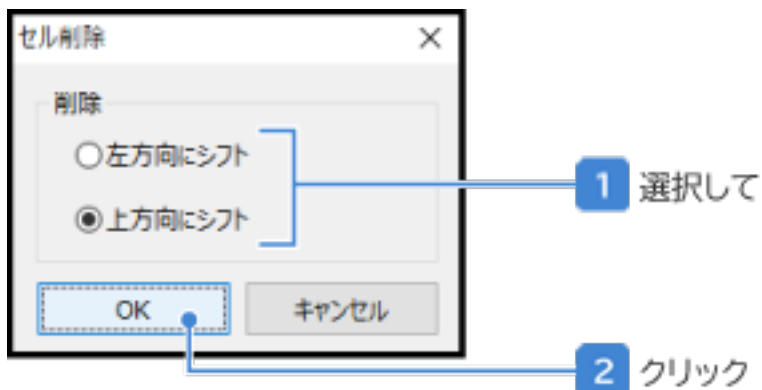
削除するセルまたはセル範囲を選択し、[データ]の[セル削除]を選択する



[セル削除]画面が表示されます。


2

セルまたはセル範囲を削除する方向を選択する



削除されたセルまたはセル範囲の右側もしくは下側が移動します。

MEMO

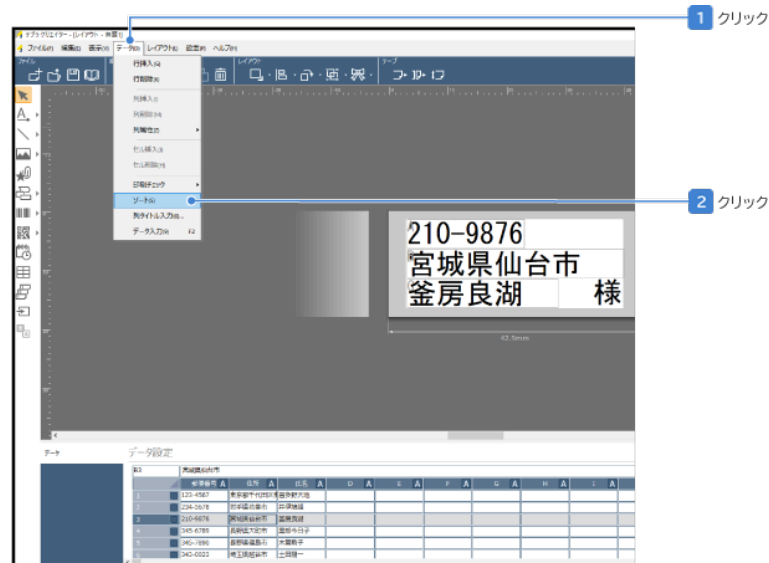
- ・セルまたはセル範囲を選択して[削除]すると、セル内のデータのみ削除し、セルは空白のまま残ります。
- ・操作を間違えた場合は、直後であれば  (元に戻す) で直前の状態に戻すことができます。
- ・[セル挿入][セル削除]は、セルまたはセル範囲を選択した状態で右クリックをしても表示されます。

行を並び換える(ソート)

行の表示順を郵便番号順や読み順などに並び換えることができます。
ここでは、郵便番号が数字順(JISコード順)になるように並び換える方法を例に説明します。

1

[データ]―[ソート]を選択する



[ソート]画面が表示されます。

2

「並び」と「優先順位」を選択する



「並び」では並び換える順番を選択します。
「優先順位」では、並び換えのキーワードになる列を選択します。
ここでは、郵便番号が入力してある「A列」を選択します。

MEMO

- ・第2優先、第3優先は、第1優先の列に同じ内容のセルがあるときのキーワードになります。
- ・データは文字列としてソートされます。

3

[OK]をクリックする

データ設定

A1	123-4567				
	郵便番号 A	住所 A	氏名 A	D	
1	<input type="checkbox"/> 123-4567	東京都千代田区東	喜多野大地		
2	<input type="checkbox"/> 210-9876	宮城県仙台市	釜房良湖		
3	<input type="checkbox"/> 234-5678	岩手県花巻市	伊井鳩雄		
4	<input type="checkbox"/> 343-0023	埼玉県越谷市	土田陽一		
5	<input type="checkbox"/> 345-6789	長野県大町市	黒部今日子		
6	<input type="checkbox"/> 345-7890	長野県福島市	木曾駒子		



データ設定

A1	123-4567				
	郵便番号 A	住所 A	氏名 A	D	
1	<input type="checkbox"/> 123-4567	東京都千代田区東	喜多野大地		
2	<input type="checkbox"/> 210-9876	宮城県仙台市	釜房良湖		
3	<input type="checkbox"/> 233-0000	神奈川県横浜	下平みゆき		
4	<input type="checkbox"/> 234-5678	岩手県花巻市	井伊鳩雄		
5	<input type="checkbox"/> 326-0062	栃木県足利市	掛川ミキコ		
6	<input type="checkbox"/> 343-0023	埼玉県越谷市	土田陽一		

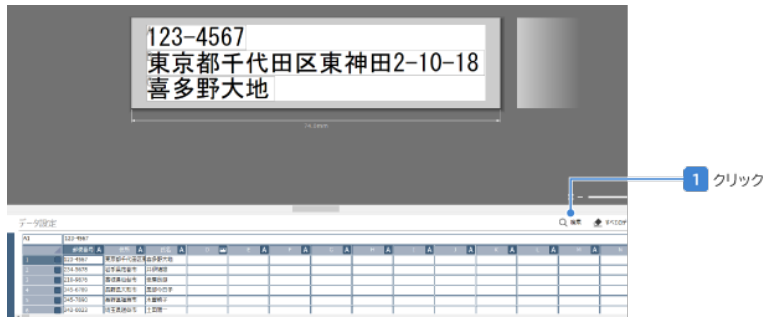
データが並び換えられます。

データを検索する

データ設定画面から任意の文字列を含むセルを検索することができます。

1

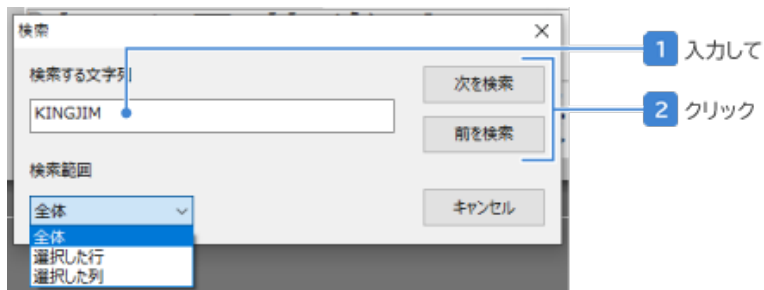
データ設定画面の 🔍 (検索) を選択する



[検索]画面が表示されます。

2

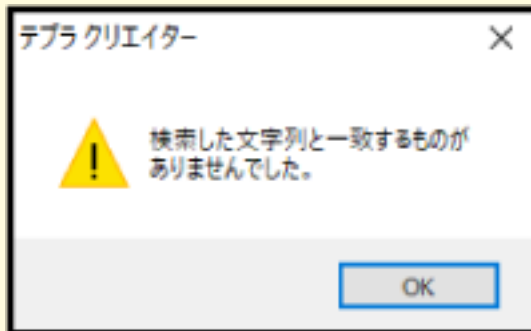
検索したい文字列を入力し、[次を検索]または[前を検索]をクリックする



検索する文字列	検索したい文字列を入力します。
検索範囲	全体: 選択しているセルを始点に、データ設定画面のシート全体を検索します。 選択した行: 選択しているセルを始点に、そのセルがある行のみを検索します。 選択した列: 選択しているセルを始点に、そのセルがある列のみを検索します。
次を検索	選択しているセルの一つ右(下)のセルから右方向(下方向)に検索します。
前を検索	選択しているセルの一つ左(上)のセルから左方向(上方向)に検索します。

注意

- ・一度に検索できる文字列は1単語のみです。AND検索、OR検索はできません。
- ・検索機能は大文字、小文字、半角、全角を区別しません。
- ・検索条件は部分一致のみです。
- ・現在選択しているセルから検索を開始し、検索範囲内を繰り返し検索します。
- ・検索範囲内で検索した文字列を含むセルが見つからなかった場合は、アラートが表示されます。



- ・「ケーブルラベリング」「PANDUIT」機能でのデータ設定画面では、検索機能は使用できません。




テキスト以外のデータを入力する

データには、住所や名前などのテキスト(文字)だけでなく、イメージやバーコードなどのデータを入力することができます。

テキスト以外のデータを入力するには、列属性を変更する必要があります。

列属性を変更する

変更できる列属性には、以下のものがあります。

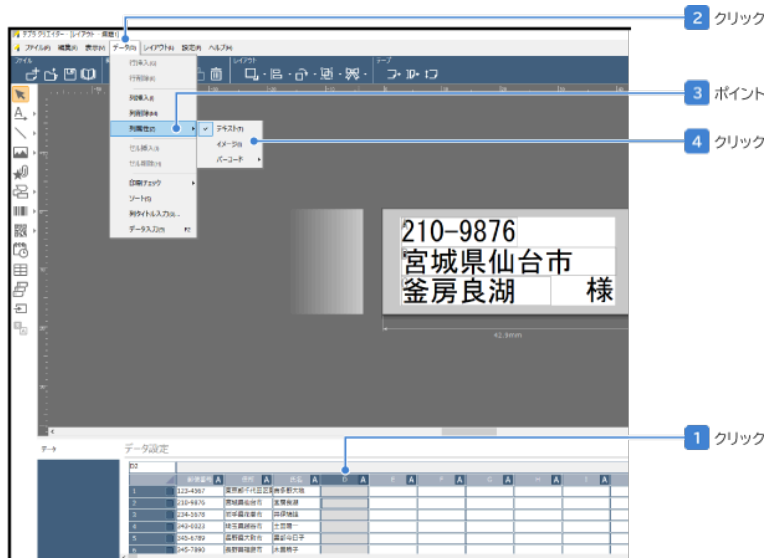
 (テキスト)	文字データを表示できます。 データ設定画面: 住所や名前などの文字を入力します。 レイアウト編集画面: データ設定画面で入力した内容を表示します。
 (イメージ)	画像などのイメージを表示できます。 データ設定画面: 画像などのイメージデータの保存先を指定します。 レイアウト編集画面: データ設定画面で指定したイメージを表示します。
 (バーコード)	バーコード、QRコード、カスタムバーコードを表示できます。 データ設定画面: 指定したバーコードまたはQRコードの書式で数字や文字列を入力します。 レイアウト編集画面: データ設定画面で入力したバーコードまたはQRコードを表示します。

MEMO

- ・指定できるバーコードやカスタムバーコードの種類はツールボックスで指定するバーコードと同じです。
- ・カスタムバーコードは20桁まで入力可能です。21桁以上入力されたセルを指定すると、21桁目以降の数字はカスタムバーコードに反映されません。

1

属性を変更する列をクリックして選択し、[データ]―[列属性]で属性を選択する



変更すると、列の属性アイコンが変わります。

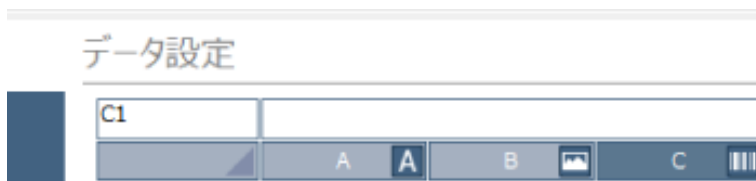
バーコードのときは、バーコードの種類も選択します。

MEMO

- ・[列属性]コマンドは、属性アイコンをクリックしても表示されます。

2

同様の操作でほかの列も変更する



イメージファイルを入力する

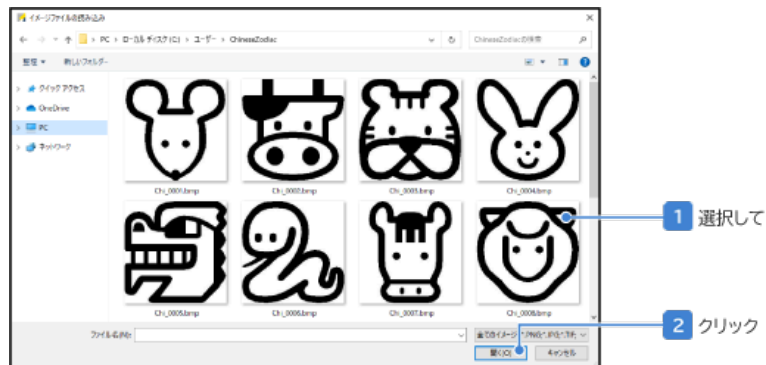
1

列属性をイメージに変更する

[データ]―[列属性]―[イメージ]を選択します。

2

ファイルを指定する



データ設定

A1	C:\Users\ChineseZodiac\Chi_0001.bmp
	A B A C A
1	C:\Users\ChineseZodiac\Chi_0001.bmp
2	C:\Users\ChineseZodiac\Chi_0002.bmp
3	C:\Users\ChineseZodiac\Chi_0003.bmp
4	C:\Users\ChineseZodiac\Chi_0004.bmp
5	C:\Users\ChineseZodiac\Chi_0005.bmp
6	C:\Users\ChineseZodiac\Chi_0006.bmp

セルをダブルクリックすると、「イメージファイルの読み込み」画面が開いてイメージファイルを指定できます。フォルダを切り替えてイメージファイルの保存場所を表示させます。

セル内には、イメージデータの保存先とファイル名が表示されます。

注意

- ・イメージファイルを指定した保存先から移動や削除をおこなうと、反映できなくなります。

■ バーコード、QRコードを入力する

1

列属性をバーコードに変更する

[データ]－[列属性]－[バーコード]でバーコードの種類を選択します。

2

データを入力する

データ設定


F1	012345678901			
	F III	G A	H A	
1	<input type="checkbox"/> 012345678901			
2	<input type="checkbox"/> 012345678902			
3	<input type="checkbox"/> 012345678903			
4	<input type="checkbox"/> 012345678904			
5	<input type="checkbox"/> 012345678905			
6	<input type="checkbox"/> 012345678906			

バーコードの数字を入力します（QRコードの場合は、数字や文字列を入力します）。

レイアウト編集画面に流し込むとバーコードやQRコードに変換されます。

MEMO

・バーコードの種類により入力できる桁数や文字が異なります。詳細は「バーコードの設定項目」を参照してください。

参照  「バーコードの設定項目」

カスタマバーコードを入力する

1

列属性をカスタマバーコードに変更する

[データ]－[列属性]－[バーコード]で[カスタマバーコード]を選択します。

2

データを入力する

データ設定


F1	012345678901			
	F III	G A	H A	
1	<input type="checkbox"/> 012345678901			
2	<input type="checkbox"/> 012345678902			
3	<input type="checkbox"/> 012345678903			
4	<input type="checkbox"/> 012345678904			
5	<input type="checkbox"/> 012345678905			
6	<input type="checkbox"/> 012345678906			

カスタマバーコードの数字を入力します。

レイアウト編集画面に流し込むとカスタマバーコードに変換されます。

MEMO

- ・カスタマバーコード入力時、郵便番号の－(ハイフン)は入力しないでください。
- ・カスタマバーコードの表記方法や住所表示番号については、「カスタマバーコードを挿入する」を参照してください。

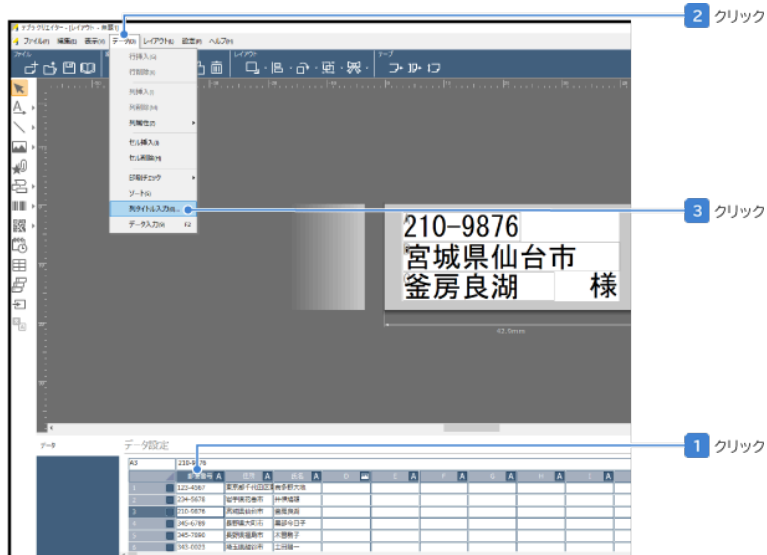
参照  「カスタマバーコードを挿入する」

列のタイトルを変更する

分類しやすいように列のタイトルを変更できます。

1

A列をクリックして選択し、[データ]―[列タイトル入力]を選択する



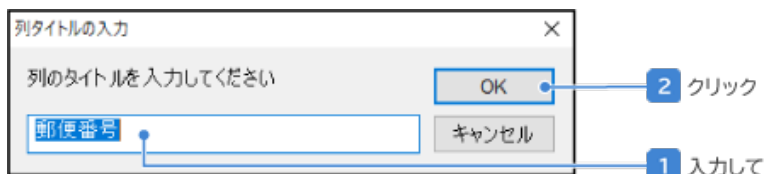
[列タイトルの入力]画面が表示されます。

MEMO

- ・[列タイトルの入力]コマンドは、列を選択した状態で右クリックをしても表示されます。

2

列タイトルを入力して[OK]をクリックする



データ設定

A1	123-4567			
	郵便番号 A	住所 A	氏名 A	
1	123-4567	東京都千代田区	喜多野大地	
2	234-5678	岩手県花巻市	井伊鳩雄	
3	210-9876	宮城県仙台市	釜房良湖	
4	345-6789	長野県大町市	黒部今日子	
5	345-7890	長野県福島市	木曾駒子	
6	343-0023	埼玉県越谷市	土田陽一	

列タイトルが変更されます。

3

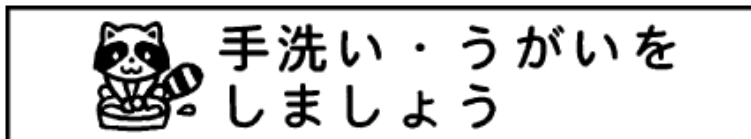
同様の操作でB列以降も変更する

ラベルカタログで作成する

ラベルカタログには、あらかじめデザインされているラベルが用意されており、デザインを選ぶだけで簡単にラベルを作成することができます。

カタログから選んで作成する

例：




1

[新規/開く]画面の[ラベルカタログ]をクリックする



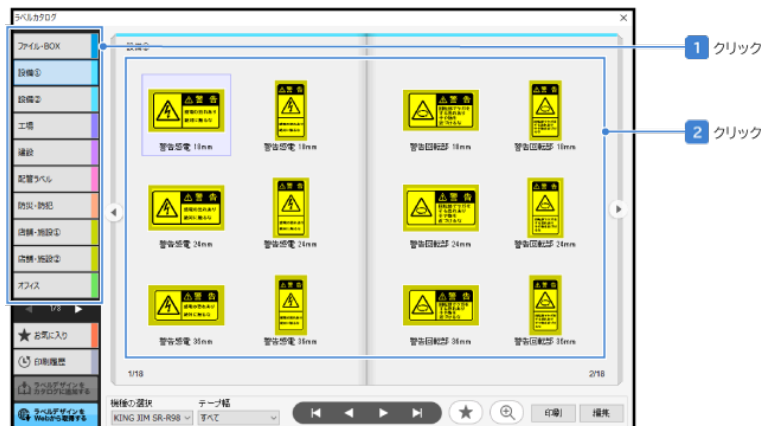
[ラベルカタログ]画面が表示されます。

MEMO



・[ファイル]ー[ラベルカタログ]、またはツールバーの  (ラベルカタログ)を選択しても、[ラベルカタログ]画面が表示されます。

2


目的のラベルデザインを表示し、選択する



左側のカテゴリー一覧のカテゴリ名をクリックすると、そのカテゴリに含まれるラベルのデザインがカタログ上に表示されます。目的のラベルデザインを選択し、印刷、編集、お気に入りへの追加ができます。

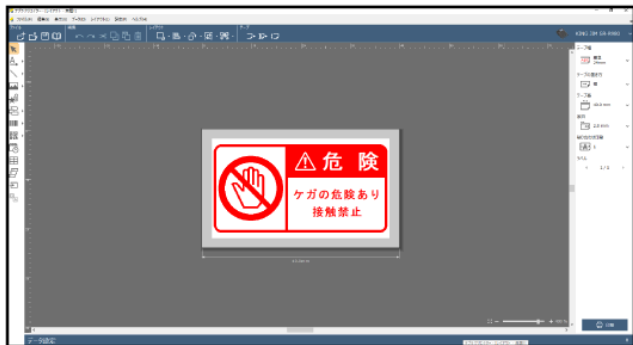
各カテゴリに含まれるラベルデザインが複数ページある場合は、  でページを切り替えます。

MEMO

- ・カタログの下のテープ幅リストからテープ幅を指定すると、そのテープ幅で利用できるラベルデザインのみがカタログ上に表示されます。
- ・ (拡大表示)をクリックし、確認したいラベルデザインにカーソルを合わせると拡大表示されます。

3

[編集]をクリックする



選択されたデザインのラベルが、レイアウト編集画面で表示されます。


MEMO

- ・[印刷]をクリックすると、表示しているラベルデザインのまま印刷できます。
- ・ラベルデザインにより、使用できるテープ幅が異なります。テープカートリッジを交換するか、レイアウト編集画面でテープ幅に合うようにラベルの内容を変更してください。

4

ラベルの内容を変更する

レイアウト編集画面で、読み込んだラベルデザインの文字や記号、イラストなどを変更します。

参照  「文字を入力する」

MEMO

- ・画面上的イメージに合った印刷結果を得るためには、ラベルデザインに表示されるテープ色/インク色と同じ色のテープカートリッジを「テプラ」本体にセットしてください。
- ・テープ色/インク色が設定されているラベルデザインを読み込んだ場合、画面上的テープイメージも変更されます。元に戻す場合はメニューバーの[設定]－[環境設定]から「標準に戻す」をクリックしてください。

ラベルデザインをカタログに追加する

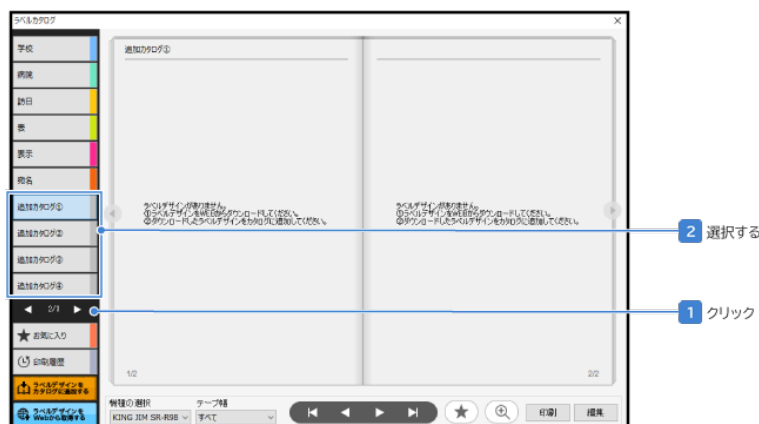
ダウンロードしたラベルデザインを「テプラ クリエイター」にインポートします。

MEMO

- ・用途に特化した豊富なラベルデザインをダウンロードすることができます。詳しくは当社ホームページの「ラベルデザイン」Webページ(<https://kingjim.jp/labeldesign/>)をご覧ください。
- ・インポートするファイルはTDL形式です。
- ・インポートするラベルデザインは「テプラ」PRO用と「テプラ」Grand用があります。使用する「テプラ」本体に合わせてご使用ください。
- ・Webページの利用には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットに接続されたパソコンから利用してください。

1

ラベルカタログを開き、インポートする場所を選択する



左側のカテゴリー一覧で「追加カタログ」と表示されている箇所にインポートできます。カテゴリー一覧は ◀ ▶ で切り替えます。

ラベルデザインをインポートしたい追加カテゴリを選択してください。

2

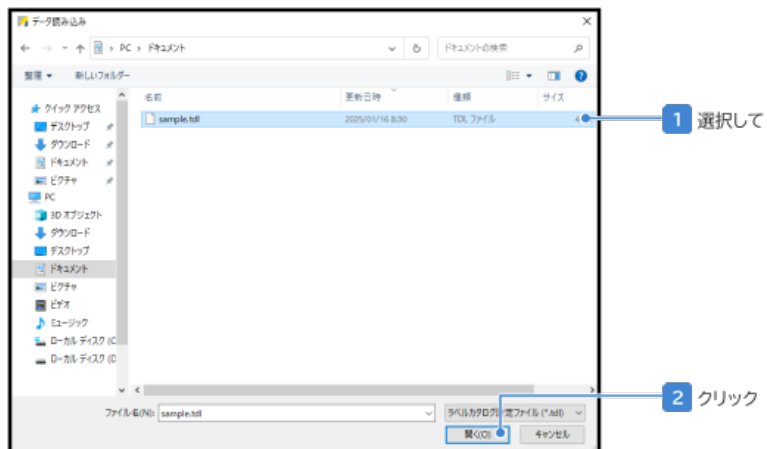
[ラベルデザインをカタログに追加する]をクリックする



あらかじめ、当社ホームページからラベルデザインをダウンロードしてください。

3

インポートするファイルを指定し[開く]をクリックする



ダウンロードしたラベルデザインを選択してください。

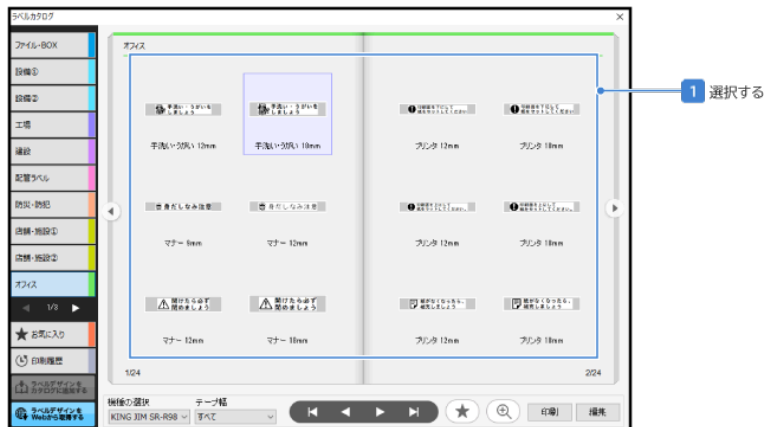
インポートが完了すると、ラベルデザインが「テプラ クリエイター」で使用できるようになります。

お気に入りに登録する

よく使うラベルデザインは、お気に入りに登録しておく便利です。

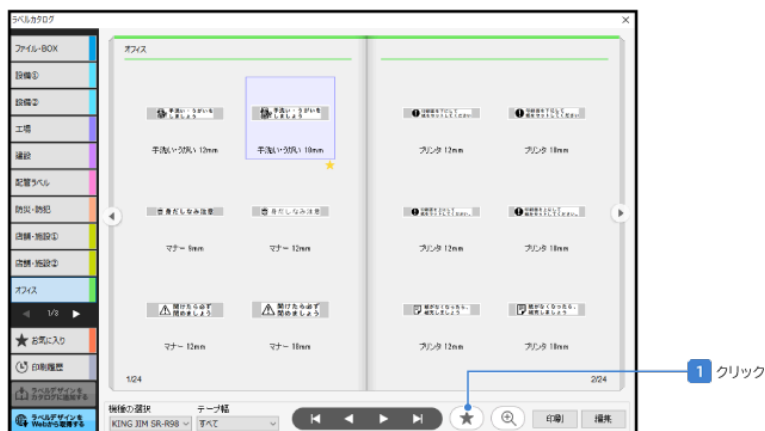
1

ラベルカタログを開き、目的のラベルデザインを選択する



2

★ (お気に入り)をクリックする



選択しているラベルデザインの下に ★ (お気に入り)マークが表示されます。

以降は、左側のカテゴリー一覧の下にある「お気に入り」を選択すると、登録したラベルデザインがカタログ上に一覧で表示され、素早く選択できるようになります。

MEMO

- ・左側のカテゴリー一覧の下にある「印刷履歴」を選択すると、最近印刷したラベルデザインがカタログ上に一覧で表示されます。

複数ラベルを作成する

長さや印字内容の異なるラベルを複数作成する

長さや印字内容の異なるラベルを複数一度に作成することができます。

1

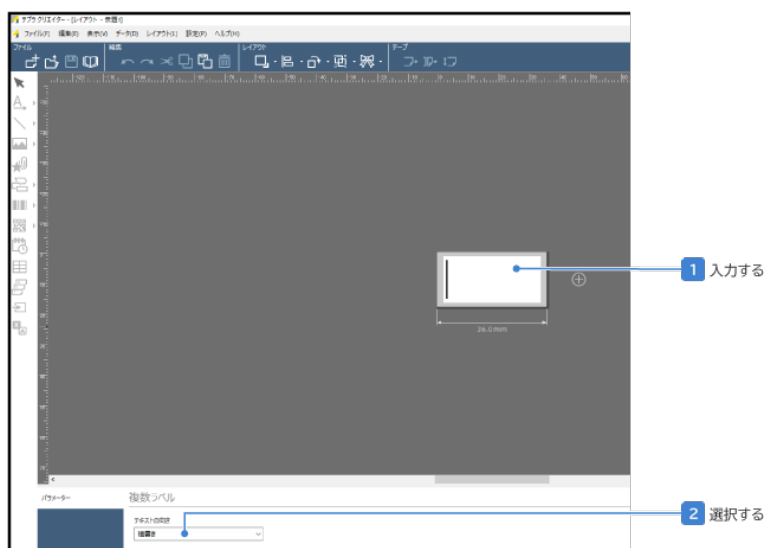
新規作成画面から[複数ラベル]を選択する



[複数ラベル]画面が表示されます。

2


ラベルに印字したいテキストを入力する

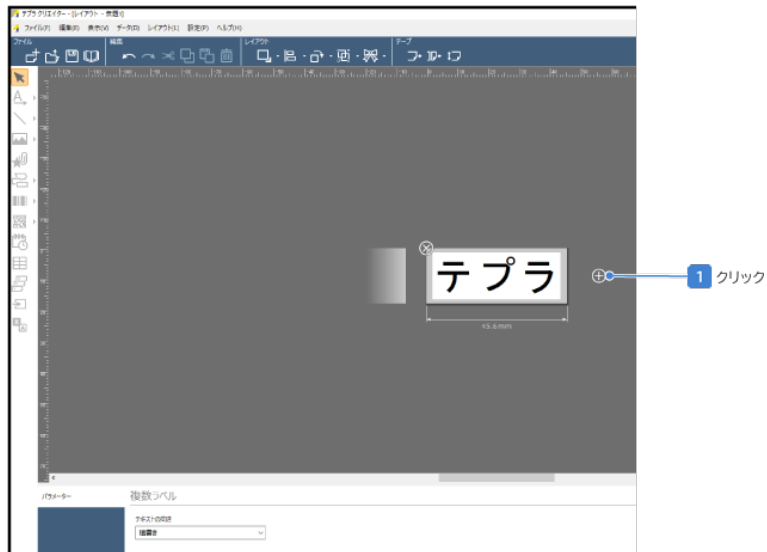



印字したいテキストを入力します。

ラベルの縦書き、横書きを変更したい場合はデータ設定画面からテキストの向きを選択します。


3

ラベル横の  をクリックし、2枚目以降のラベルを作成する



テキスト入力後、 をクリックすると2枚目のラベル作成画面に移動します。

手順 **2** と同様にテキストを入力します。

3枚目以降も作成したい場合は、再度  をクリックしてください。

作成したラベルを削除したい場合は、ラベル左上の  をクリックしてください。

4

[印刷]をクリックし、ラベルを印刷する

MEMO

・「テキストの向き」は横書き(**A**)、縦書き1(**B**)、縦書き2(**C**)の3種類から選択できます。



- ・「テキストの向き」を変更すると、複数ラベルで作成しているラベルのすべての向きが変更されます。
- ・複数ラベルは最大50枚まで作成可能です。

注意

- ・「複数ラベル」ではテキスト入力のみ可能です。外枠や絵文字、イメージの挿入などはできません。

備品管理ラベルを作成する

デザインを選んで備品管理ラベルを作成する

[新規/開く]画面から備品管理ラベル用のデザインを選んで作成することができます。

例：

資 産 名	ディスプレイ
管理番号	D 0 1 2 3
購 入 日	202× / 8 / 1

1

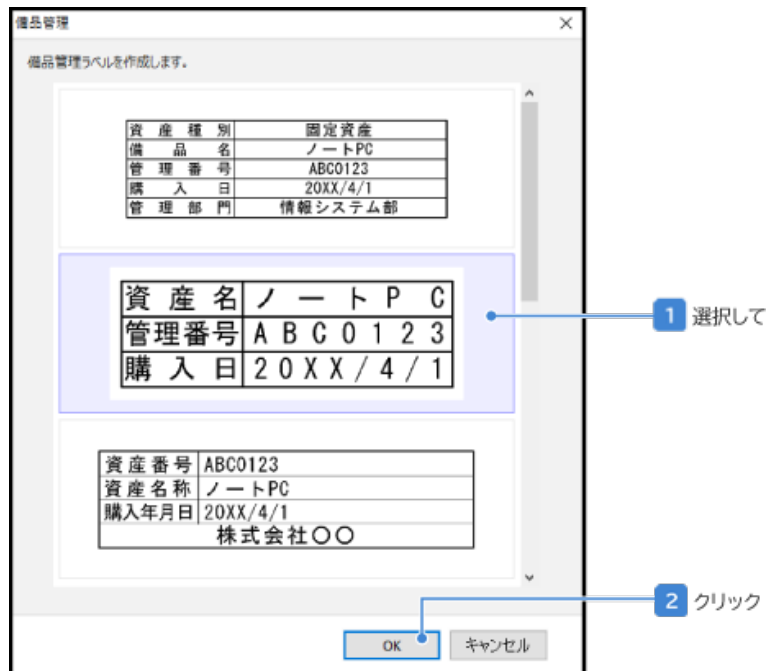
[新規/開く]画面の[備品管理]をクリックする



[備品管理]画面が表示されます。

2

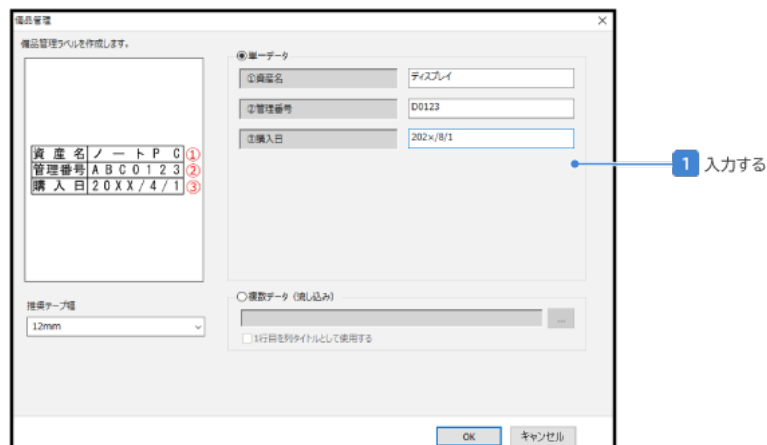
目的のデザインを選択し、[OK]をクリックする



選択したラベルの入力画面が表示されます。

3

テープ幅を選択し、データを入力する



「推奨テープ幅」で作成するラベルのテープ幅を選択します。

左側に表示されたラベルデザインの各項目を、右側に直接入力していきます。

MEMO

・流し込みデータがある場合は、「複数データ(流し込み)」を選択して、ファイルの参照先を指定します。

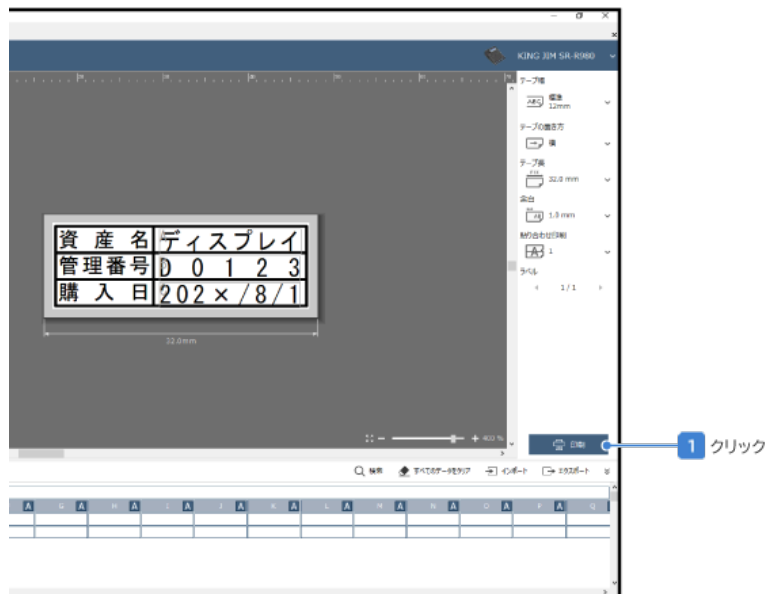
4

[OK]をクリックする

流し込みのデータ設定画面が表示されます。

5

ラベルのデザインを確認し、[印刷]をクリックする




[印刷]画面が表示されます。

データを追加する場合は、データ設定画面で任意のセルに入力します。

MEMO

- ・流し込みの編集や印刷などの操作については、「流し込み操作の流れ」を参照してください。

参照  「流し込み操作の流れ」

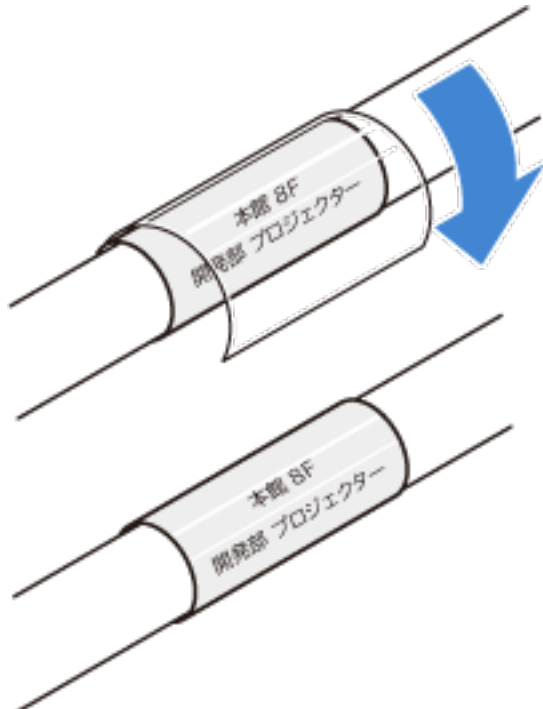
- ・ラベルデザインにより推奨テープ幅が異なります。テープカートリッジを交換するか、レイアウト編集画面でテープ幅に合うようにラベルの内容を変更してください。

ケーブルラベリングをする

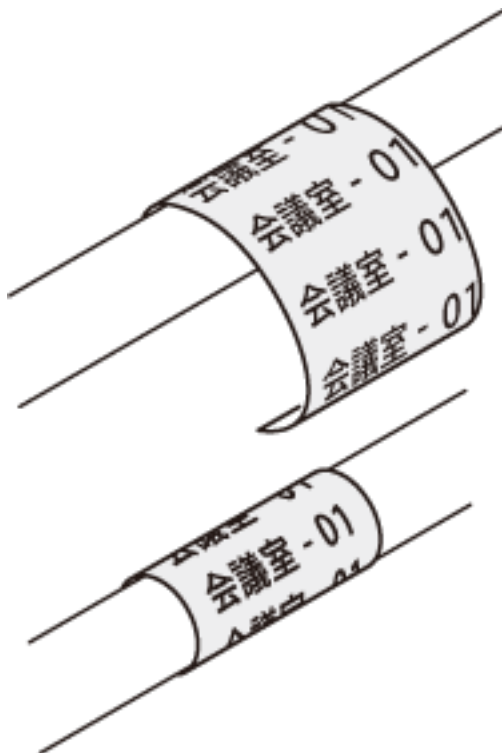
ケーブルラベルについて

ケーブルやネットワーク配線機器の識別管理ラベルを簡単に作成することができます。
「ケーブルラベリング」機能では、以下のラベルが作成できます。

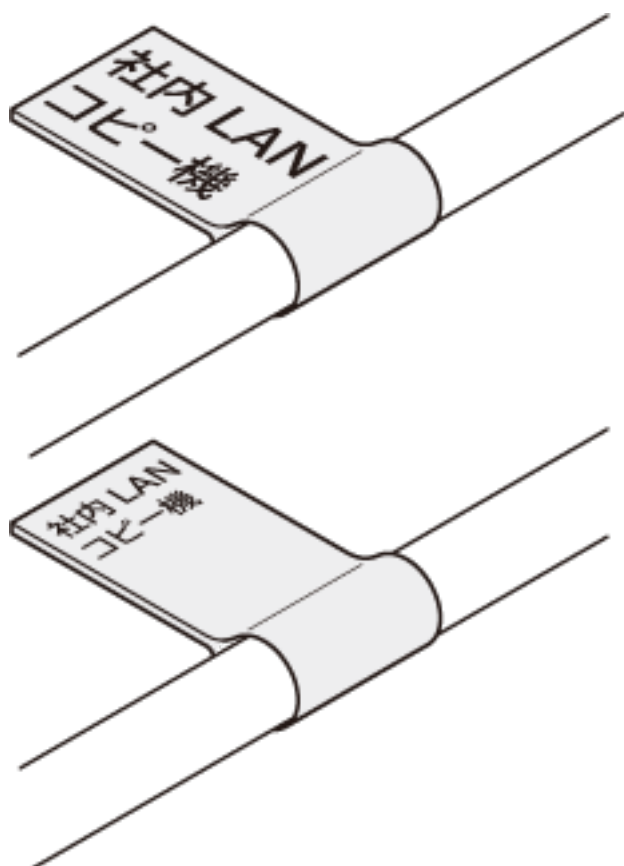
- ・ケーブル表示ラベル



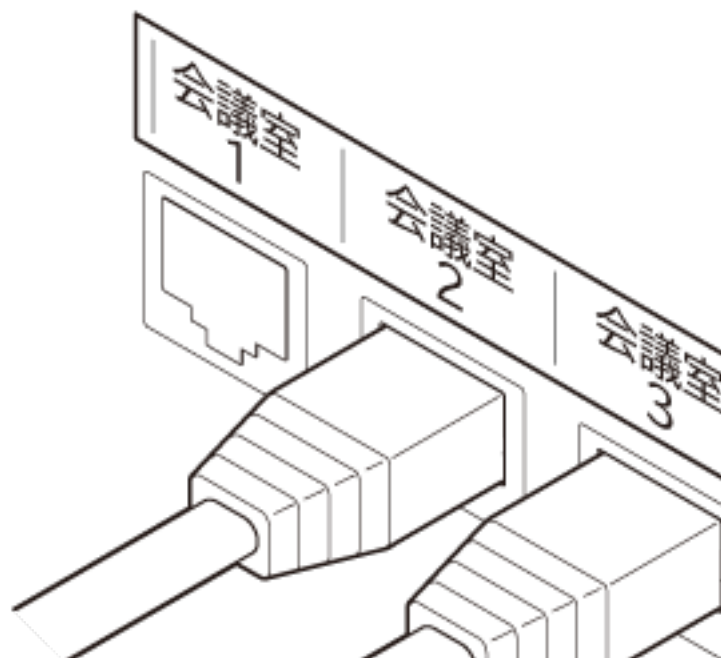
- ・ケーブルラップラベル



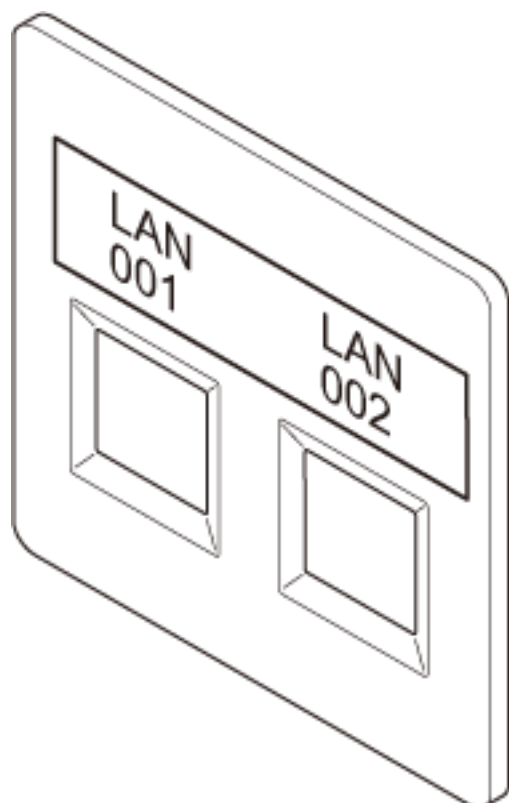
- ・フラッグラベル



・パッチパネル



・フェイスプレート



ケーブル表示ラベルを作成する

1

[新規作成]画面の[ケーブルラベリング]から[ケーブル表示ラベル]をクリックする



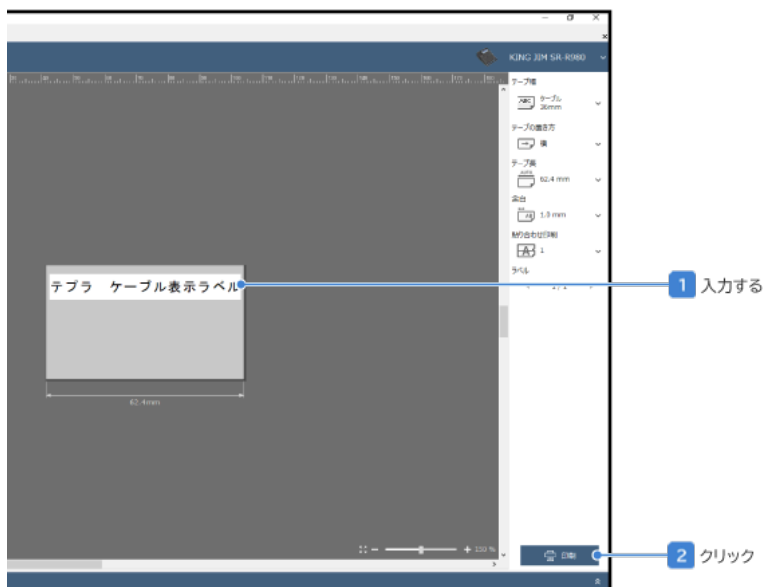
[ケーブル表示ラベル]画面が表示されます。

注意

- ・[ケーブル表示ラベル]は、テープ幅で「ケーブル(ケーブル表示ラベル)」を選択しているときのみ表示されます。

2

テキストを入力する



印字したいテキストを入力し、[印刷]をクリックします。

ケーブルラップを作成する

1

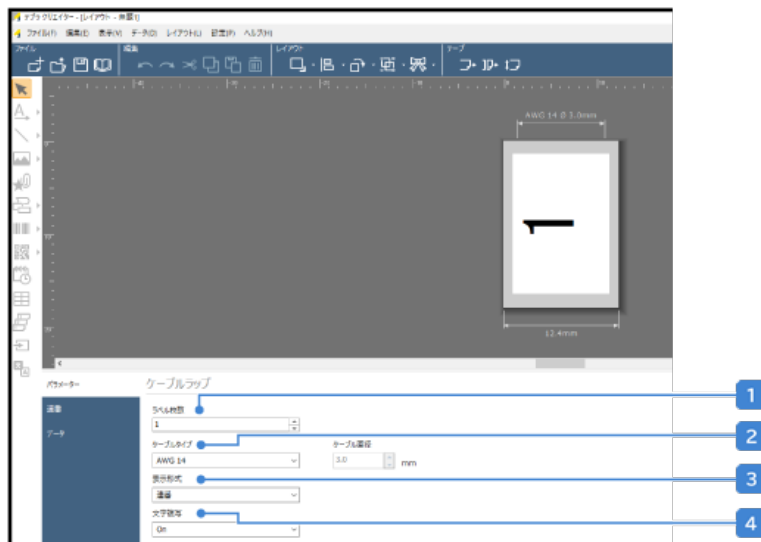
[新規作成]画面の[ケーブルラベリング]から[ケーブルラップ]をクリックする



[ケーブルラップ]画面が表示されます。

2

[パラメーター]タブで必要事項を入力する

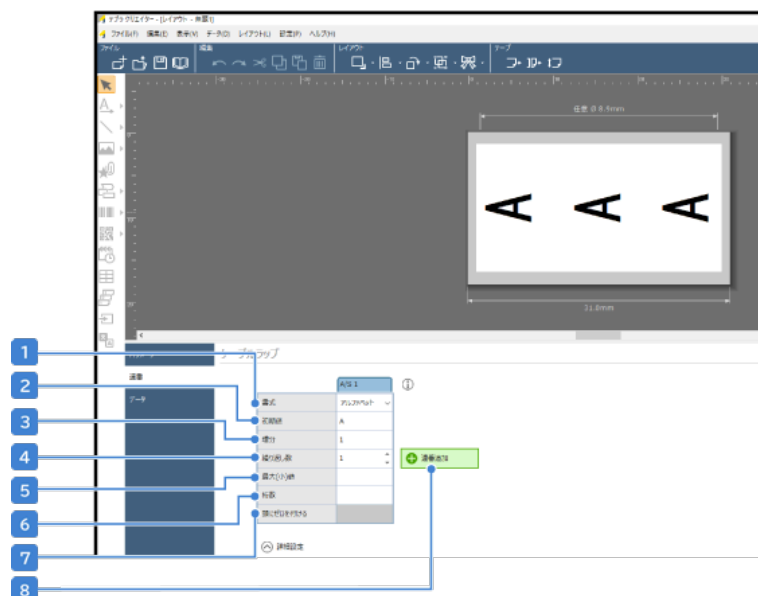


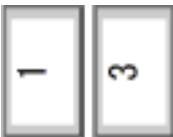

[パラメーター]タブから、必要に応じて入力内容を設定します。

1 ラベル枚数	作成するラベルの枚数を設定します。
2 ケーブルタイプ	貼り付けするケーブルタイプの直径に合わせ、自動でラベル幅を変更します。ケーブル直径を任意の数値で入力したい場合、「任意」を選択します。
3 表示形式	表示形式を「連番」または「テキスト/データ流し込み」のいずれかから設定します。 連番: 連番印刷をしたい場合に便利です。 テキスト/データ流し込み: データ設定画面に自由にテキストを入力できるほか、Excelなどのファイルからあらかじめ用意されたデータを流し込む場合などにも使用します。
4 文字複写	「On」にすると、入力内容を印刷範囲(白い部分)内に複写します。

■ [連番]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番]タブで必要事項を入力します。

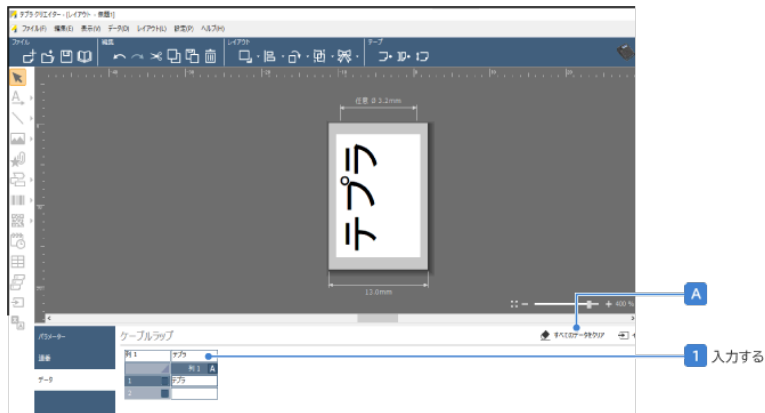


1 書式	<p>数字、アルファベット、文字列、改行の4種から、入力したいデータ内容を選択します。</p> <p>数字: 入力したい内容が数字のみの場合に選択します。</p> <p>アルファベット: 入力したい内容がアルファベットの場合に選択します。</p> <p>文字列: 任意のテキストを入力したい場合に選択します。</p> <p>改行: 改行したい場合に入力します。</p>
2 初期値	<p>「書式」で「数字」を選択した場合はカウントを始める最初の数字、「アルファベット」を選択した場合はカウントを始める最初のアルファベット、「文字列」を選択した場合は任意の文字列を入力します。数字、アルファベットの場合、初期値は9桁、文字列は255文字まで入力可能です。</p>
3 増分	<p>「書式」で数字またはアルファベットを選択していて、かつラベル枚数が2枚以上の場合、印刷するごとに加算される増分を最大5桁までの半角数字で指定します。マイナス値や小数点も指定できます。</p> <p>※例えば増分を「1」にすると、1、2、3……と数字が1ずつ増え、増分を「-2」にすると、1、-1、-3……と数字が2つずつ減ります。</p> <p>例:「ラベル枚数」2枚、「書式」数字、「初期値」1、「増分」2で指定した場合</p> 
4 繰り返し数	<p>「増分」が設定されていて、かつラベル枚数が2以上の場合、増分するまで同じ内容を何枚印刷するかを半角数字で指定します。</p> <p>例:「ラベル枚数」4枚、「書式」数字、「初期値」1、「増分」2、「繰り返し数」2で指定した場合</p> 
5 最大(小)値	<p>連番の最大(小)値を設定します。</p> <p>増分が+の場合は最大値、-の場合は最小値を半角数字で指定します。</p>
6 桁数	<p>「書式」が数字またはアルファベットの場合、指定した桁数を超えた場合は指定した桁数のみをラベルに表示します。</p> <p>※2桁に設定した場合、連番を99まで繰り返したあと、100を”00”と表示します。</p>
7 頭にゼロをつける	<p>「書式」が数字の場合、頭に0をつけるかどうか設定できます。</p> <p>※桁数が1のときは頭に0をつけることはできません。</p>
8 連番追加	<p>ラベルに入力する列数と項目を増やせます。</p>

■ [データ]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「テキスト/データ流し込み」に設定した場合、[データ]タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されているExcelなどからデータを流し込みたい場合、[インポート]からデータを選択します (A)。



3

[印刷]をクリックする

すべての入力が完了したら、[印刷]をクリックし印刷します。

MEMO

- ・2行目に入力した内容はラベルの2枚目に反映されます。
- ・「テキスト/データ流し込み」は、列の挿入はできません。
- ・「テキスト/データ流し込み」でインポートできる最大行は2,000行までです。

フラグラベルを作成する

1

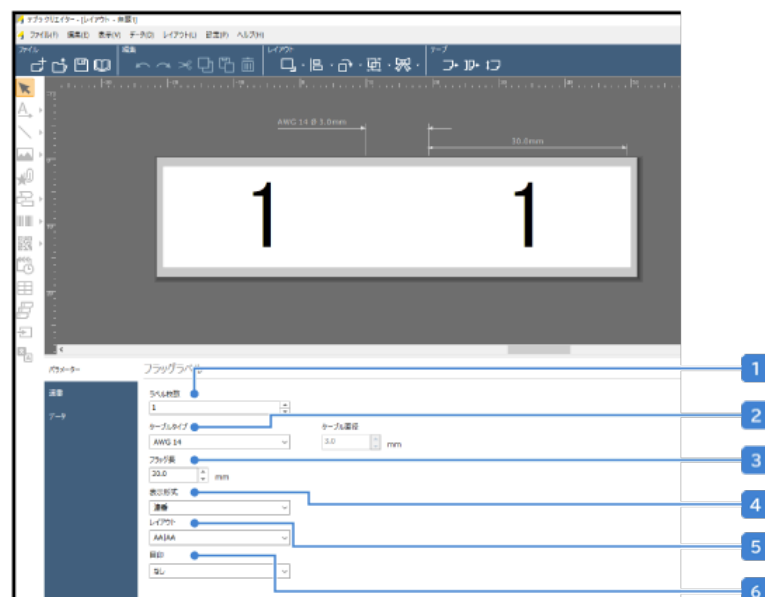
[新規作成]画面の[ケーブルラベリング]から[フラグラベル]をクリックする



[フラグラベル]画面が表示されます。




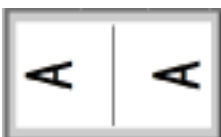
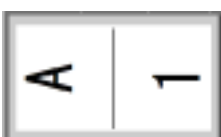
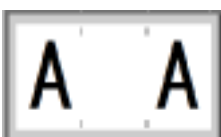
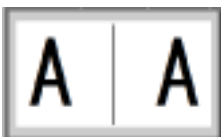
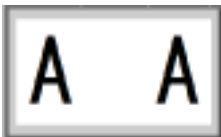
2

[パラメーター]タブで必要事項を入力する



[パラメーター]タブから、必要に応じて入力内容を設定します。


1 ラベル枚数	作成するラベルの枚数を設定します。2以上に設定した場合、入力した枚数のラベルを作成します。
2 ケーブルタイプ	貼り付けするケーブルタイプの直径に合わせ、自動でラベル幅を変更します。ケーブル直径を任意の数値で入力したい場合、「任意」を選択します。
3 フラッグ長	フラッグの長さを設定します。2.5～300mmの間で設定可能です。

4 表示形式	<p>表示形式を「連番」または「テキスト/データ流し込み」のいずれかから設定します。表示形式の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。</p> <p>参照  「ケーブルラップを作成する」</p>
5 レイアウト	<p>ラベルのレイアウトを4種類から選択できます。</p> <p>AA AA: 右と左に同じ内容を横向きで印字します</p>  <p>AA BB: 右と左で異なる内容を横向きで印字します</p>  <p>CC CC: 右と左に同じ内容を縦向きで印字します</p>  <p>CC DD: 右と左で異なる内容を縦向きで印字します</p> 
6 目印	<p>ケーブルに貼付する際の目印を印刷することができます。「4ヶ所」、「中心線」、「なし」の3種類から選択できます。</p> <p>4ヶ所:</p>  <p>中心線:</p>  <p>なし:</p> 

■ [連番]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番]タブで必要事項を入力します。

各項目の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照  「ケーブルラップを作成する」

■ [データ]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「テキスト/データ流し込み」に設定した場合、[データ]タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されているExcelなどからデータを流し込みたい場合、[インポート]からデータを選択します。

3

[印刷]をクリックする

すべての入力が完了したら、[印刷]をクリックし印刷します。

MEMO

・「テキスト/データ流し込み」でインポートできる最大行は2,000行までです。

パッチパネルを作成する

1

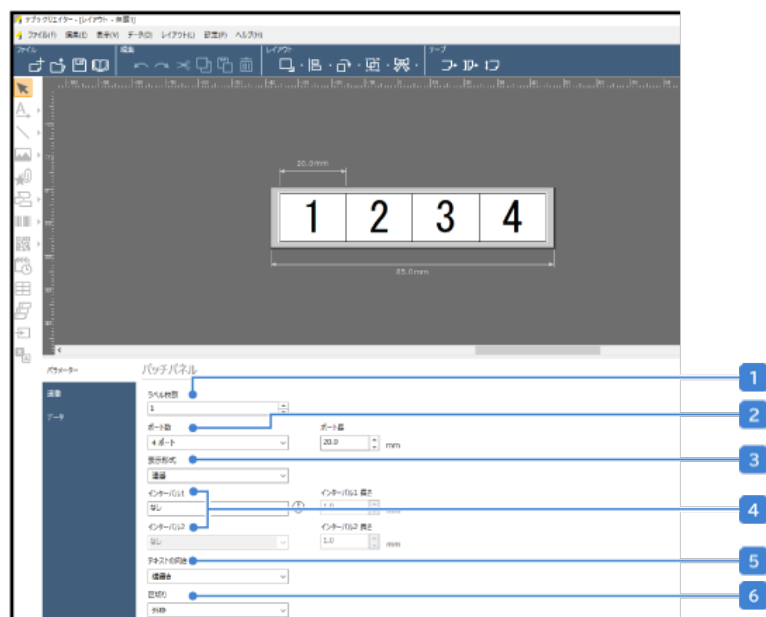
[新規作成]画面の[ケーブルラベリング]から[パッチパネル]をクリックする



[パッチパネル]画面が表示されます。

2

[パラメーター]タブで必要事項を入力する

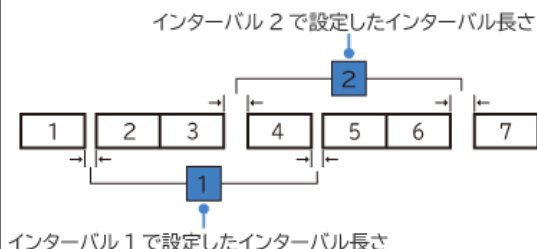


[パラメーター]タブから、必要に応じて入力内容を設定します。

1 ラベル枚数	作成するラベルの枚数を設定します。2以上に設定した場合、入力した枚数のラベルを作成します。
2 ポート数	ポート数を入力します。1～50まで入力可能です。 「ポート長」から、ポートの幅を入力できます。(2.5～300mmまで)
3 表示形式	表示形式を「連番」または「テキスト/データ流し込み」のいずれかから設定します。表示形式の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。 参照 「ケーブルラップを作成する」

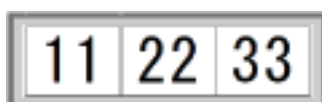
4 インターバル1/インターバル2

ポート間隔を広げるときに設定します。「インターバル1(2)」でインターバル間のポート数を、「インターバル1(2)長さ」でポート間隔を入力します。インターバルは最大2パターン同時に設定可能です。インターバル2を設定した場合、「インターバル1」と「インターバル2」が交互に適用されます。

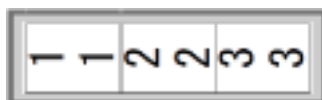
**5** テキストの向き

テキストの向きを「横書き」「縦書き1」「縦書き2」の3種類から選択できます。

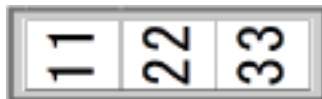
横書き:



縦書き1:

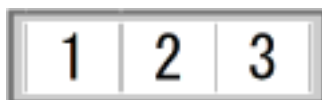


縦書き2:

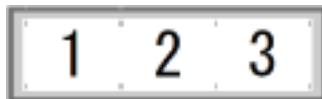
**6** 区切り

ポートの間に区切り線を印字します。「実線」「4ヶ所」「点線」「外枠」「なし」の5種類から選択できます。

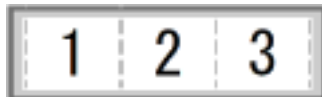
実線:



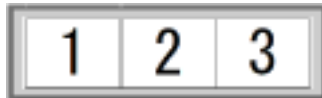
4ヶ所:



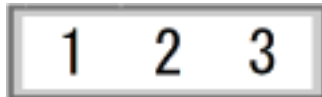
点線:



外枠:




なし:



■ [連番]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番]タブで必要事項を入力します。

各項目の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照  「ケーブルラップを作成する」

■ [データ]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「テキスト/データ流し込み」に設定した場合、[データ]タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されているExcelなどからデータを流し込みたい場合、[インポート]からデータを選択します。

3

[印刷]をクリックする

すべての入力完了したら、[印刷]をクリックし印刷します。

MEMO

- ・パッチパネルで作成できるラベルの最大印刷範囲は1,000mmです。
- ・変更する際は、テープ設定ツールバーのテープ長でおこなってください。
- ・「テキスト/データ流し込み」でインポートできる最大行は2,000行までです。

フェイスプレートを作成する

1

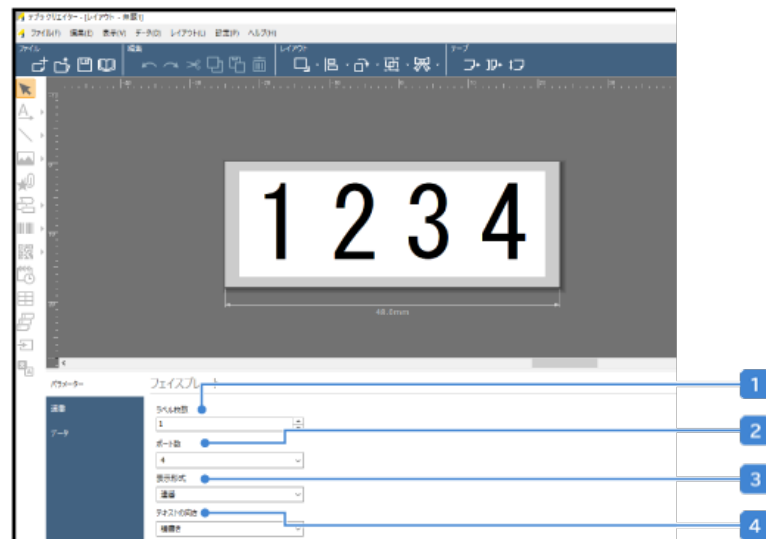
[新規作成]画面の[ケーブルラベリング]から[フェイスプレート]をクリックする



[フェイスプレート]画面が表示されます。

2

[パラメーター]タブで必要事項を入力する



[パラメーター]タブから、必要に応じて入力内容を設定します。

1 ラベル枚数	作成するラベルの枚数を設定します。2以上に設定した場合、入力した枚数のラベルを作成します。
2 ポート数	ポート数を入力します。1～50まで入力可能です。
3 表示形式	表示形式を「連番」または「テキスト/データ流し込み」のいずれかから設定します。表示形式の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。 参照 「ケーブルラップを作成する」

4 テキストの向き

テキストの向きを「横書き」「縦書き1」「縦書き2」の3種類から選択できます。

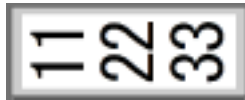
横書き:



縦書き1:




縦書き2:

**■** [連番]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番]タブで必要事項を入力します。

各項目の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照  「ケーブルラップを作成する」

■ [データ]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「テキスト/データ流し込み」に設定した場合、[データ]タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されているExcelなどからデータを流し込みたい場合、[インポート]からデータを選択します。

3

[印刷]をクリックする

すべての入力完了したら、[印刷]をクリックし印刷します。

MEMO

- ・フェイスプレートで作成できるラベルの最大テープ長は999mmです。
変更する際は、テープ設定ツールバーのテープ長でおこなってください。
- ・「テキスト/データ流し込み」でインポートできる最大行は2,000行までです。

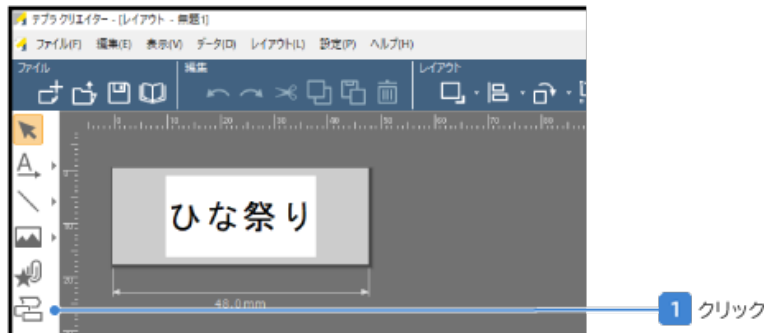
外枠や地紋を挿入する

外枠を挿入する

「テプラ クリエイター」には、いろいろな外枠があり、一覧から選択して挿入できます。

1

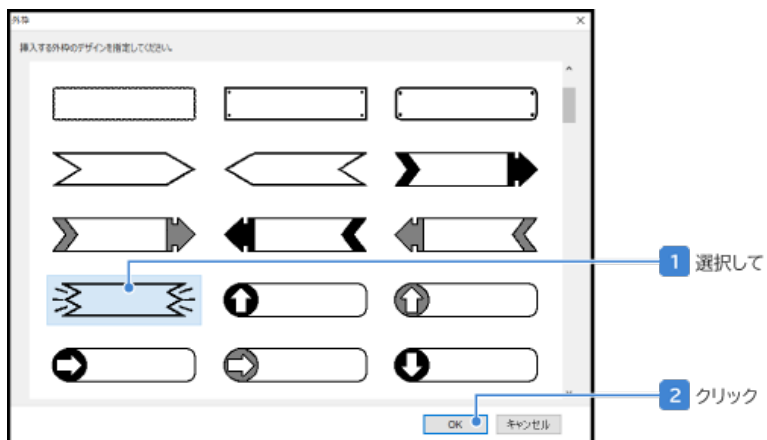
ツールボックスの （外枠）をクリックする



[外枠]画面が表示されます。

2

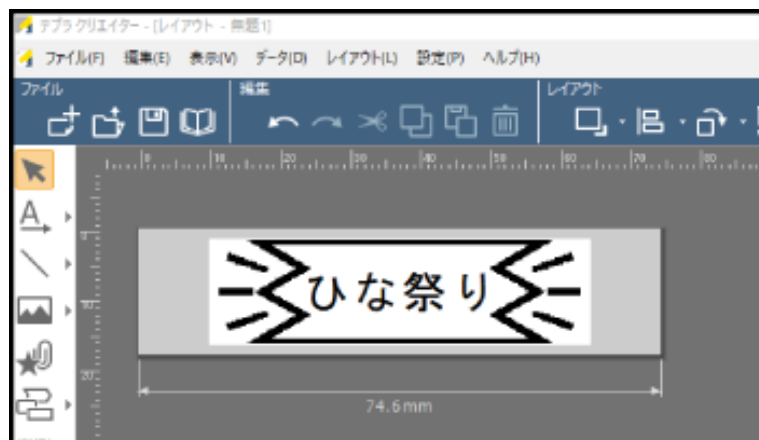
挿入する外枠を選択し、[OK]をクリックする



外枠がラベル幅いっぱいのサイズで挿入されます。

3

サイズや位置を決定する



ハンドルつきで表示されている状態で、サイズや位置を変更できます。
外枠以外の場所をクリックすると、外枠のサイズや位置が確定します。

地紋を挿入する

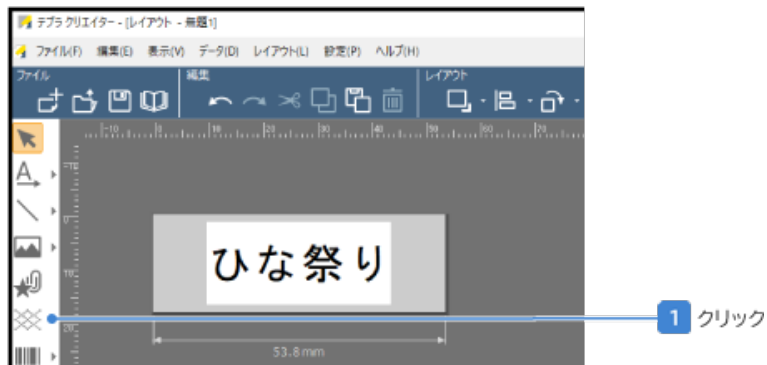
ラベルの背景に、地紋を入れられます。

注意

- ・地紋は、画面表示の位置と実際の印刷位置が異なる場合があります。

1

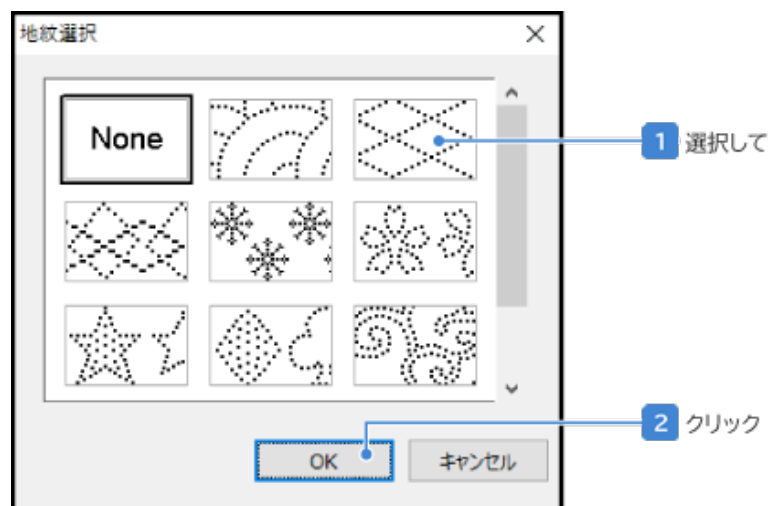
ツールボックスの  (地紋) をクリック、または  (外枠) 横の [] から  (地紋) を選択する



[地紋選択]画面が表示されます。

2

挿入する地紋を選択し、[OK]をクリックする




ラベルの背景に地紋が挿入されます。

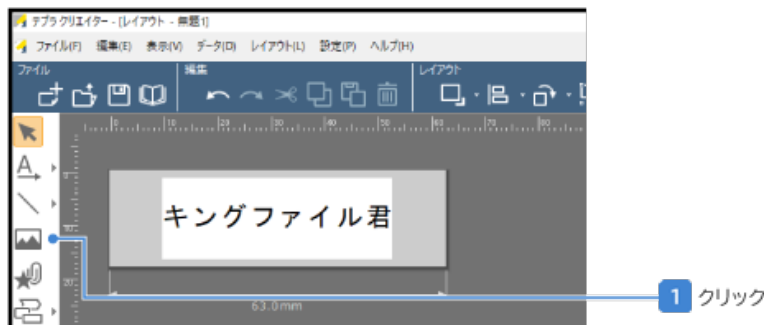
イメージファイルやスクリーンキャプチャを挿入する

イメージファイルを挿入する

市販のアプリケーションで作成したイメージファイル(BMP、WMF、EMF、JPG、TIF、PNG形式のファイル)を挿入できます。

1

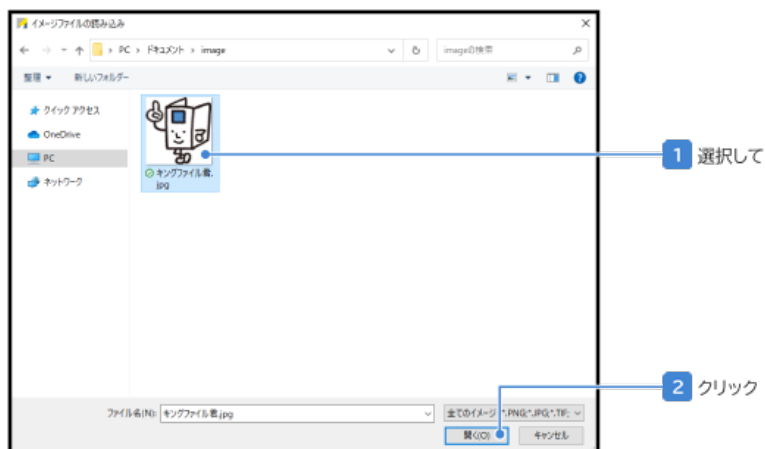
ツールボックスの  (イメージ)をクリックする



[イメージファイルの読み込み]画面が表示されます。

2

挿入するイメージファイルを選択し、[開く]をクリックする

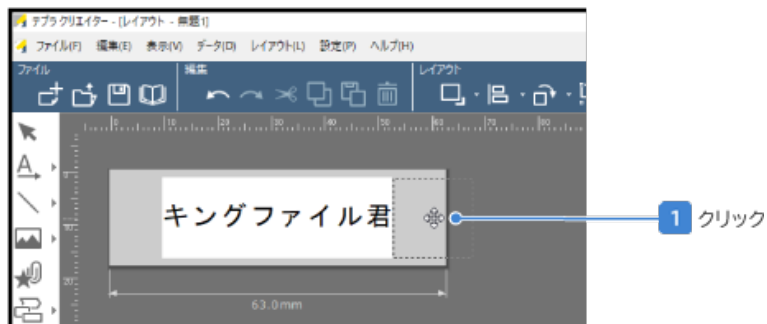


[イメージファイルの読み込み]画面にファイルがない場合は、フォルダを切り替えて読み込む場所を表示させます。

カーソルがイメージの枠になります。

3

イメージを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする



イメージが挿入されます。

イメージは自動的に白黒(2値)の画像に変換されます。

4

サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

イメージ以外の場所をクリックすると、イメージのサイズや位置が確定します。

MEMO

- ・挿入できるイメージファイルはBMP、WMF、EMF、JPG、TIF、PNG形式のファイルです。ただし、場合によりイメージファイルが挿入できないことがあります。
- ・イメージをダブルクリックして開く[イメージ]画面ではイメージファイルの枠などを設定できます。
- ・挿入したイメージがカラーデータの場合、自動的に白黒(2値)の画像に変換されます。[イメージ]画面の[画像調整]タブの「減色方式」で「白黒モード」を選択すると、しきい値を調節することができます。

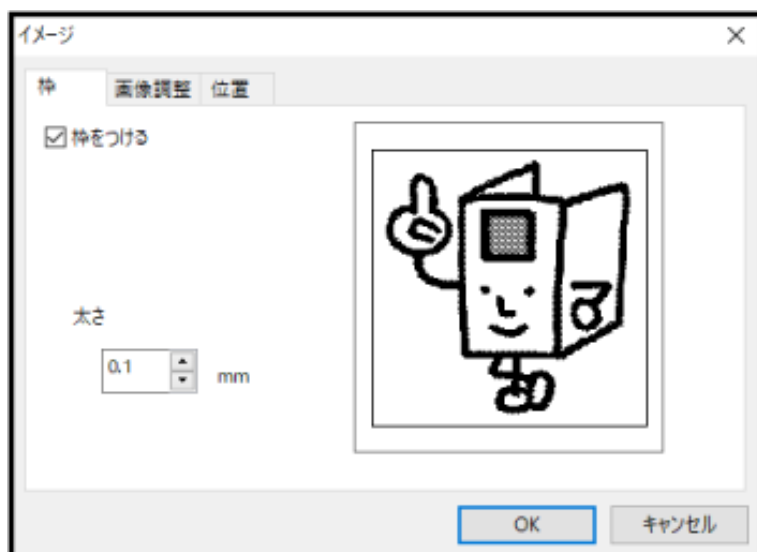
[イメージ]画面について

イメージをダブルクリックすると、[イメージ]画面が表示されます。

タブをクリックし、それぞれの項目を指定します。指定の結果は、右側のイメージで確認できます。

指定変更後、[OK]をクリックすると指定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

■[枠]タブ



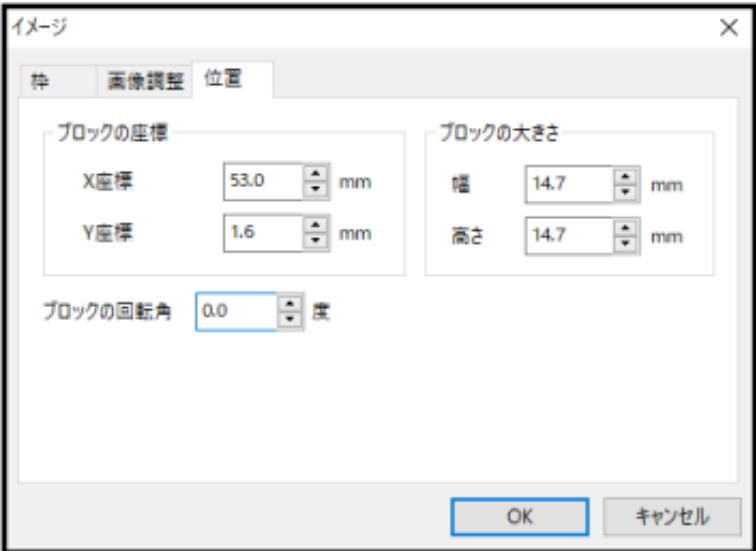
枠をつける	イメージに枠をつけるときにチェックします。
太さ	枠の太さを選択します。

■[画像調整]タブ



減色方式	イメージファイルがカラーデータの場合に2値化(白/黒への減色)方法を選択します。
しきい値	カラーデータを近似色減色する場合の白/黒の境界値を選択します。(白黒モードのみ選択可)
背景を透過する	イメージの背景を透過します。

■[位置]タブ







ブロックの座標	イメージの左上の位置を指定します。
ブロックの大きさ	イメージのサイズを指定します。
ブロックの回転角	イメージの回転角度を指定します。

スクリーンキャプチャを挿入する

現在のスクリーンをキャプチャーし、画像として挿入することができます。

1

ツールボックスの  (スクリーンキャプチャ)をクリック、または、 (イメージ)横の[]から  (スクリーンキャプチャ)を選択



2

キャプチャーしたい箇所を選択する



現在のスクリーンからキャプチャーしたい箇所をドラッグします。

3

挿入された画像を調整する



作成中のラベルにキャプチャーされた画像が挿入されます。

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を調整します。


キャプチャーイメージ以外の場所をクリックすると、イメージのサイズや位置が確定します。

絵文字・記号を挿入する

絵文字・記号を選択して挿入する

「テプラ クリエイター」には、いろいろな絵文字や記号があり、一覧から選択して挿入できます。

1

ツールボックスの （絵文字・記号）をクリックする



[絵文字・記号]画面が表示されます。

2

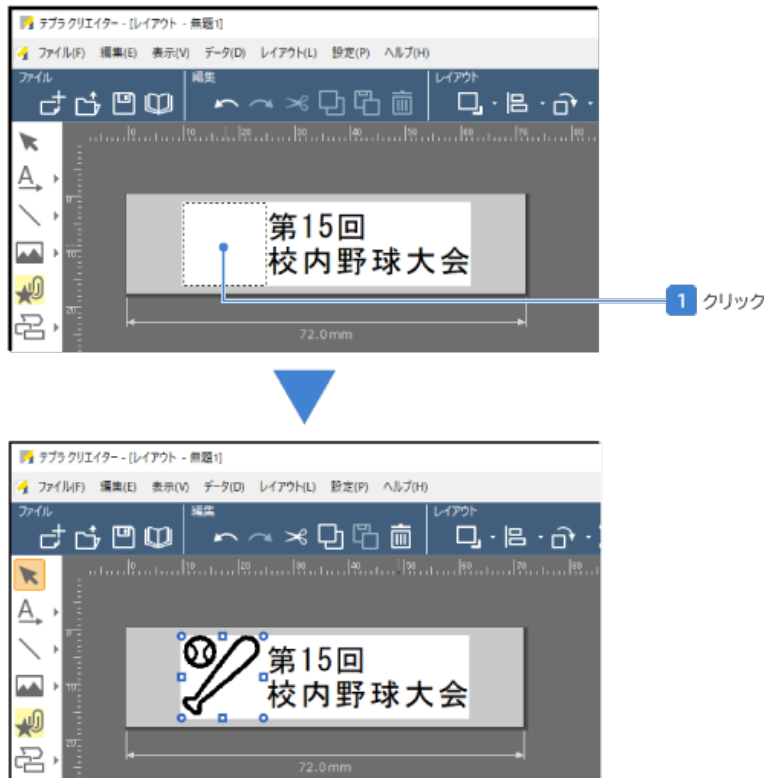
各タブの中から挿入する絵文字・記号を選択し、[OK]をクリックする



カーソルが絵文字・記号の枠になります。

3

絵文字・記号を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする



絵文字・記号が挿入されます。

4

サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

絵文字・記号以外の場所をクリックすると、サイズや位置が確定します。

MEMO

- ・絵文字・記号の種類または「テプラ」本体の機種により、挿入した絵文字・記号が、画面表示通りに印刷されない場合があります。
- ・絵文字の背景を透過するには、絵文字をダブルクリック(または右クリックして[プロパティ]を選択)して[絵文字・記号]画面を表示し、「背景を透過する」チェックボックスをチェックします。

バーコードを挿入する

バーコードの設定項目

注意

- ・次表の「テキスト」とは、バーコードの下に表示される数字などを指しています。「テキスト」をラベル上に表示させない場合は、[設定]の「バーコードオプション」で「テキストを表示」を「なし」にしてください。
- ・全バーコードに対し、高さは0.1～100cm、細いバーの幅は0.1～25mmが指定可能です。
ただし、バーコードリーダーでの読み取り保証範囲ではありませんので、バーコードリーダーで正しく読み取れることを確認してからご使用ください。

JAN-8/JAN-13

コード	半角数字のみ入力可(チェックデジットは自動計算され付加されます) JAN-8:7桁 / JAN-13:12桁
テキスト	チェックデジットも出力します

CODE39

コード	半角数字・半角英字(大文字)および「,」、「」(スペース)、「\$」、「/」、「+」、「-」、「%」を入力可 最大128桁
比率	2.5～3.0
テキスト	チェックデジットの出力を設定できます

CODE128

コード	半角数字、半角英字(大文字、小文字)、記号、特殊コードを入力可 最大128桁特殊コードは下に表示されるリストボックスから選択します 入力すると「#」と表示されます Code Aのみに対応します
テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません 特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません

UPC-A

コード	半角数字のみ入力可 11桁(チェックデジットは自動計算され付加されます)
テキスト	チェックデジットも出力します

UPC-E

コード	半角数字のみ入力可 6桁(チェックデジットは自動計算され付加されます)
テキスト	チェックデジットも出力します

NW-7(CodaBar)

コード	半角数字・および「.」、「:」、「\$」、「/」、「+」、「-」を入力可 最大126桁 コード前後には必ず「A」「B」「C」「D」のいずれかを付加
比率	2.5～3.0
テキスト	チェックデジットの出力を設定できます

ITF(Interleaved2of5)

コード	半角数字のみ入力可 最大128桁
比率	2.5～3.0
テキスト	チェックデジットの出力を設定できます

GS1-128(EAN-128)

コード	半角数字、半角英字(大文字、小文字)、記号、特殊コードを入力可 最大128桁 特殊コードは下に表示されるリストボックスから選択します 入力すると「#」と表示されます Code-Aのみに対応します ()をエンコードするかどうか選択できます
テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません 特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません ()はエンコード有無の選択に関わらずテキストに表示されます


GS1-128(定型)

コード	半角数字のみ入力可 44桁 (チェックデジットは自動計算され付加されます)
テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません


GS1データバー

コード	オムニディレクショナル、トランケート、スタック、スタック・オムニディレクショナル、リミテッド： 数字のみ13桁入力可 エクспанデッド、エクспанデッド・スタック：半角英数字、数字最大73桁、英字最大40桁入力可
テキスト	チェックデジットも出力します

カスタマバーコード

コード	半角数字、半角英字(大文字)および「-」を入力可 最大20桁まで入力可 参照  「カスタマバーコードを挿入する」
テキスト	表示されません

MEMO

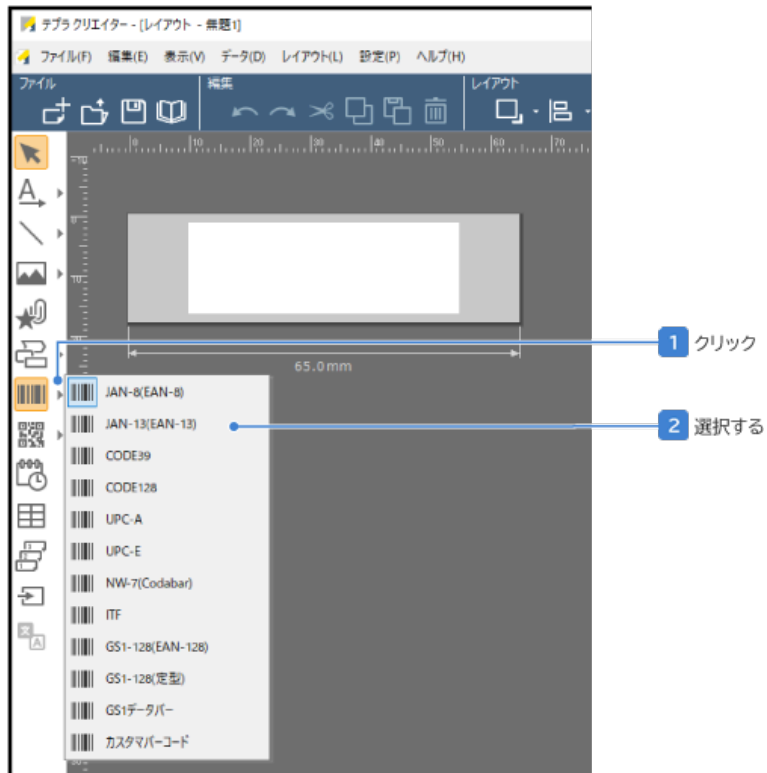
- ・バーコード連番を設定する場合は、ツールボックスから[バーコード]を挿入するとき、または挿入したバーコードをダブルクリックもしくは右クリック-[プロパティ]から[バーコード]画面を表示し[連番]タブをクリックします。
連番を設定したい範囲を選択してください。
連番の各設定項目の詳細な内容は「連番を設定してラベルを作成する」を参照してください。
参照  「連番を設定してラベルを作成する」
- ・CODE128モードのとき、バーコード連番に()を含めて設定することはできません。

バーコードを作成して挿入する

数字や文字をバーコードにして印刷できます。

1

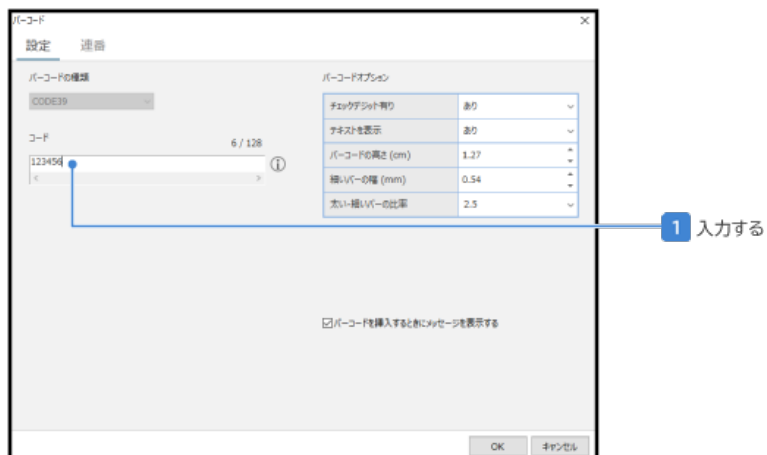
ツールボックスの  (バーコード)横の[]をクリックし、バーコードの種類を選択する



[バーコード]画面が表示されます。



2

コードを入力する



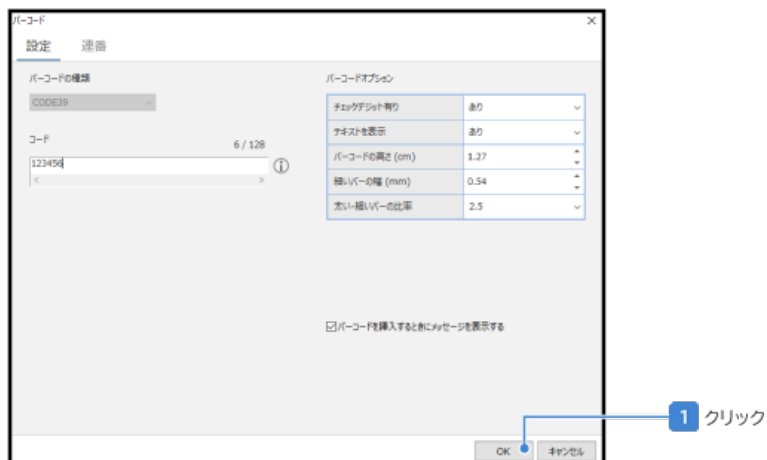
「バーコードオプション」などの項目も指定します。

MEMO

- ・バーコードの種類により設定できる項目が異なります。表示される項目を設定してください。
 - ・バーコードの種類により入力できる桁数や文字が異なります。詳細は「バーコードの設定項目」を参照してください。
- 参照  「バーコードの設定項目」
- ・QRコードの詳細は「QRコードについて」を参照してください。
- 参照  「QRコードについて」

3

[OK]をクリックする



マージン確認画面が表示されます。

4

[OK]をクリックする



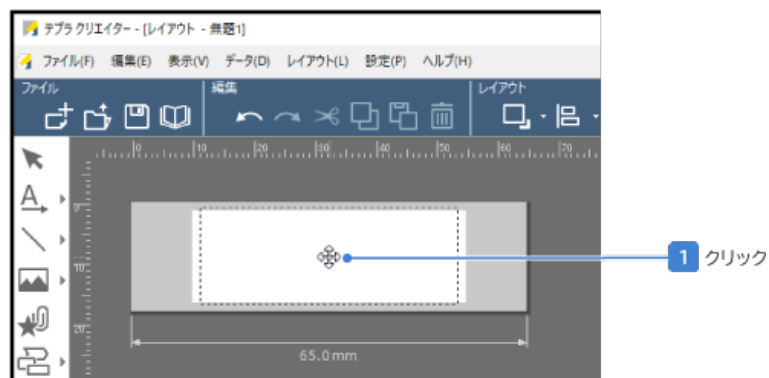
カーソルがバーコードの枠になります。

注意

- ・バーコードを挿入するときは、左右に空白(マージン)を確保してください。
- QRコード指定時は上下左右の空白(マージン)が必要になります。
- ・印刷時のバーコードの長さは「テプラ」本体によって異なることがあります。

5

バーコードを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする



バーコードが挿入されます。


6

サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

バーコード以外の場所をクリックすると、バーコードのサイズや位置が確定します。

MEMO

- ・バーコードブロックを小さくしすぎると、空白になったり、 となり、バーコードが表示・印刷されなくなります。バーコードが表示される大きさにしてください。
- ・バーコードの数値や種類を変更する場合は、バーコードをダブルクリック(またはバーコードを右クリックして[プロパティ]を選択)して[バーコード]画面を表示し、内容を変更します。
- ・印刷したバーコードは、バーコードリーダーで読み取れることを確認してから、ご使用ください。バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒インクのテープのご使用をおすすめします。
- ・お持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、[バーコード]画面を表示し、設定を変更するなどして再度確認してください。
- ・バーコードを回転したり、縦横の比率を極端に変えたり、サイズを小さくすると、バーコードリーダーで読み取れないことがあります。

QRコードを挿入する

QRコードについて

QRコードの場合、設定項目により入力可能文字数が異なります。

QRコードの最大入力可能文字数

SR-R980/SR970/SR950/SR750/SR-R7900P/SR5900P/SR3900P

テープ幅	モデル1 全角	モデル1 半角	モデル2 全角	モデル2 半角
36 / 50	299	692	346	692

SR-R680/SR670/SR-R560/SR550/SR530/SR5500P/SR-R5600P/SR3700P/SR3500P

テープ幅	モデル1 全角	モデル1 半角	モデル2 全角	モデル2 半角
24	177	690	167	652

WR1000

テープ幅	モデル1 全角	モデル1 半角	モデル2 全角	モデル2 半角
100	299	692	346	692

- ・4mm、6mmテープにはQRコードを印刷することができません。
- ・上表は、「誤り訂正レベル＝7%」、「シンボルサイズ＝極小」と設定した場合の文字数です。この文字数は入力可能な文字数であり、読み取りができることを保証するものではありません。また、文字の種類等によっては最大入力可能文字数まで入力できない場合があります。

■マイクロQRコード

- ・マイクロQRコードでは、機種によらず、最大入力可能文字数は全角9字、半角カナ15字、半角英字21字(小文字の場合15字)、半角数字35字です(誤り訂正レベル＝7%の場合)。
- ・マイクロQRコードではモデル1/モデル2の選択はありません。
- ・4mmテープにはマイクロQRコードを印刷することができません。

■rMQRコード

- ・rMQRコードでは、機種によらず、最大入力可能文字数は全角92字、半角カナ150字、半角英字219字(小文字の場合150字)、半角数字361字です(誤り訂正レベル＝15%の場合)。

MEMO

- ・中国語(簡体字)のQRコードを作成するときは、「MBCSページ番号」を「936簡体字」に変更してください。

QRコードの設定項目

QRコード/マイクロQRコード/rMQRコード

コード	英数字・記号および漢字 文字数は設定によって異なります
テキスト	表示されません

MaxiCode

コード	英数字、記号、半角カナ、全角かな、漢字の入力可 最大半角138桁 モデル2～モデル5(モデル2、3のみポストコード、国コード、サービスクラス入力可)
テキスト	特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません


PDF417

コード	モデルはStandard、Truncated、MicroPDF417が選択可能 英数字、記号、半角カナ、全角かな、漢字の入力可 最大半角2710桁
テキスト	特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません

Data Matrix

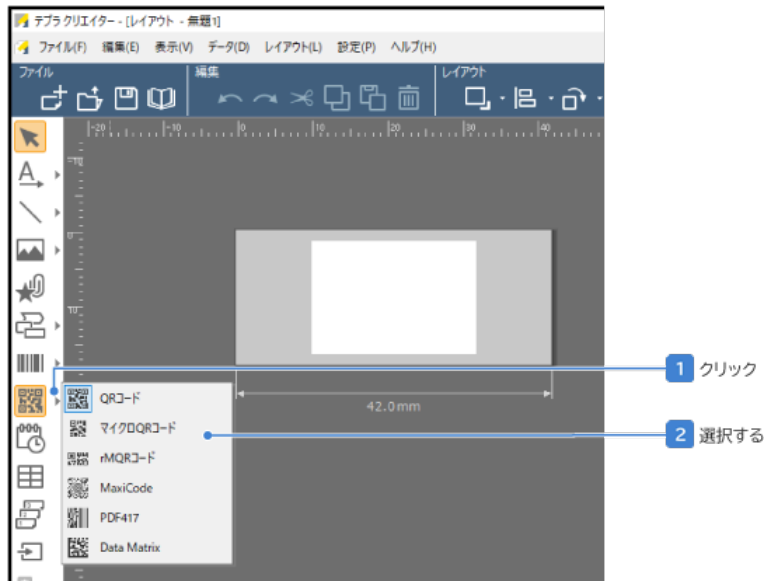
コード	モデルはECC200 Square、ECC200 Rectangularが選択可能 英数字、記号、半角カナ、全角かな、漢字の入力可 最大半角3116桁
テキスト	特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません

QRコードを作成して挿入する

ツールボックスの  (QRコード)からQRコードの設定画面を呼び出せます。

1

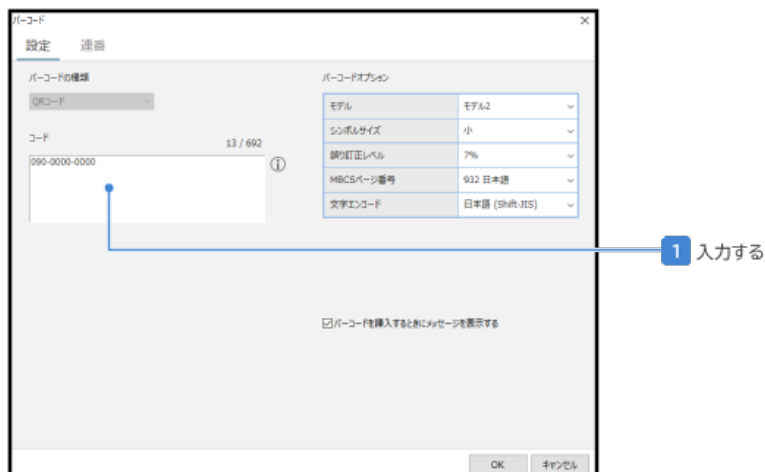
ツールボックスの  (QRコード)横の[]をクリックし、QRコードの種類を選択する



[バーコード]画面が表示されます。

2

コードを入力する



QRコードは、テープ幅や設定項目により入力文字数が異なります。詳細は、「QRコードについて」を参照してください。

参照  「QRコードについて」

3

[OK]をクリックする

マージン確認画面が表示されます。

4

[OK]をクリックする



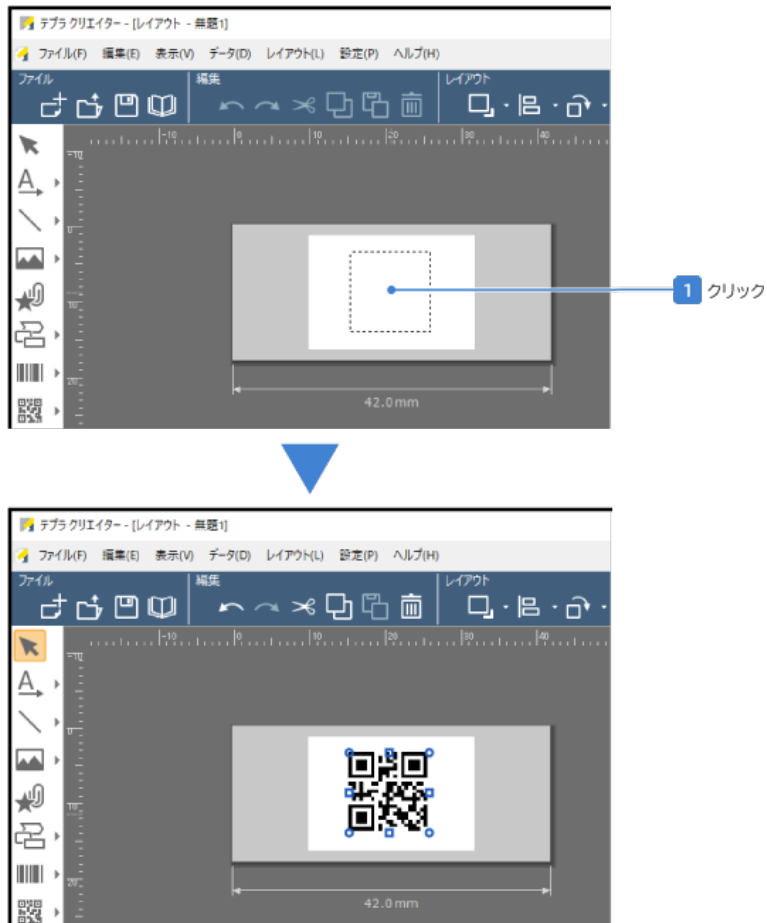
カーソルがQRコードの枠になります。

注意

・QRコードを挿入するときは、上下左右に空白(マージン)を確保してください。

5

QRコードを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする



QRコードブロックが挿入されます。


6

サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

QRコードブロック以外の場所をクリックすると、QRコードのサイズや位置が確定します。

MEMO

- ・QRコードブロックを小さくしすぎると、空白になったり、となり、QRコードが表示・印刷されなくなります。QRコードが表示される大きさにしてください。
- ・QRコードの設定を変更する場合は、QRコードをダブルクリック(またはQRコードブロックを右クリックして[プロパティ]を選択)して内容を変更します。
- ・印刷したQRコードは、読み取れることを確認してから、ご使用ください。

カスタマバーコードを挿入する

郵便番号と住所表示番号を入力してカスタマバーコードを印刷できます。

カスタマバーコードについて

カスタマバーコードは「郵便番号」+「住所表示番号」で指定します。

基本的なルールは、町域名までの住所を「郵便番号」で、町域名以降の住所の数値部分を「住所表示番号」で表します。

・例：住所表示が数字のみの場合

東京都青梅市河辺町	11丁目6番1号 永井タワー 601
↓	↓
「郵便番号」101-0123	「住所表示番号」11-6-601

・例：住所表示にアルファベットがある場合

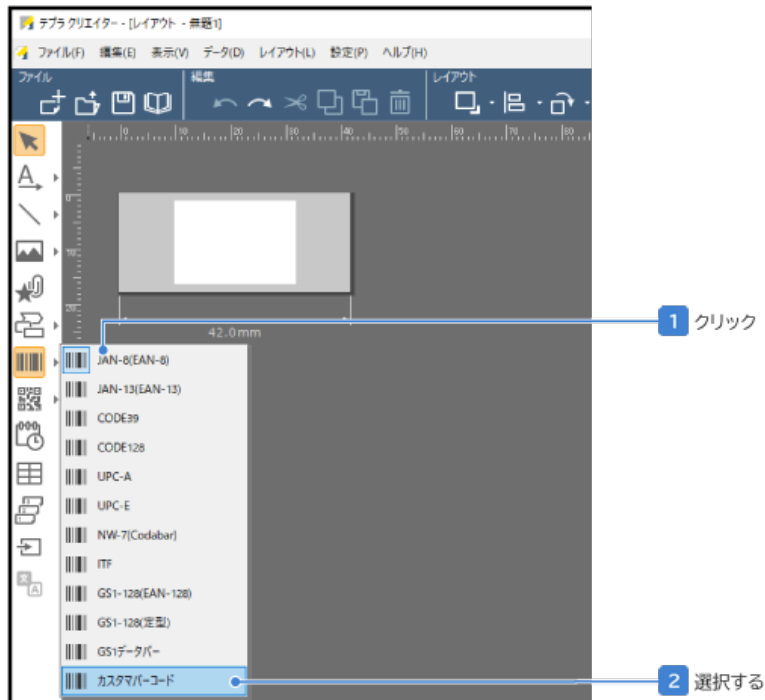
神戸市中央区港島中町	9丁目7-6 南シティA棟1階1号
↓	↓
「郵便番号」678-9012	「住所表示番号」9-7-6A1-1

カスタマバーコードを作成して挿入する

ここでは、郵便番号「101-0123」、住所表示番号「11-6-1-601」の場合を例に説明します。

1

ツールボックスの  (バーコード)横の[]をクリックし[カスタマバーコード]を選択する



[カスタマバーコード]画面が表示されます。

2

郵便番号や住所表示番号を入力する



注意

・住所表示番号は、半角数字、半角英字(大文字)および、-(ハイフン)のみ入力してください。

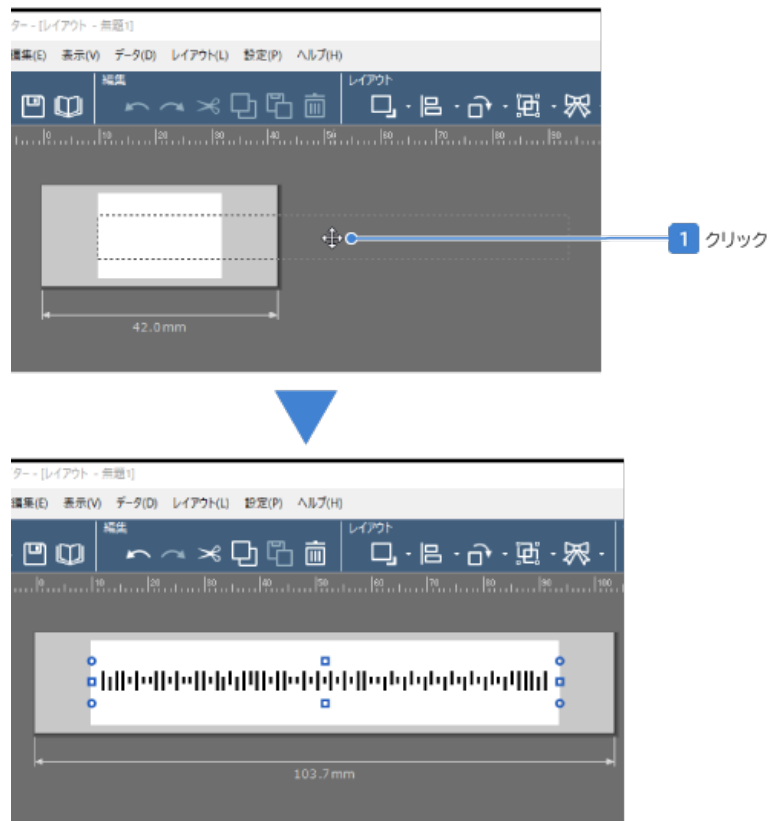
3

[OK]をクリックする

カーソルがカスタマバーコードの枠になります。

4

カスタマバーコードを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする



カスタマバーコードが挿入されます。


5

サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

カスタマバーコード以外の場所をクリックすると、カスタマバーコードのサイズや位置が確定します。

MEMO


- ・カスタマバーコードブロックを小さくしすぎると、空白になったり、 となり、カスタマバーコードが表示・印刷されなくなります。カスタマバーコードが表示される大きさにしてください。
- ・カスタマバーコードの数値を変更する場合は、カスタマバーコードをダブルクリック(またはカスタマバーコードを選択した状態で[編集]―[プロパティ]を選択)して[カスタマバーコード]画面を表示し、内容を変更します。
- ・カスタマバーコードは20桁まで入力可能です。

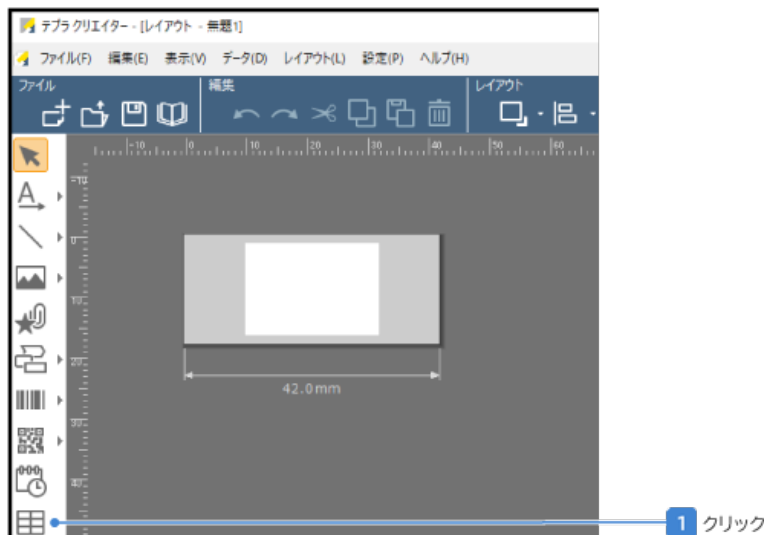
表組みを挿入する

表組みを指定して挿入する

表組み機能を使うと、カンタンに表組みを挿入することができます。

1

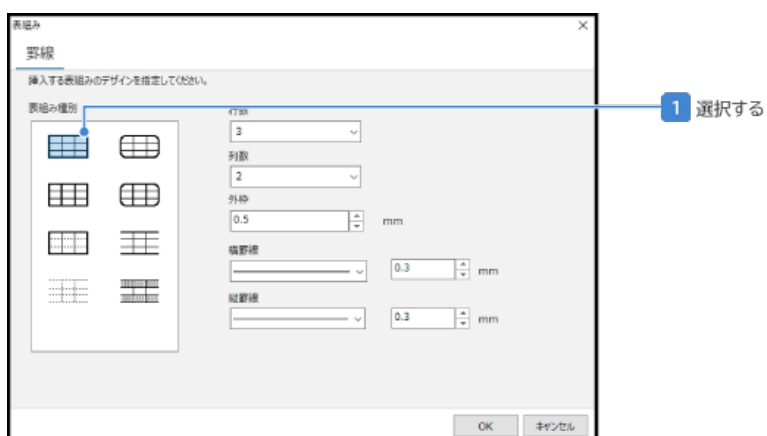
ツールボックスの  (表組み)をクリックする



「表組み」画面が表示されます。

2

内容を指定する



右側の「表組み種別」で表のスタイルを選択し、行数と列数を指定します。

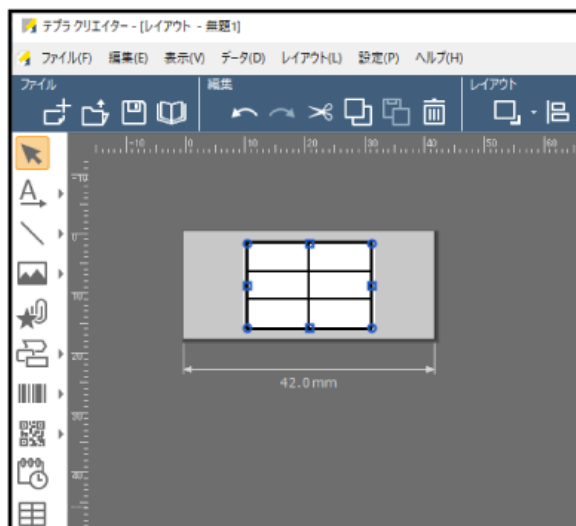
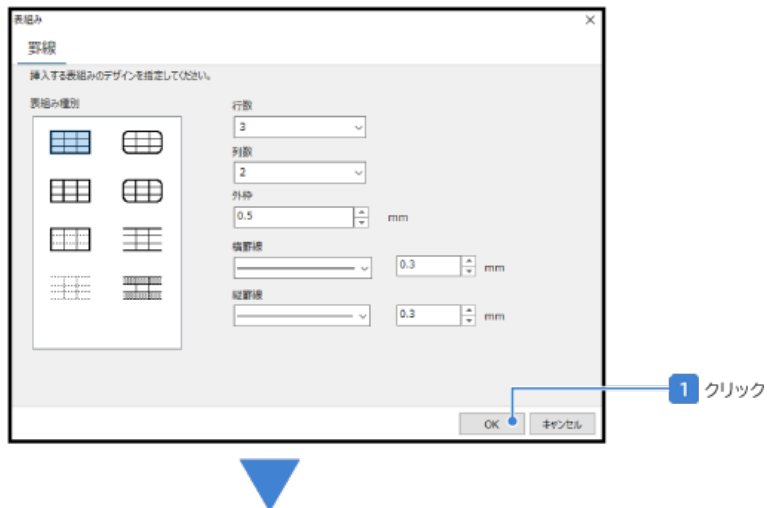
各罫線の種類や太さも変更できます。

表組み種別	表組みのスタイルを指定します。
行数	表の行数を指定します。1～20の範囲で指定します。
列数	表の列数を指定します。1～20の範囲で指定します。
外枠	外枠の太さを指定します。0.1～5.0の範囲で指定します。

横罫線	横罫線の種類や太さを指定します。0.1～5.0の範囲で指定します。
縦罫線	縦罫線の種類や太さを指定します。0.1～5.0の範囲で指定します。

3

[OK]をクリックする



ラベル幅に合わせて表組みが挿入されます。

4

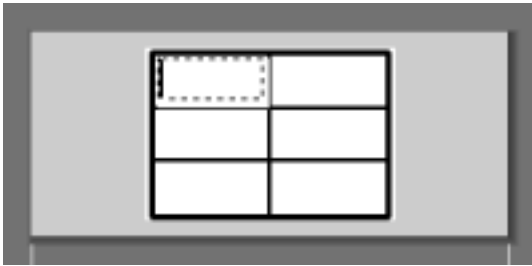
サイズや位置を決める

ハンドルつきの状態でサイズや位置を変更できます。

表組み以外の場所をクリックすると、表組みのサイズや位置が確定します。

5

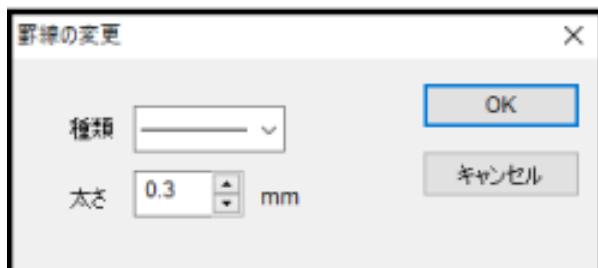
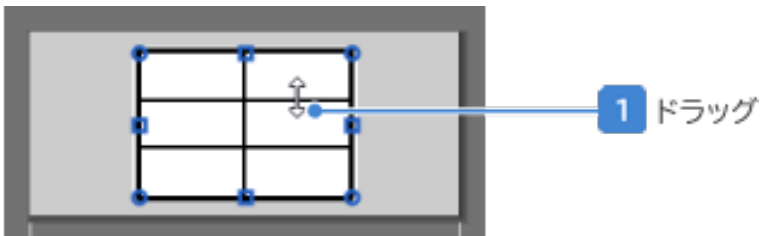
文字を入力する



表組み以外の場所をクリックしたあと、各セルの中央をクリックすると、文字カーソルが表示され、文字を入力できます。

罫線編集

表組みをクリックすると、表組みの周囲にハンドルが表示されます。この状態で内側の罫線をクリックしてハンドルつき状態でドラッグすると位置を変更できます。さらに、内側の罫線をダブルクリックすると[罫線の変更]画面が表示され、罫線の種類や太さを変更できます。



[表組み]画面について

表組みを右クリックして[プロパティ]を選ぶと[表組み]画面が表示されます。

タブをクリックし、それぞれの項目を設定します。

設定変更後、[OK]をクリックすると設定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。



MEMO

- ・各項目の設定は表組み挿入時と同じです。

参照 「表組みを指定して挿入する」

- ・[文字]、[修飾]、[影]、[間隔]、[位置]の各タブでは、[文字の設定]画面同様、フォントや修飾などの詳細を選択できます。

参照 「[文字の設定]画面について」

連番を設定する

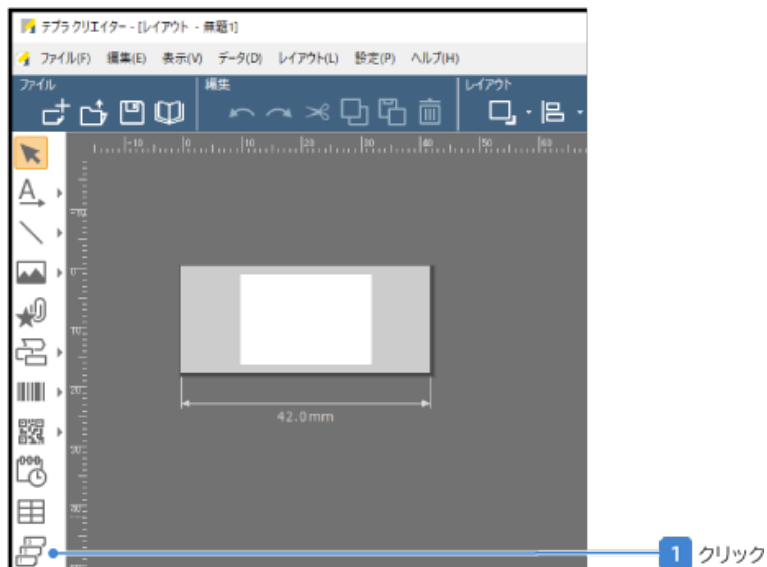
連番を設定してラベルを作成する

連番機能で、連続した英数字のラベルを作れます。

ここでは、顧客リスト1、顧客リスト2、顧客リスト3の入ったラベルを連番で印刷する場合を例に説明します。

1

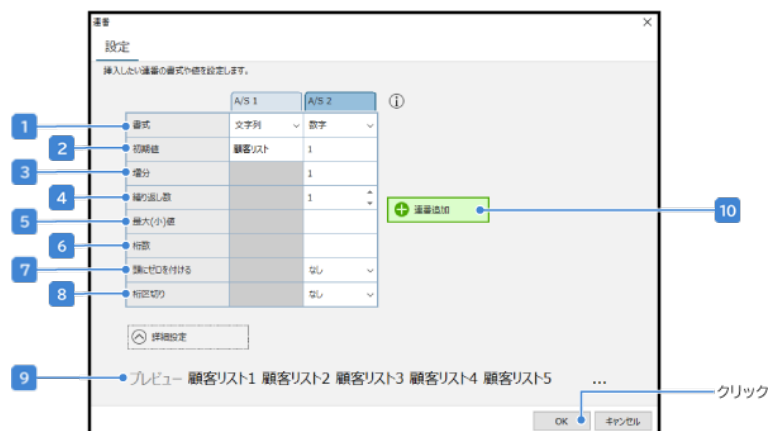
ツールボックスの  (連番)をクリックする



[連番]画面が表示されます。

2

連番の内容を指定し、[OK]をクリックする



連番設定ウィンドウが開いたら、[詳細設定]をクリックします。

例では、A/S1の「書式」に「文字列」、「初期値」に「顧客リスト」を入力します。

続いて「連番追加」をクリックします。追加されたA/S2の「書式」を「数字」にし、「初期値」「増分」「繰り返し数」をすべて「1」に設定します。

1 書式	<p>数字、アルファベット、文字列、改行の4種から、入力したいデータ内容を選択します。</p> <p>数字: 入力したい内容が数字のみの場合に選択します。</p> <p>アルファベット: 入力したい内容がアルファベットの場合に選択します。</p> <p>文字列: 任意のテキストを入力したい場合に選択します。</p> <p>改行: 改行したい場合に入力します。</p>
2 初期値	<p>「書式」で「数字」を選択した場合はカウントを始める最初の数字、「アルファベット」を選択した場合はカウントを始める最初のアルファベット、「文字列」を選択した場合は任意の文字列を入力します。数字、アルファベットの場合、初期値は9桁、文字列は255文字まで入力可能です。</p>
3 増分	<p>「書式」で数字またはアルファベットを選択していて、かつラベル枚数が2枚以上の場合、印刷するごとに加算される増分を最大5桁までの半角数字で指定します。マイナス値や小数点も指定できます。</p> <p>※ 例えば増分を「1」にすると、1、2、3……と数字が1ずつ増え、増分を「-2」にすると、1、-1、-3……と数字が2つずつ減ります。</p> <p>例:「ラベル枚数」2枚、「書式」数字、「初期値」1、「増分」2で指定した場合</p> <div data-bbox="524 993 698 1134"> </div>
4 繰り返し数	<p>「増分」が設定されていて、かつラベル枚数が2以上の場合、増分するまで同じ内容を何枚印刷するかを半角数字で指定します。</p> <p>例:「ラベル枚数」4枚、「書式」数字、「初期値」1、「増分」2、「繰り返し数」2で指定した場合</p> <div data-bbox="524 1315 873 1456"> </div>
5 最大(小)値	<p>連番の最大(小)値を設定します。</p> <p>増分が+の場合は最大値、-の場合は最小値を半角数字で指定します。</p>
6 桁数	<p>「書式」が数字またはアルファベットの場合、指定した桁数を超えた場合は指定した桁数のみをラベルに表示します。</p> <p>※2桁に設定した場合、連番を99まで繰り返したあと、100を”00”と表示します。</p>
7 頭にゼロをつける	<p>「書式」が数字の場合、頭に0をつけるかどうか設定できます。</p> <p>※桁数が1のときは頭に0をつけることはできません。</p>
8 桁区切り	<p>「桁数」を4以上に設定したとき、桁区切りの有無を設定します。</p>
9 プレビュー	<p>現在の設定のプレビューを表示します。</p>
10 連番追加	<p>ラベルに入力する列数と項目を増やせます。</p>

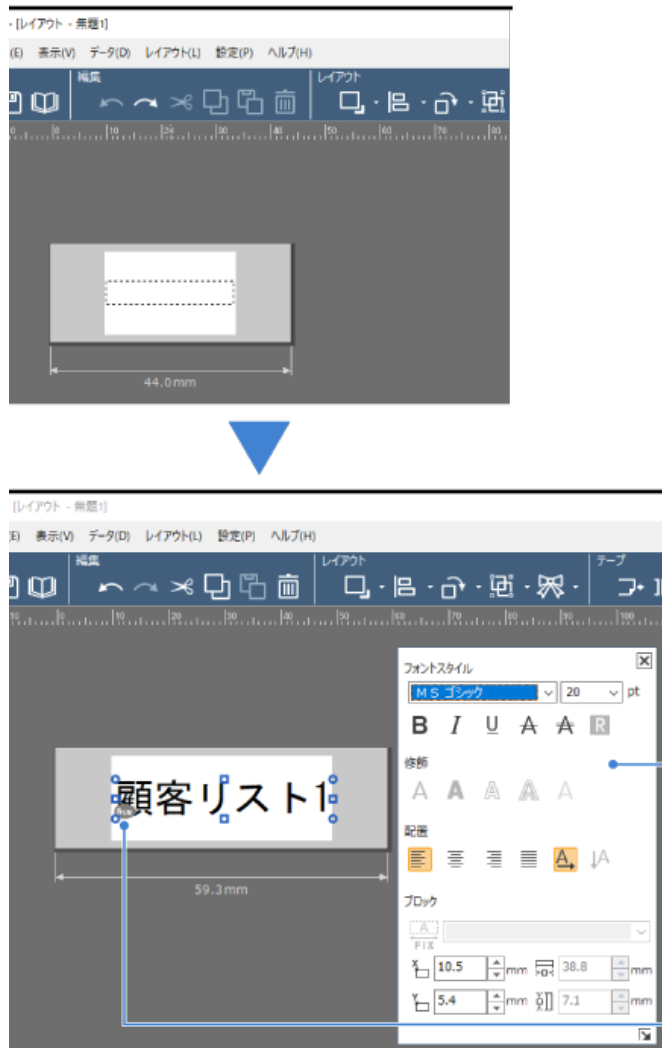
MEMO

連番の設定方法について

- ・書式の入力内容によって、連番の表示内容を変更することができます。
連番の前の桁に「0(ゼロ)」を表示させる場合(例:0010)
A/S1書式:数字、初期値:10、桁数:4、頭にゼロを付ける:あり
- ・連番ラベル内で改行させたい場合、「書式」の「改行」を指定します。
2行で表示させる場合(例:1行目「LABEL10」、2行目「TEPRA100」)
A/S1書式:文字列 初期値:LABEL
A/S2書式:数字 初期値:10
A/S3書式:改行
A/S4書式:文字列 初期値:TEPRA
A/S5書式:数字 初期値:100

3

連番を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする



連番ブロックが挿入されます。表示される連番の番号は初期値です。

連番設定を変更したい場合、連番ブロックをダブルクリックしてプロパティを表示させ、再設定します。

A : 左下に連番マーク **Num** が表示されます。

B : 連番ブロックをクリックすると、フォントや文字修飾を設定することができます。

4

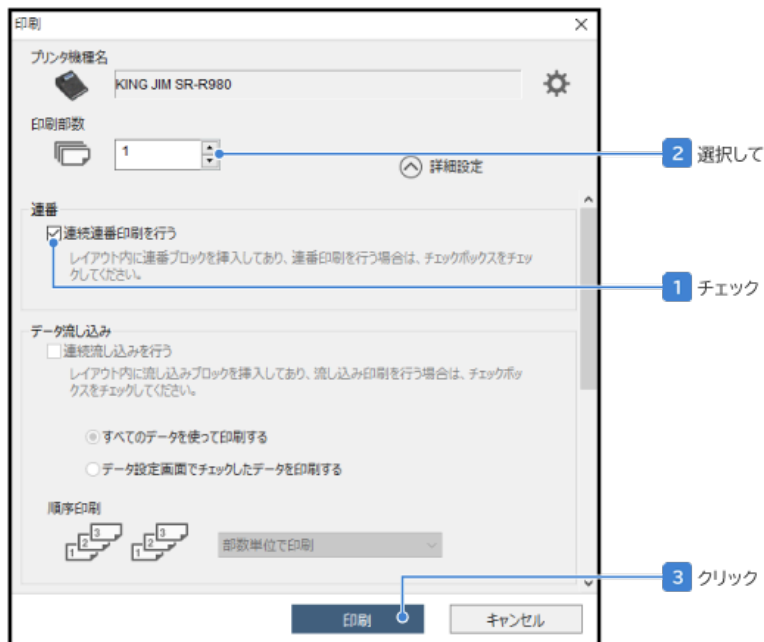
サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

連番以外の場所をクリックすると、連番のサイズや位置が確定します。

5

[印刷]をクリックし、連続印刷を指定して印刷する



「連続連番印刷を行う」にチェックマークをつけ、印刷部数を指定します。

「繰り返し数」と「最大(小)値」に従って連番ラベルが枚数分印刷されます。

参照 「印刷する」

MEMO


- ・印刷部数は、印刷するラベルの合計枚数を指定します。例えば、増分1、繰り返し数1、初期値1で印刷部数を5に設定すると、1～5までの数字の入ったラベルを計5枚印刷します。増分1、繰り返し数2、初期値1で印刷部数を5に設定すると、1の数字が入ったラベル2枚、2の数字が入ったラベル2枚、3の数字が入ったラベル1枚の計5枚を印刷します。
- ・印刷部数が最大(小)値で指定した値を超える場合、初期値に戻って指定された部数まで連番印刷します。

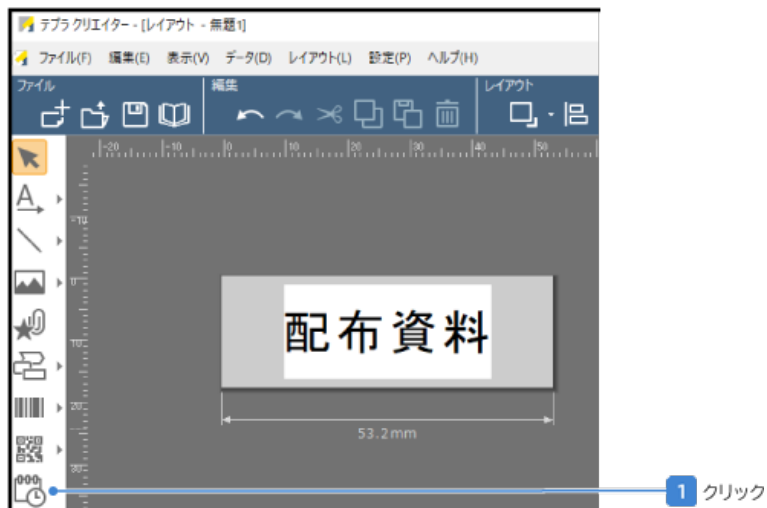
日付・時刻を挿入する

日付・時刻を指定して挿入する

日付や時刻を入力できます。日付の入ったラベルを作るだけでなく、ファイルを開いたときや印刷するときの日付、時刻を印刷するように設定できますので、製造日などを入れるラベルにも便利です。

1

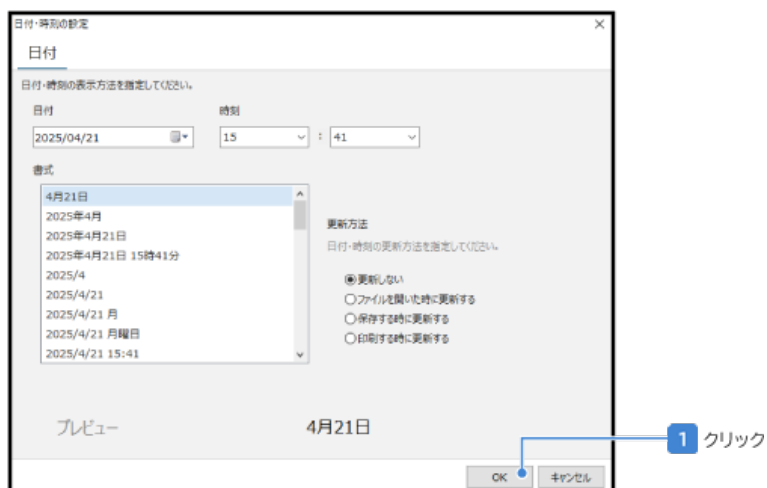
ツールボックスの （日付・時刻）をクリックする



[日付・時刻の設定]画面が表示されます。

2

日付や時刻の内容を指定し、[OK]をクリックする



日付と時刻、更新方法を選択します。

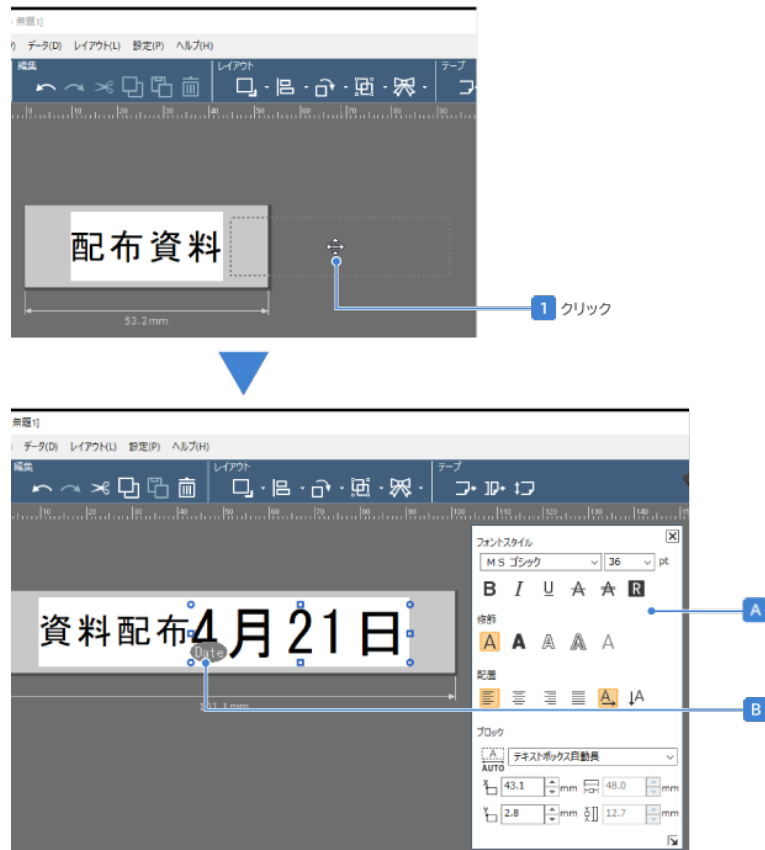
設定の結果は、プレビューで確認できます。

MEMO

・挿入される日付や時刻はパソコンの設定を利用します。

3

日付・時刻を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする



日付・時刻が挿入されます。

A : 日付・時刻ブロックをクリックすると、フォントや文字修飾を設定することができます。

B : 左下に日付マーク **Date** が表示されます。

4

サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

日付・時刻以外の場所をクリックすると、日付・時刻のサイズや位置が確定します。

挿入した日時・時刻をダブルクリックするか、右クリックからプロパティを選択すると、[日付・時刻の設定]画面が表示され、各タブから日付の更新やフォントなどを設定できます。

いろいろな印刷をする

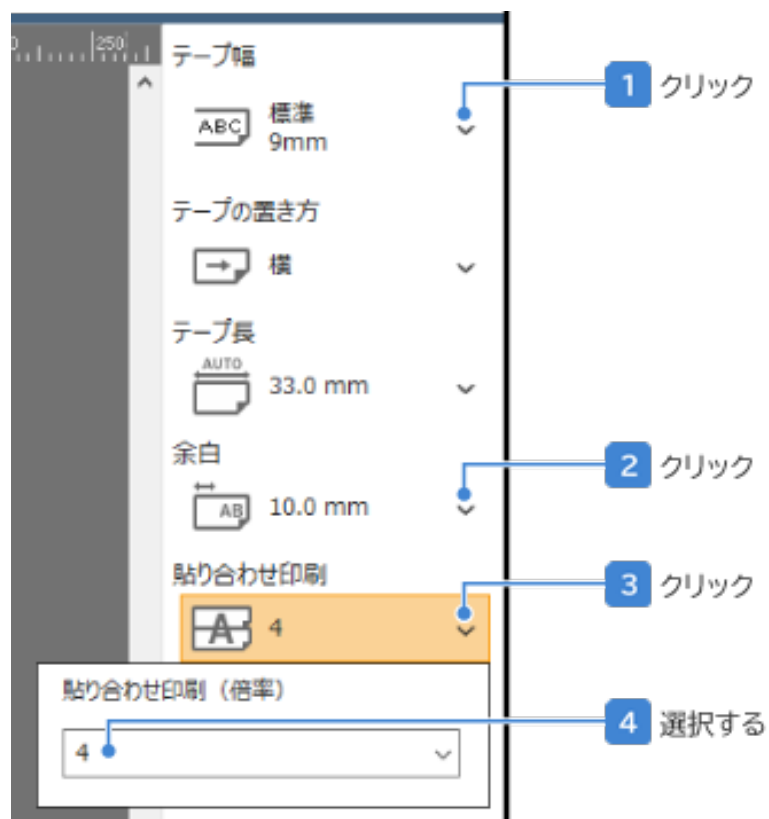
貼り合わせラベルを印刷する(貼り合わせ印刷)

ラベルを貼り合わせて、「テプラ」PROの場合2～8倍、「テプラ」Grandの場合2～4倍の幅のラベルを作ることができます。

1 貼り合わせラベルを作成する

1

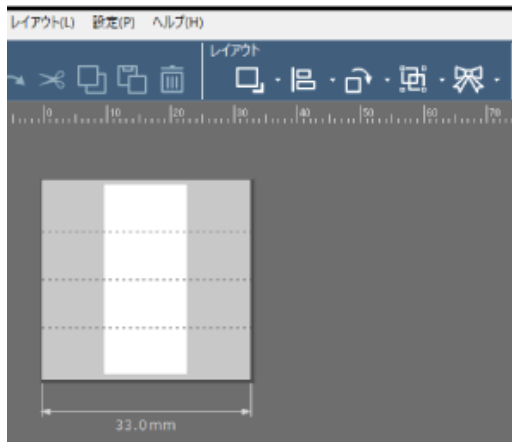
テープ設定ツールバーでテープ幅と余白、貼り合わせ倍率を設定する



「貼り合わせ印刷(倍率)」の項目では貼り合わせたい枚数を設定します。

2

ラベルの内容を入力する

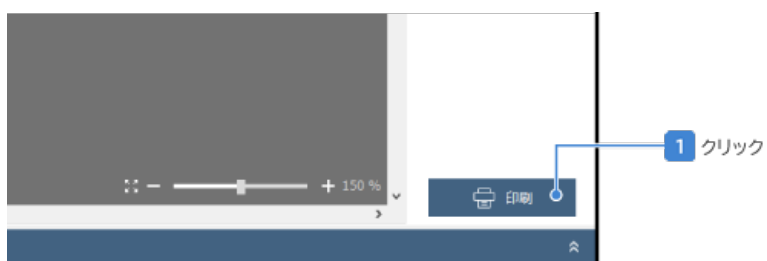


設定したラベルの大きさに合わせて文字や記号、イラストなどを入力します。

貼り合わせラベルを印刷する

1

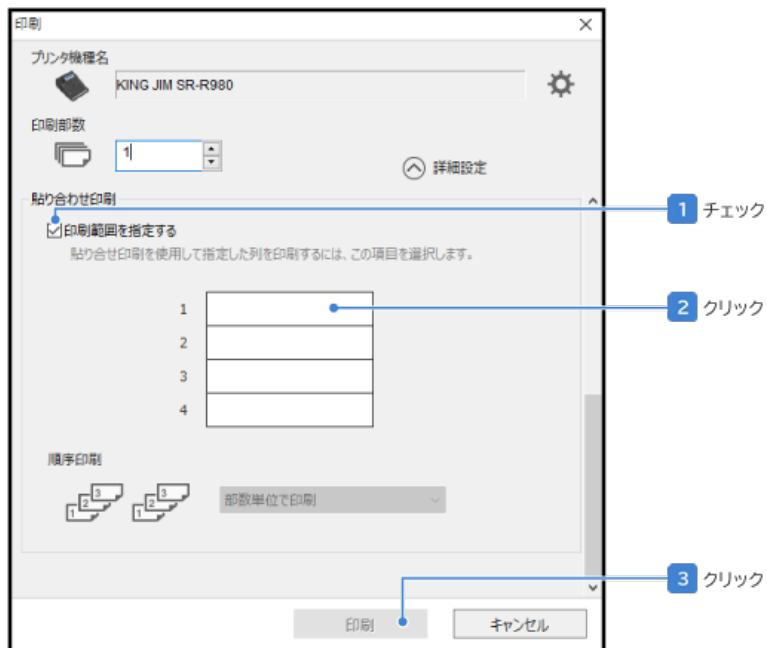
[印刷]をクリックする



[印刷]画面が表示されます。

2

印刷を指定する



全体を印刷する場合はそのまま[印刷]をクリックします。

ラベルの一部を印刷する場合は、「印刷範囲を指定する」にチェックマークをつけ、印刷するラベルをクリックして指定します。

MEMO

- ・貼り合わせるラベルそれぞれを、同じ幅の違う色のテープに印刷するとカラフルなラベルを作れます。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換えるときにはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。
- ・順序印刷の項目は、貼り合わせラベルの印刷時に「印刷部数」で複数枚数を指定したときに設定できます。「部数単位で印刷」(**A**)を選択すると、1列目、2列目…とデータ順に印刷します。「ページ単位で印刷」(**B**)を選択すると、同じ列を指定枚数分続けて印刷してから次の列を印刷します。

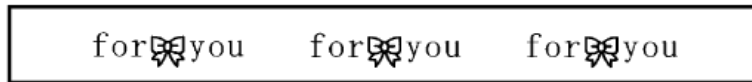


- ・「テプラ」PROの場合、貼り合わせるラベルのそれぞれ上下に余白がつきます。上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。「テプラ」Grandの場合、上下に余白はつきません。
- ・貼り合わせラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。


りぼん連続印刷をする

指定した長さに、同じ文章を繰り返し印刷するための印刷イメージを作成します。

例：



1

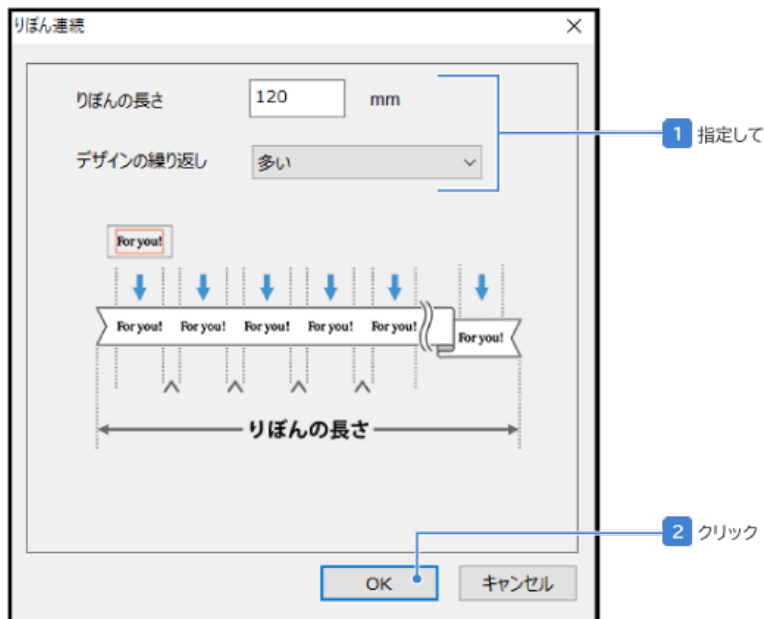
編集中のラベルで文字や図形を入力したあと、ツールバーの  (りぼん連続) をクリックする



[りぼん連続]画面が表示されます。

2


内容を指定し、[OK]をクリックする



「リボンの長さ」で全体の長さを、「デザインの繰り返し」で繰り返すデザインの量を指定します。

設定から繰り返しイメージが自動的に作成されます。

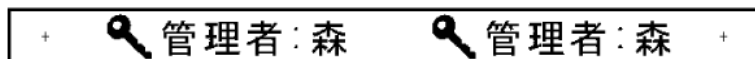
MEMO

- ・リボン連続印刷は、リボン以外のテープでも使用できます。
- ・文章のほか、記号やイメージなども印刷範囲(白い部分)の内側にレイアウトされているときは、繰り返しイメージに反映されます。
- ・指定できるリボンの最大長さは3,000mmです。[リボン連続]で指定できるリボンの最小長さは「デザインの繰り返し」で指定した内容により異なります。
- ・設定しなおすときは、直後であれば  (元に戻す) で繰り返し前の状態に戻すことができます。ただし、テープ長が「定長」に変更されていますので、テープ長を「自動」に変更してから設定しなおしてください。



お名前タグ印刷をする

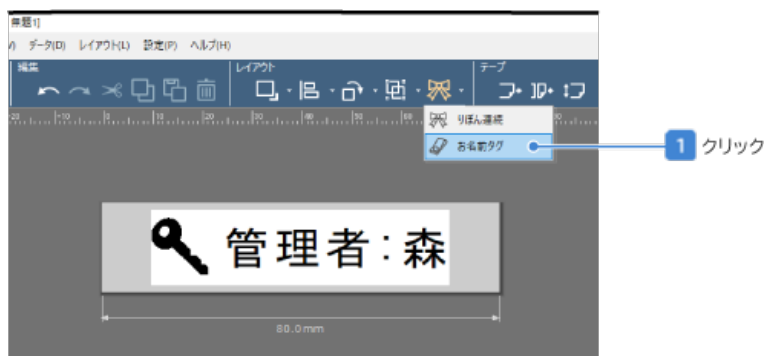
入力した文字や記号を、お名前タグ専用のレイアウトイメージで印刷します。お名前タグ印刷を使うと、別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使って、オリジナルのお名前タグを作成することができます。

例：



1


編集中のラベルで文字や記号を入力したあと、ツールバーの  (りぼん)横の[▼]をクリックし、  (お名前タグ)をクリックする



お名前タグ専用のレイアウトイメージを自動的に作成します。

タグマーク「+」はスナップボタンを取り付ける位置の目安となります。


MEMO

- ・お名前タグ印刷はりぼん専用の印刷機能です。
- ・文章のほか、記号やイメージなども印刷範囲(白い部分)の内側にレイアウトされているときは、ラベルイメージに反映されます。
- ・設定し直すときは、直後であれば  (元に戻す)で繰り返し前の状態に戻すことができます。ただし、テープ長が「定長」に変更されていますので、テープ長を「自動」に変更してから設定しなおしてください。

カットラベル印刷をする

カットラベルに印刷するときは、カットラベルの形状に合わせてラベルを作成してください。

注意

- ・カットラベル印刷機能は、「テプラ」PROテープカートリッジ・カットラベルに対応しています(対象機種:SR-R980/SR970/SR5900P)。
「テプラ」Grandテープカートリッジ・カットラベルには対応していません。
 - ・カットラベル・バンドウイトに印刷するときは「カットラベル・バンドウイトに印刷する」を参照してください。
- 参照  「カットラベル・バンドウイトに印刷する」

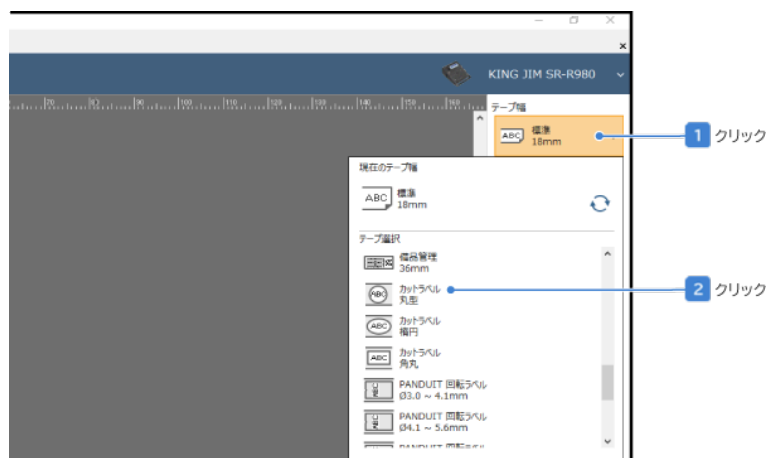
1

カットラベルに設定する

[新規/開く]画面



テープ設定ツールバー



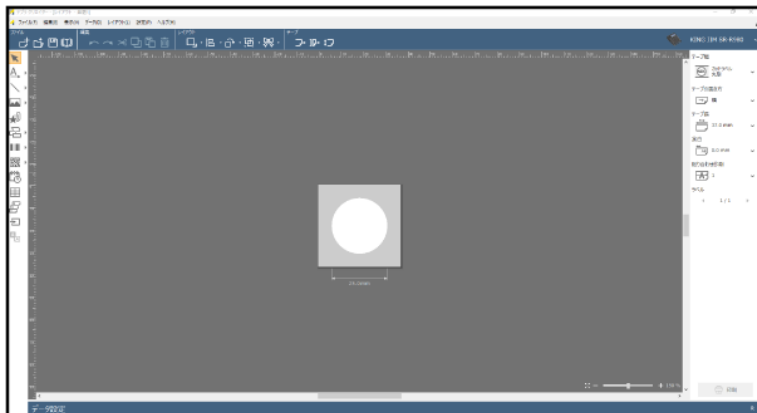
新規に作成するときは、[新規/開く]画面の「テープ幅」でカットラベルを選択します。

編集中のラベルで設定するときは、右側のテープ設定ツールバーの「テープ幅」でカットラベルを選択します。

選択すると、ラベル形状の目安としてラベル範囲(白い部分)が表示されます。


2

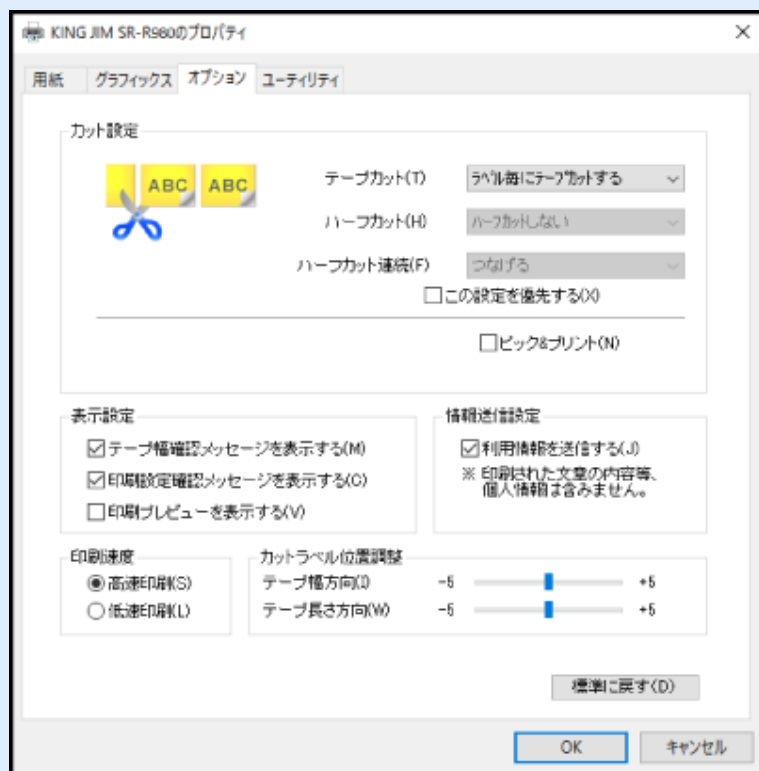
文字や図形をレイアウトする



実際の印刷範囲は、ラベル範囲(白い部分)の外側に設けてあり、ラベルの端まで文字や図形をレイアウトし、印刷することができます。

MEMO

- ・印刷位置が合わない場合は、テープ設定ツールバーから選択中のプリンタアイコンの設定  をクリックし、プリンタドライバの[オプション]タブの「カットラベル位置調整」を変更してください。
- ・カットラベルがきれいに印刷できない場合は、プリンタドライバの[オプション]タブの「印刷速度」を「低速印刷」に変更してください。



カットラベル・パンドウイトに印刷する

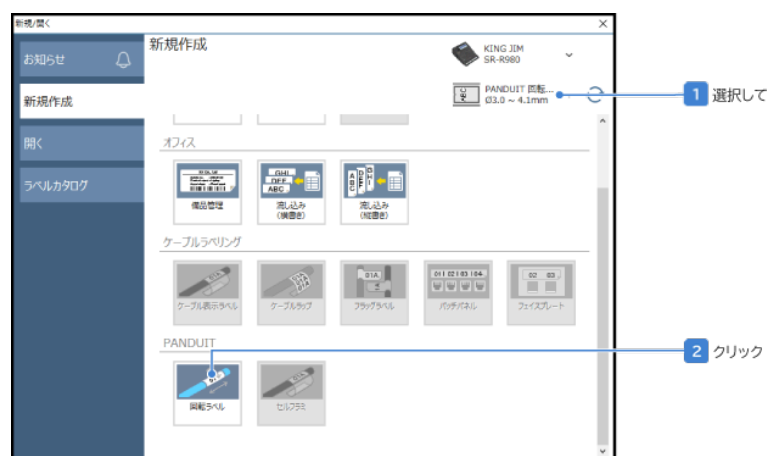
注意

- ・カットラベル・パンドウイト印刷機能は「テプラ」PROテープカートリッジ カットラベル・パンドウイトに対応しています(対応機種:SR-R980)。
- ・「テプラ」PROテープカートリッジ・カットラベル、「テプラ」Grandテープカートリッジ・カットラベルには対応していません。

1 回転ラベルを作成する

1

[新規作成]画面の[PANDUIT]から「回転ラベル」をクリックする



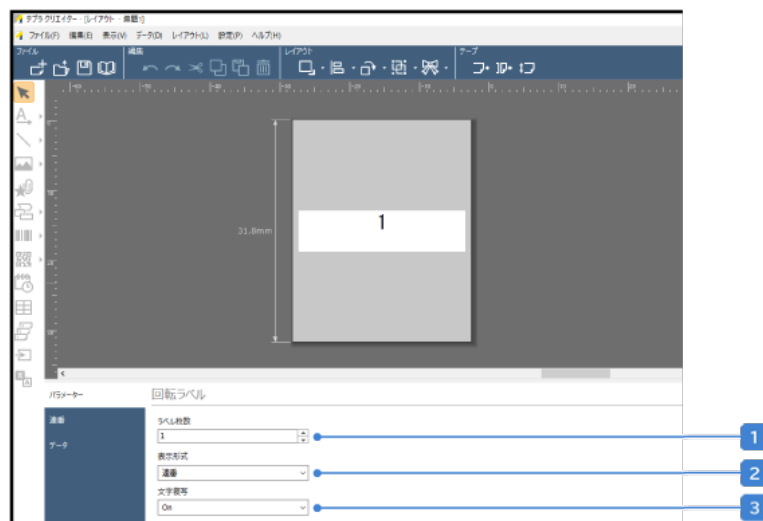
[回転ラベル]専用画面が表示されます。

注意

- ・「回転ラベル」は、テープ設定ツールバーの「テープ幅」で「PANDUIT 回転ラベル」を選択しているときにのみ表示されます。

2

[パラメーター]タブで必要事項を入力する



[パラメーター]タブから、必要に応じて入力内容を設定します。

1 ラベル枚数	作成するラベルの枚数を設定します。2以上に設定した場合、入力した枚数のラベルを作成します。
2 表示形式	表示形式を「連番」または「テキスト/データ流し込み」のいずれかから設定します。 表示形式の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。 参照 「ケーブルラップを作成する」
3 文字複製	「On」にすると、入力内容を印刷範囲(白い部分)内に複製します。

■ [連番]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番]タブで必要事項を入力します。

各項目の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照 「ケーブルラップを作成する」

■ [データ]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「テキスト/データ流し込み」に設定した場合、[データ]タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されているExcelなどからデータを流し込みたい場合、[インポート]からデータを選択します。

3


[印刷]をクリックする

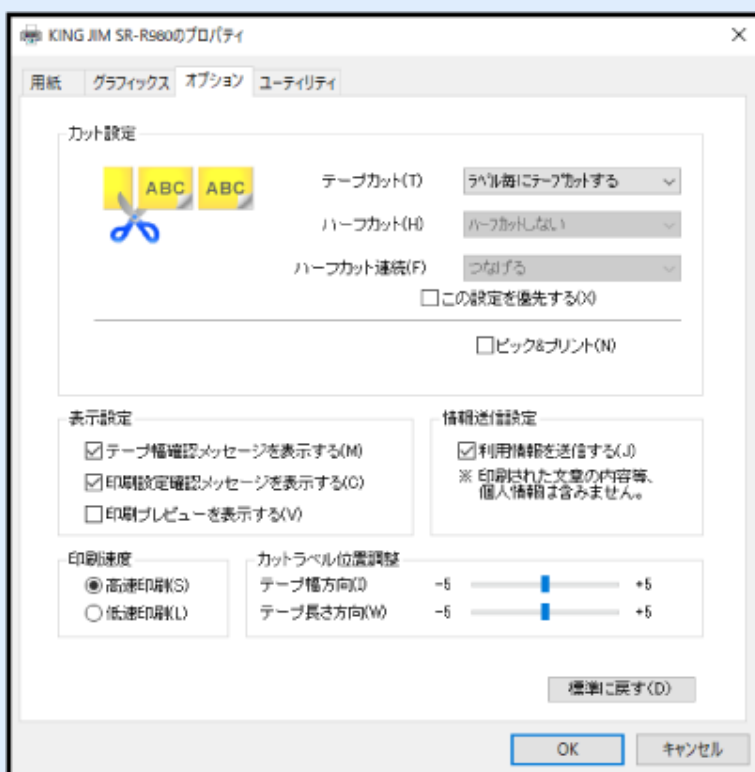
すべての入力が完了したら、[印刷]をクリックし印刷します。

注意

- ・カットラベル・パンドウイト 回転ラベル専用画面では、テープ設定ツールバーからテープ幅を下記のテープに変更することができません。下記のテープに変更したい場合は、新規作成画面から再度テープ幅などを選択してください。
- ・カットラベル・パンドウイト セルフラミネートラベル
- ・24mmインデックスラベル
- ・カットラベル

MEMO

- ・印刷位置が合わない場合は、テープ設定ツールバーから選択中のプリンタアイコンの設定  をクリックし、プリンタドライバの[オプション]タブの「カットラベル位置調整」を変更してください。
- ・カットラベルがきれいに印刷できない場合は、プリンタドライバの[オプション]タブの「印刷速度」を「低速印刷」に変更してください。



- ・「テキスト/データ流し込み」でインポートできる最大行は2,000行までです。

セルフラミネートラベルを作成する

1

[新規作成]画面の[PANDUIT]から「セルフラミ」をクリックする



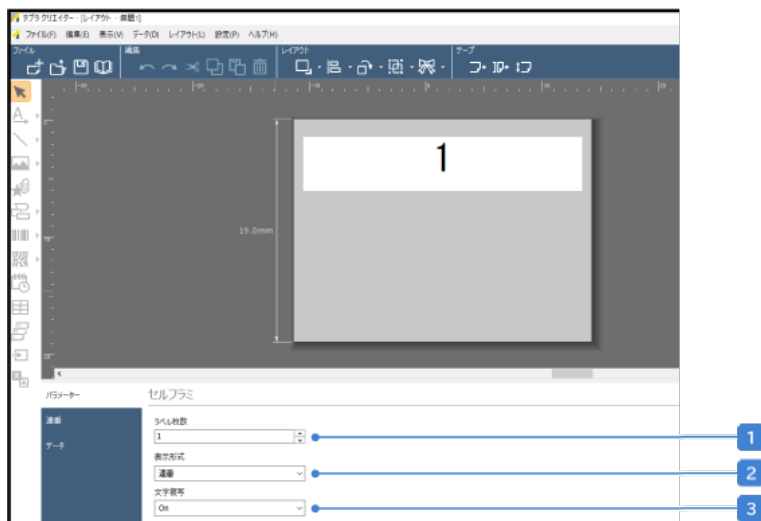
[セルフラミ]専用画面が表示されます。

注意


- ・「セルフラミ」は、テープ設定ツールバーの「テープ幅」で「PANDUIT セルフラミ」を選択しているときにのみ表示されます。

2

[パラメーター]タブで必要事項を入力する




[パラメーター]タブから、必要に応じて入力内容を設定します。

1 ラベル枚数	作成するラベルの枚数を設定します。2以上に設定した場合、入力した枚数のラベルを作成します。
2 表示形式	表示形式を「連番」または「テキスト/データ流し込み」のいずれかから設定します。 表示形式の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。 参照  「ケーブルラップを作成する」
3 文字複写	「On」にすると、ラベル内に余白がある場合に入力項目をラベルいっぱいまで複写します。

■ [連番]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番]タブで必要事項を入力します。

各項目の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照  「ケーブルラップを作成する」

■ [データ]タブで必要事項を入力する

[パラメーター]タブで表示形式を「テキスト/データ流し込み」に設定した場合、[データ]タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されているExcelなどからデータを流し込みたい場合、[インポート]からデータを選択します。

3


[印刷]をクリックする

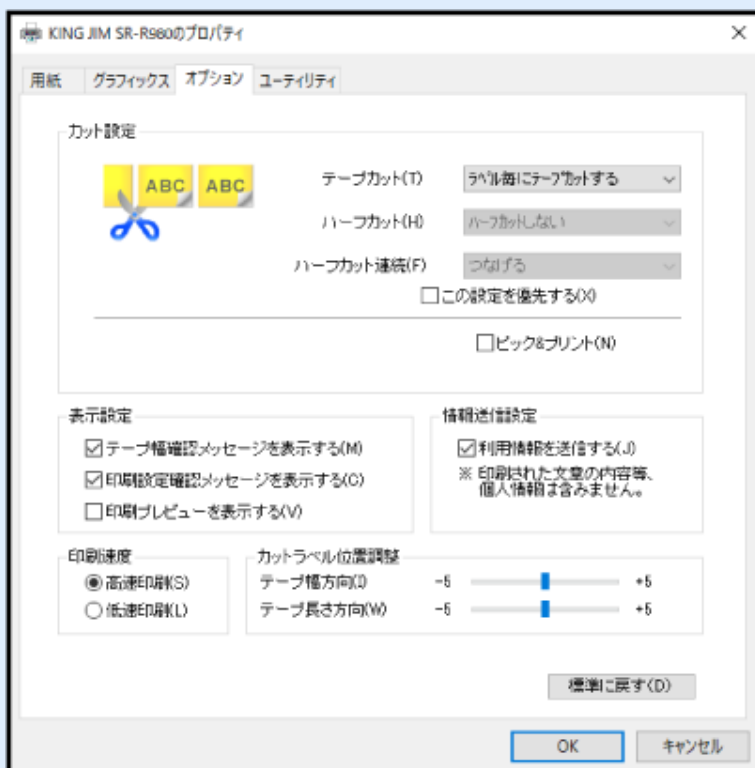
すべての入力完了したら、[印刷]をクリックし印刷します。

注意

- ・カットラベル・パンドウイット セルフラミ専用画面では、テープ設定ツールバーからテープ幅を下記のテープに変更することができません。下記のテープに変更したい場合は、新規作成画面から再度テープ幅などを選択してください。
- ・カットラベル・パンドウイット 回転ラベル
- ・24mmインデックスラベル
- ・カットラベル

MEMO

- ・印刷位置が合わない場合は、テープ設定ツールバーから選択中のプリンタアイコンの設定  をクリックし、プリンタドライバの[オプション]タブの「カッタベル位置調整」を変更してください。
- ・カッタベルがきれいに印刷できない場合は、プリンタドライバの[オプション]タブの「印刷速度」を「低速印刷」に変更してください。



- ・「テキスト/データ流し込み」でインポートできる最大行は2,000行までです。

ハーフカット深さを設定する

ハーフカットの深さを設定します。

注意

- ・ハーフカット深さ調整機能は、特定の「テプラ」本体に対応した機能です(対象機種:SR-R7900P)。対応機種以外の「テプラ」本体には対応していません。

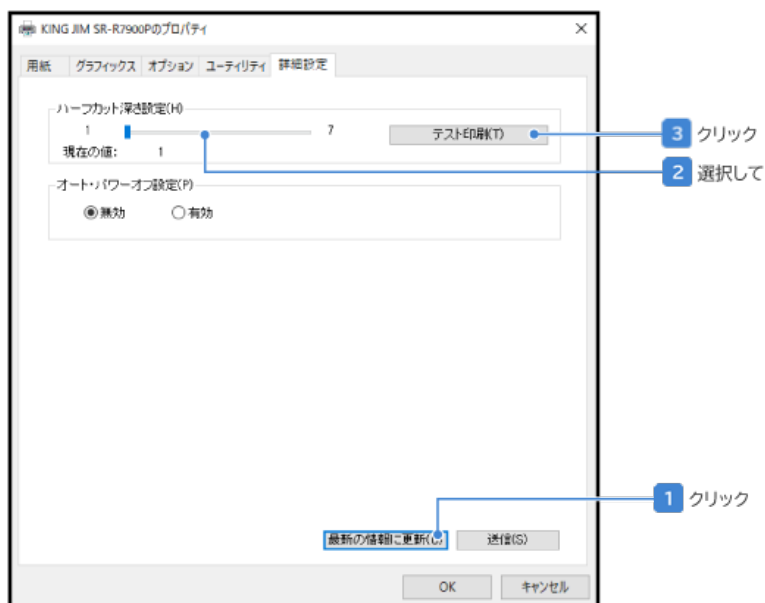
1

プリンタドライバの[詳細設定]タブを開く

[最新の情報に更新]ボタンをクリックして「テプラ」本体の設定を読み込みます。

2

ハーフカット深さを調整する



ハーフカット深さを設定し、テスト印刷ボタンをクリックします。

3

テスト印刷を確認する

現在の値に応じて異なる深さでハーフカットされた3枚のラベルが印刷されます。

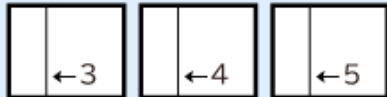
設定しなおすときは、再度手順 **2** の操作をします。

MEMO

テスト印刷について

- ・[テスト印刷]で印刷されるラベルはそれぞれ[現在の値-1]、[現在の値]、[現在の値+1]でハーフカットされます。
- ・現在の値が1もしくは7の場合、[現在の値]、[現在の値+1]もしくは[現在の値-1]、[現在の値]でハーフカットされた2枚のラベルが印刷されます。
- ・ハーフカットでラベルが切断された場合は印刷を中止します。調整値を数字が小さい方に下げ、再度ハーフカット深さ調整を実施してください。

例：現在の値が「4」の場合



例：現在の値が「1」の場合



4

[送信]をクリックする

現在の設定値を「テプラ」本体に送信します。

MEMO

- ・変更した設定を「テプラ」本体に反映させるために、必ず[送信]ボタンをクリックしてください。[送信]ボタンをクリックしないと、変更した設定は「テプラ」本体に反映されません。

ピック&プリント印刷をする

ピック&プリント機能とは、連続印刷時に、ラベルを引き抜くと次のラベルが印刷される機能です。あて名印刷など、貼り間違いがないように、1枚ずつ順番にラベルを貼りたいシーンで活用できます。

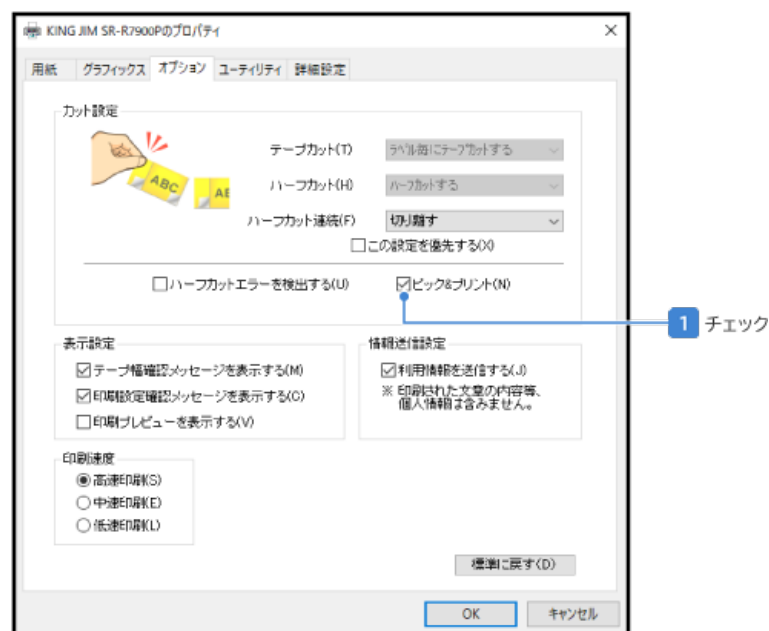


注意

- ・ピック&プリントは、特定の「テプラ」本体に対応した機能です(対象機種:SR-R980/SR-R7900P)。対応機種以外の「テプラ」本体には対応していません。

1

プリンタドライバの[オプション]タブを開き、[ピック&プリント]にチェックを付ける



※画像はSR-R7900Pのプリンタドライバ画面です。

2

2枚以上のラベルを連続印刷する

ピック&プリントがおこなわれます。

MEMO

- ・カット設定が以下のいずれかの場合、ピック&プリントはおこなわれません。
 - ・テープカット:印刷JOBごとにテープカットする/しない
 - ・ハーフカット連続:つなげる
- ・次の各機種の場合、以下の長さ未満のラベルはピック&プリント機能に対応していません。
 - ・SR-R7900P:長さ33mm未満
 - ・SR-R980:長さ28mm未満
- ・「ハーフカットエラーを検出する」をチェックした場合、ラベルの長さによってハーフカットしろが長くなる場合があります(対象機種:SR-R7900P)。

電池種類を設定する

「テプラ」本体に使用している電池の種類を設定します。

注意

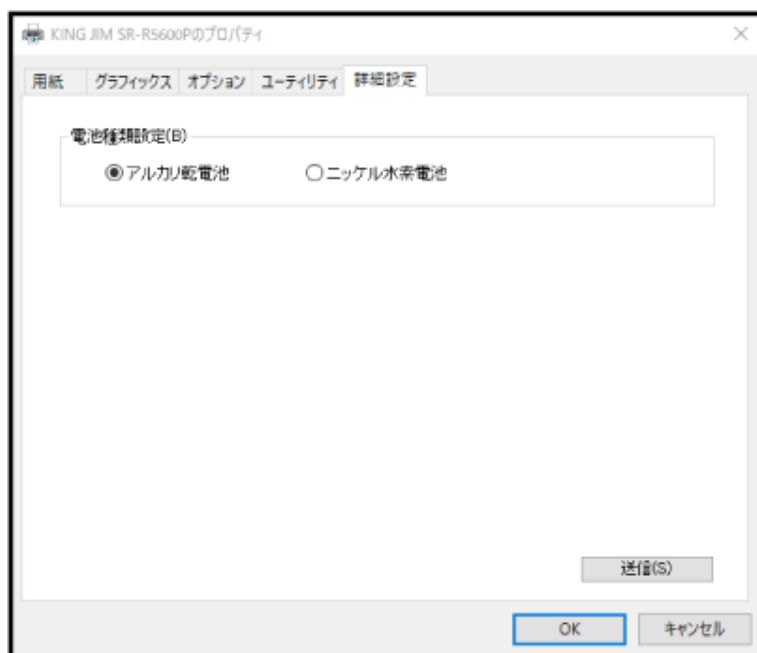
- ・電池種類の設定機能は、特定の「テプラ」本体に対応した機能です(対象機種:SR-R5600P)。対応機種以外の「テプラ」本体には対応していません。

1

プリンタドライバの[詳細設定]タブを開く

2

電池種類を選択する



電池種類を選択します。

注意

- ・初期設定は[アルカリ乾電池]です。ニッケル水素電池を使用する場合は、「テプラ クリエイター」起動時に電池種類を[ニッケル水素電池]に変更してください。設定を変更しないと電池の寿命が短くなるおそれがあります。

3

[送信]をクリックする

現在の設定値を「テプラ」本体に送信します。

MEMO

- ・変更した設定を「テプラ」本体に反映させるために、必ず[送信]ボタンをクリックしてください。[送信]ボタンをクリックしないと、変更した設定は「テプラ」本体に反映されません。

注意

- ・電池種類設定の選択肢の位置は設定状況を表しているものではありません。
電池種類をニッケル水素電池に設定後、プリンタドライバのウィンドウを閉じると選択肢の位置は[アルカリ乾電池]に戻ります。

市販のアプリケーションから印刷する

WordやExcelなどから印刷する

「テプラ」本体を指定することで、市販のアプリケーション(Word、Excelなど)からも印刷することができます。市販のアプリケーションを利用するときは、以下の注意をよくお読みになってご使用ください。

- ・プリンタ名には必ず現在パソコンと接続している「テプラ」本体の機種名(例:KING JIM SRxxxまたはWRxxxx)を指定してから、文書を作ってください。
- ・印刷前には、必ず「印刷プレビュー」で印刷状態を確認してください。
- ・プリンタドライバの[プロパティ]画面で、「用紙設定」中の「テープを末端で自動的にカットする」のチェックボックスをはずし、「テープ長」を設定して印刷してください。
- ・用紙の設定は、「テプラ」本体にセットしているテープカートリッジのテープ幅に合わせてください。
- ・ヘッダーやフッターは指定しないでください。また、ページ番号は入れないでください。
- ・文字サイズの指定は、テープ幅に合ったポイントになるよう調整するか、拡大率を指定してください。
- ・文字数の多い文章はテープの幅に収まらない可能性があります。
- ・画像やイラストを印刷するときは、テープ幅に収まるサイズになるよう調整してください。レイアウトがわからないときは、「印刷プレビュー」で状態を確認してください。
- ・画像やイラストを「テプラ」本体で印刷すると、白黒の濃淡で表現されるため、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。
- ・グラデーションなどの装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のツブレが発生することがあります。
- ・アプリケーションによっては正しく印刷できないものがあります。
- ・「テプラ」Grand 宛名ラベルは、市販のアプリケーションではうまく印刷できない場合があります。「テプラ クリエイター」を使用してラベル作成をおこなってください。
- ・幅の狭いテープで余白値を大きくすると、上下の印刷範囲が狭くなり文字が入力できなくなることがありますので、上下余白の設定は、下表を参考にできるだけ余白を小さく設定してください。左右の余白値はお好みで設定してください。

SR-R980

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	3mm
6mm	0.7mm	3mm
9mm	0.9mm	3mm
12mm	1.1mm	3mm
18mm	1.6mm	3mm
24mm	2.1mm	3mm
36mm	2.9mm	3mm

SR970/SR950/SR750/SR5900P/SR3900P

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	3mm
6mm	0.7mm	3mm
9mm	0.9mm	3mm
12mm	1.1mm	3mm
18mm	1.6mm	3mm
24mm	2.1mm	3mm
36mm	4.7mm	3mm

SR-R680/SR670/SR-R560/SR550/SR530/SR5500P/SR-R5600P/SR3700P/SR3500P

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	10mm
6mm	0.7mm	10mm
9mm	0.9mm	10mm
12mm	1.1mm	10mm
18mm	1.7mm	10mm
24mm	3.1mm	10mm

SR-R7900P

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	3mm
6mm	0.7mm	3mm
9mm	1.1mm	3mm
12mm	1.1mm	3mm
18mm	1.6mm	3mm
24mm	2.1mm	3mm
36mm	2.9mm	3mm
50mm	1.5mm	3mm

※上下左右の余白値はテープを横置きにした場合です。縦置きの場合は「上下余白」が「左右余白」、「左右余白」が「上下余白」となります。

※「上下余白」(縦置きの場合は「左右余白」)を表の値より小さくすることはできません。

※アプリケーションによっては、表の設定で正しく印刷できないものがあります。

※WR1000では、上下余白を4.0mm以下に設定してください。左右の余白値はお好みで設定してください。

■ テプラ クリエイターAPIを利用する

当社では、ほかのアプリケーションから「テプラ クリエイター」を呼び出して「テプラ」本体で印刷をおこなう、アプリケーション連携機能「テプラ クリエイターAPI」を公開しています。詳しくは、当社ホームページ(https://kingjim.jp/tepra_creator_api/)をご覧ください。

MEMO

- ・「テプラ クリエイターAPI」をお使いになるには、Windowsでのプログラミングの知識、「テプラ クリエイター」の操作について十分に理解されている必要があります。
- ・外部プログラムの呼び出しがおこなえないアプリケーションソフトからは、お使いになれません。
- ・プログラミングに関するアドバイスやデバッグなどにつきましては、当社のサポート対象外となります。

Webページを利用する

ご利用の前に

- ・Webページの利用には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットに接続されたパソコンから利用してください。
- ・Webページを利用するための推奨環境については、サイト上の「ご利用にあたって」の項をご覧ください。
- ・使用するパソコンには、あらかじめ「テプラ」のプリンタドライバをインストールしておいてください。

キングジムストアを利用する

キングジムストアでは「テプラ」本体をはじめ、テープやオプション品を購入することができます。

1

メニューバーの[ヘルプ]－[ KINGJIM STOREへのリンク]をクリックする


インターネットブラウザが起動し、キングジムストアのWebページを表示します。

ラベルデザインをダウンロードする

「テプラ クリエイター」で使えるラベルデザインをダウンロードします。

1

ラベルカタログを開き、ラベルデザインをWebから取得するをクリックする
インターネットブラウザが起動し、ラベルデザインのWebページを表示します。

参照  「ラベルデザインをカタログに追加する」

お知らせ通知機能を利用する

当社からのおすすめ情報やお知らせをお届けします。

1



[新規/開く]画面の[お知らせ]タブをクリックする



各お知らせをクリックするとインターネットブラウザが起動し、関連するWebページを表示します。

新しいお知らせがある場合はこの欄(A)に表示されます。

MEMO

- ・お知らせ通知機能の利用には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットに接続されたパソコンから利用してください。
- ・Webページを利用するための推奨環境については、サイト上の「ご利用にあたって」の項をご覧ください。
- ・お知らせテキストが全文表示されていない場合、カーソルをテキストに重ねると全文が表示されます。
- ・新規お知らせがある場合、お知らせアイコン  が  と表示されます。
- ・お知らせのテキストが「…」で省略されている場合、マウスカーソルを重ねると全文が表示されます。

2025年9月 第8版